

## ・景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

### 1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北海道)	良くなる やや良くなる	○	○
		スーパー（店長）	・総選挙で民主党政権から自民政権に変わる可能性が高いため、デフレ対策等により市場が活発化する。
		乗用車販売店（従業員）	・ここ1～2か月が冷え込んでいるため、2～3か月後には景気は上向きになる。
		スナック（経営者）	・年末年始に向けて人出が増えてくる。
		旅行代理店（従業員）	・総選挙の結果を受け、内需拡大への期待で市場がやや上向くことを期待している。ただ、当業界にとっては、外国人の来日が減少することが懸念される。
		タクシー運転手	・12月は総選挙があるため、総選挙が終わるまでは夜の人出が例年よりも減ることになる。ただ、12月～1月はタクシーの売上の多い月であるため、11月よりは良くなる。
		タクシー運転手	・これから雪の季節になり、寒さが厳しくなると、病院への通院や買物などでタクシー利用が増えるため、やや良くなる。
		通信会社（企画担当）	・冬商戦で戦える商品ラインナップが出そうことから、現状よりは状況が改善されることになる。
		観光名所（従業員）	・年を越した1月～2月について、当地域では核となるプラス要素を見つけられないが、10月～11月と国内観光客、海外観光客、特に台湾からの観光客の伸びが著しく、特に冬は台湾観光客の需要が高いため、この伸びがこのまま続く。
	住宅販売会社（経営者）	・総選挙が決まり、新政権に対する期待感から、株価の上昇や円安傾向にあるため、若干期待できる。	
	住宅販売会社（従業員）	・現在の不安定な政権から、少しは安定した政権になるとみられるため、消費者心理としては良い方向に動く。とりわけ住宅のような大きな買物に対しては、消費者心理の影響力が強いので、その分、余計にプラスに作用することが期待できる。	
	変わらない	商店街（代表者）	・気温に左右されるところが大きいですが、バーゲンについては出足が良かったとしても、1月後半や2月になると、かなり値崩れが進むため、売上が増加するとは思えない。
		商店街（代表者）	・総選挙の結果を受け、体制が変化するかもしれないが、現在のごたごたの状況では今後も変わらない。
		商店街（代表者）	・例年、来街者の減少する月であり、氷まつり等のイベントが開催されるが、中心市街地に足を運ぶ客は少なく、ほとんどの業種で売上の増加は見込めない。また、外国人観光客以外のビジネス客もこの時期は減少するため、売上増加の要因をピックアップできない。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・9月から売上が非常に下降線をたどっている。来月は年末の最需要期を控えているが、この2～3か月の流れからすると大きな期待はできない。
		百貨店（売場主任）	・長期予報で12～1月は前年並みの寒さが予想されているが、現在の状況からはクリスマス商戦も1月のクリアランスセールも前年並みの数字が取れる。また、正月のイベント企画も含めて、2～3月にかけての集客増を狙っている。
		百貨店（販売促進担当）	・初雪以来、冬物衣料は堅調に推移しているものの、今後、冬の節電の影響が出てくるのが考えられるため、先行きの不安定さからは抜け切れない。
		百貨店（販売促進担当）	・動員対策、強化企画の実施により、瞬間的な来客数増加は見込めるものの、継続性には力不足である。
		百貨店（役員）	・政権が変わろうが現在のデフレ体質は変わらない。
スーパー（店長）		・冬の節電の影響に加えて、総選挙の結果により不安定な政権となれば、消費の2極化が進む。混とんとした状況であれば、ハレとケの使い分けが顕著になる。	
スーパー（店長）		・今月の景気の調子は良いが、単月だけの動きの可能性もあるため、まだまだ半信半疑なところがある。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（企画担当）	・総選挙の結果に期待するところもあるが、様々な問題が、政治ではすぐに解決できないということが、以前より多くの国民に認識されており、お金を使って、景気が回復するという雰囲気ではなくなっている。
		コンビニ（エリア担当）	・依然として催事商品が好調であり、客の買上単価は上昇している。しかし、公共工事の減少も影響し、早朝のたばこの売上が減少している。全体的には来客数が横ばいか減少傾向であり、厳しいまま推移する。
		コンビニ（エリア担当）	・公共事業の増加があるとは思えず、激安業態が増加しており、継続したデフレ状態は続く。
		コンビニ（エリア担当）	・具体的に回復する要素が見当たらない。総選挙の結果で一時的回復はあるかもしれないが、中長期的には流れが変わることはない。
		衣料品専門店（店長）	・商店街等の売出しやその他の話題でも良い話がなく、早急に回復するとは思えない。
		家電量販店（店員）	・12月前半は総選挙があるため、期待できない。年末年始だけが盛り上がりとみられる。
		家電量販店（地区統括部長）	・テレビ需要の低迷は続くが、全体的には回復傾向になる。しかし、長引くデフレの影響で家電需要全体の低迷は続くため、今月とほぼ変わらない。
		乗用車販売店（経営者）	・当地区の新車の登録台数は前年と同水準で推移しており、エコカー補助金終了に伴う反動減は現状みられない。今年発売の新型車効果が発揮されていると推測されるため、当面この状況が続く。
		乗用車販売店（従業員）	・現在の当地域の状況では、全く期待できない。
		乗用車販売店（営業担当）	・内外をみても好材料が見つからないため、今の状況が続く。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・今冬の節電の影響が計り知れない。
		高級レストラン（経営者）	・これから総選挙が始まるため、その結果で景気が良くなるかどうかが決まる。ただ、今後、消費税が増税されるため、景気は低迷する一方とみられる。
		旅行代理店（従業員）	・販売額の良い月と悪い月がある。海外旅行が全般的に好調なのに対し、国内旅行は伸び悩みの状況にある。
		旅行代理店（従業員）	・先行受注状況を見ると、国内旅行は12月が前年比73.3%、1月が前年比77.3%となっており、海外旅行は12月が前年比119.2%、1月が105.8%となっており、トータルすると今月と変わらない。
		旅行代理店（従業員）	・政治、経済の先行き不透明感が強くなっており、観光関連の消費マインドに影響が出る。航空座席の供給増に見合う需要増が今一つ期待できない状況となる。
		タクシー運転手	・オーダーの状況や得意先からの見込みの話聞いても、景気が上向きになるような要素の話がほとんどない。
		美容室（経営者）	・今後、何か明るい話題でも出てこない限りは現状維持の消費動向が継続する。
		住宅販売会社（従業員）	・特段の変化はみられない。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・そろそろクリスマスモード、師走モードにならなければならないが、ここ何年もそういう状況にはなく、各商店とも来客数、客単価が落ちている様子であり、今年は更に厳しくなる。
		商店街（代表者）	・選挙が行われる時は、消費が悪くなる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・今後2～3か月の景気という、どうしても総選挙が絡んでくる。どの政党が政権を取っても、新しい組閣ではおそらく未経験者の担当大臣が多くなるとみられ、とても景気が上向きようなムードは作れない。
		百貨店（売場主任）	・客単価アップで売上をカバーしている。しかし、買上客数の前年割れの状況が続いている。
		スーパー（企画担当）	・総選挙の結果にもよるが、経済対策の遅れや来る消費税増税の流れもあり、消費者マインドにプラスとなる材料はなかなか見当たらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（役員）	・各業態で厳しい状況が続いている環境のなか、小売業はデフレ環境がますます強まっている。さらに、今後の復興特別所得税、消費税増税、年金等の問題から、将来不安で消費支出はますます減少傾向になる。総選挙も影響が大きい12月に行われるため、更に不安が増す。
		スーパー（役員）	・クリスマスケーキの予約、お歳暮ギフトの販売の出足が前年を下回っている。年末商戦についても、客の財布のひもは固く、前年以上の売上は期待できない。
		コンビニ（エリア担当）	・回復の要素が見当たらない。
		衣料品専門店（店員）	・年末年始商戦に入り、冬物の高額衣料品の動きが今一つ悪い。節約ムードが高まっているためか、消費者の財布のひもが固くなっている。
		自動車備品販売店（店長）	・総選挙の影響も含めて、客の財布のひもは更に固くなる。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・来年には調剤薬局の差別化が始まることになる。非調剤店は更に厳しく、今後は新しい顧客の囲い込みが重要になる。
		その他専門店〔造花〕（店長）	・経済政策のビジョンが見えないため、消費の向上が期待できない。
		高級レストラン（スタッフ）	・12月の総選挙が確定し、今後、景気が上り調子になるのかわかりかねない。飲食店やレストランは、顧客が選挙活動を行うことも多く、期間中、来客数が減少することがある。また、総選挙の準備が役所でも始まってきており、12月は忘年会が減少しそうである。
		高級レストラン（スタッフ）	・選挙があるとレストランの利用が減少してしまう。
		一般レストラン（スタッフ）	・総選挙を控え、政局が不安定な状況が続いている。また、賞与額の減少が見込まれるなど、景気回復の要素が見当たらない。
		観光型ホテル（スタッフ）	・衆議院解散に伴う総選挙がマイナスに作用する。中国本土からの観光客の入込も期待できない。
		タクシー運転手	・非常に微妙だが、年末にかけての資金繰りなどについて、不安定な状況が続くことになれば、気の抜けない状況が続く。
		パチンコ店（役員）	・年末年始にかけて、節電の影響がどれほどのものになるのかわかりかねないが、夏より厳しい状況になる。
その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・例年、春を迎えるまでは来客数の減少傾向が続いており、今年も例外ではない。		
	悪くなる	観光型ホテル（経営者）	・海外客の予約は好調だが、国内客の動きが全般的に悪い。
企業 動向 関連  (北海道)	良くなる	—	—
	やや良くなる	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・年度末に向けて仕事量が増え、人手不足になれば、多少は取引条件が改善されるのではないかと期待している。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・農家の各種消費が増えるとみられる。
	変わらない	食料品製造業（役員）	・引き続き特段の案件もないため、変わらず推移する。
		家具製造業（経営者）	・住宅などの大型の需要は一旦動き始めれば、ある程度は継続を見込める。
		金属製品製造業（役員）	・特に景気が上向きになるような傾向が全く感じられない。
		輸送業（営業担当）	・荷動きを期待していた農産物のうち、ビート糖のみが8月以降の温暖化、多雨、褐斑病の悪影響で、糖分の含糖率が当初のもくろみより低く、前年以下の生産見込みとなっており、輸送業、倉庫業にとって厳しい環境となっている。
		通信業（営業担当）	・以前と比較すると、当社周辺の景況感は一時的に上向いているが、この先の一層の上ぶれ要因に乏しく、横ばい傾向が続く。
		司法書士	・現状のままで推移していく。ただし、総選挙後の状況は不明である。
		司法書士	・総選挙の結果次第で良くも悪くもなる。何も決まらない政治に決別ができれば、多少なりとも景気回復の兆しが出てくる。
コピーサービス業（従業員）		・ここ1年、徐々に景気が上向いてきているが、そろそろ頭打ちになるとみられる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなる	建設業（従業員）	・衆議院解散など、政局の影響を受けて、予算動向が不明となっているため、補助金等を期待した官民の建築事業が停滞、凍結されている。
		輸送業（支店長）	・総選挙が12月に実施されることから、新体制が発足し、どのような景気対策が施されるか予測がつかない。ただし、具体的な案件が動き出すまでにしばらく時間を要するとみられ、来期以降にずれこむのではと懸念している。
		金融業（企画担当）	・住宅着工は消費税増税を意識した動きが出始め、幾分増加する。個人消費は所得環境の改善が見込めないことから、弱めの動きとなる。大型テレビや乗用車販売も政策支援などで需要を先食いしているため、低調となる。
	悪くなる	食料品製造業（経営者）	・年末の最繁忙期に総選挙が行われるため、荷動きが低迷する。
食料品製造業（団体役員）		・政局の混迷が続き、領土問題、外交問題など、貿易や金融の経済状況に明るさが見えてこない。	
建設業（経営者）		・厳冬期に入り、新規の受注はほとんど見込めない。施工中の工事も順次完成することになり、稼働は低調になる。	
その他非製造業〔鋼材卸売〕（役員）		・当社の客先においては一定量の仕事を確保しているが、受注単価が安く、苦戦をしている様子がみられ、結果として当社の販売量、販売額も苦戦を強いられている。	
雇用 関連  (北海道)	良くなる	—	—
	やや良くなる	職業安定所（職員）	・10月の有効求人倍率は0.61倍と前年を0.12ポイント上回った。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・年末年始商戦を終えると、特に大きな人材需要は見込めない。正社員の採用が決まらない場合は、パート、アルバイトの一時的な雇用が増えるかもしれないが、あくまでも補助的要員であり、企業業績に貢献する社員の雇用が増えなければ、景気が上向くとは考えづらい。
		人材派遣会社（社員）	・求職者の意識が変わらなると状況は変わらない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・総体的な若年の求職者数の減少は少子高齢化の動きに比例している。人口の少ない地方や郡部ほど、その傾向が顕著になってきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・厳寒期を迎えるが、農業関連の好況を反映した求人がまだ継続している。
		職業安定所（職員）	・有効求人倍率は29か月連続して前年を上回り、回復傾向にはあるが、求職者との相談状況では雇用環境の改善は感じられない。
		職業安定所（職員）	・天候不順や漁獲高が不安定な状況においても、今のところは管内の企業整備による倒産や解雇等については規模、件数ともに多くはなっていない。ただし、10月からの最低賃金引上げによる影響や年末にかけての資金繰り等により、企業整備が出てくるかどうかは余談を許さない状況にある。
		職業安定所（職員）	・就職件数は前年比で8.3%の増加となった。
	学校〔大学〕（就職担当）	・変動要素が見当たらない。	
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・求人件数は堅調だが、求職者の減少あるいは応募数の減少によるものとみられる。道外の製造請負業を含む製造業全般の求人件数が減るなど、各業種で人員が充足すれば求人の伸びも一段落することになる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・今後、年内は求人件数の伸びの勢いは止まらないであろうが、マインド的にマイナス傾向が出てきていることは間違いなく、政治や世界情勢などの影響がこれから出てきそうである。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・政権が交代する可能性が高いため、少なからず政治が安定するまでは下ぶれリスクがある。
	悪くなる	—	—

## 2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（店長）	・総選挙により国民の関心が高まり、経済に様々な影響を与える。与党の新しい公約が経済を活性化させ、当初は上向きに動くのではないかと。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
(東北)	やや良くなる	商店街（代表者）	・飲食に関しては今後歓送迎会等が増え、好調な推移が見込まれる。また、ファッション、雑貨等に関しては冬物の動き、そして冬物バーゲンに拍車がかかってくる。政局も安定し、少しずつ未来に対して明るい展望が開け、少しは景気が良くなると期待している。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・年末年始に向けて日本酒の需要があるとみている。
		百貨店（営業担当）	・行事や式典等に対する顧客の関心が強まるなか、クリスマス、正月、バレンタインと続き、顧客関心にうまくマッチした提案ができれば売上を伸ばす余地はあるとみられる。
		コンビニ（エリア担当）	・クリスマスから年末年始にかけてのイベント需要により、来客数及び買上単価の増加が見込める。
		乗用車販売店（経営者）	・1月の初売りセールから始まり、3月の年間で最大の需要期にかけ、例年、市場が大きく動き出してくる。
		乗用車販売店（店長）	・新型車効果と1月の初売り効果が見込まれるため、若干の回復が予想できる。
		その他専門店〔食品〕（経営者）	・総選挙後の状況も落ち着き、少し購買意欲が上がってくるのではないかと。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・前年の冬は豪雪のため来客数が減少していたが、今年の冬は平年並みの予報であり、雪による客足の低下は前年より少ないと予想される。
		一般レストラン（経営者）	・来月は忘年会のシーズンであり予約も入っているため、例年通り忙しくなるとみられる。新年会は年々少なくなってきたが、12～1月はやや期待できる。
		一般レストラン（経営者）	・年末年始の動きは一段落しているところであるが、総選挙等の動きが終わって、少し世の中の緊張感もほぐれ、購買意欲も平常に戻ると予想する。
		スナック（経営者）	・いよいよ忘年会シーズンに入ってきたので、例年とはいかないまでも多少の売上は期待できるものとみている。客に聞くと、忘年会もかなり自粛するところも多いようだが、何とか頑張っていきたい。
		観光名所（職員）	・現在、2月に開催する大きなイベントの準備中であり、復興支援も含め盛り上げを図っているところである。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・国庫関係の事業は10月以降完全凍結されていたが、11月16日に解除され、年度計画にあった事業もやっと動き出している。今後は速やかな予算成立を望む。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・工事待ちの物件を片付けていく。消費税増税導入前の駆け込み需要が上がってくることが予想される。
変わらない	変わらない	商店街（代表者）	・生活防衛、格差の拡大、先行きの不安、総選挙の結果、気分が左右される一般庶民である。財布のひもを緩める要素が見当たらないが、政権も変わることだろうし、それを若干期待したい。
		商店街（代表者）	・師走に向け、店の退店、新規出店があるが、飲食店、サービス関連であり、物販店の減少傾向は止まらず苦慮している。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	・書籍は全般的に好調に推移しているが、雑誌が依然として低調で、売上の成長度合いを阻止している雰囲気がある。客は欲しい物は欲しいようである。また、年末年始にかけてのギフト、その他の行動気配は期待が持てるが、全体的には成長するまで持っていけるかどうか不安である。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・客の流れや動向を見ていると、12月も今月とあまり変わらず、まずまずの状況である。一度にまとめて買うということはそれほどないが、最近は結構こまめに来店する客が戻ってきている。そういう点でも、本当に落ち着いたと受け止めている。
		百貨店（総務担当）	・ここにきて衆議院の解散等もあり、政治への不安定要素やそれによる景気の先行き、消費税の問題等々による客のマインドの変化が読み切れないので変わらない。
		百貨店（企画担当）	・総選挙等の影響はマイナス方向で出ると予測するが、それ以降の年末年始の顧客ニーズは拡大するとみる。一部消費税増税に対する先買い需要で、初売り等で高額商品の動きは上向きになると予測する。ただし、2、3か月ではほぼ横ばいになるだろう。
		百貨店（経営者）	・今後2、3か月先では極端な悪材料も無いが、好材料も無い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経営者）	・12月は総選挙も結果が出て来年度の予算編成も本格化するだろうが、どこに重点的に政策投資が行われるかとても気になる。その在り様ははっきりするまでは、そして執行が始まるまでは、景況は変わらず厳しいとみられる。消費者の購買意欲も年末ボーナスの減少もあり、良くない状態が続くだろう。一番怖いのは公共投資が始まる前に海外需要のさらなる減少や、また円高が進んだり、株安が始まるような要因や事情が発生すること、景気の底割れが起きることである。一日も早く有効需要の対策、規制緩和の実施を期待したい。
		スーパー（店長）	・来客数は微減だが、1点単価、買上点数の減少がずっと続いている。競合を含め、価格競争だけが激化し、利益を圧迫する悪循環はまだまだ脱却できそうにない。
		スーパー（店長）	・商圈内の競合店数も変わらず、競合店間のチラン価格競争は続くとみられ、現状横ばいで厳しい状況が続く。
		スーパー（営業担当）	・ここ数か月の数値の推移から、客の購買行動がすぐには変わらない。
		スーパー（物流担当）	・中国、韓国との問題や、家電業界の不振等に加え、12月の総選挙もあり、景気が上向き要因が全く無い。
		コンビニ（経営者）	・クリスマスケーキやおせち等、予約獲得商材の受注数が前年を大きく下回っている。景気回復の要素も無く、厳しい年末年始になりそうである。
		コンビニ（エリア担当）	・大きな外的要因は見当たらず、前年並みの状況が続く。
		コンビニ（エリア担当）	・沿岸部から中心部への人的流出は続いており、年末から年始にかけて、更にその傾向は強くなるとみられる。
		衣料品専門店（経営者）	・この時期の総選挙で商戦には多大な影響が出るし、お歳暮商戦にもかかわる。今後は次期政権が雇用、景気対策にどのような政策を打ち出すか注目したい。
		衣料品専門店（店長）	・安くはなくても必要なものを納得する価格で買うという傾向が続く。寒くなるなど我々の業界に追い風がくると売れるし、そうならなければ厳しいなど、天候要因にも左右される。状況からみるとあまり変わらないのではないかと予想している。
		衣料品専門店（店長）	・来客数はわずかに増えてきているが、1人当たりの買上点数が下がり、客単価がダウンしてきている。今後、クリスマス需要という最大のモチベーションが待ち受けているなか、総選挙が行われることも消費者のマインドの低下につながる可能性が高いと危惧される。
		衣料品専門店（店長）	・天候の影響による来客数増減による売上の変化はあるが、それ以外の景気回復の要因は無い。
		衣料品専門店（総務担当）	・気候の冷え込みが体感されるようになった11月でも、季節性の高いアイテムの動きが見受けられない。本当に必要とするものしか購入しない様子がかうかえる。
		家電量販店（店長）	・景気の刺激策が無い。
		乗用車販売店（経営者）	・今後気になることが3点ある。1点目は総選挙の行方である。2点目は客の大半が冬のボーナスが減額されているという状況であり、3番目は新型車の効果期間が非常に短くなっているということである。それらによって、市場が盛り上がり欠けることが予想される。
		住関連専門店（経営者）	・耐久消費財を扱っているものとして、住宅の新築着工件数が前年度より伸びているので、何かしらの動きは出てくるだろうとみており、悪くはないだろう。ただ、営業関係等々の努力が実を結ぶかはわからない。正月明け、初売りで最終的な来年度の小売の動向は読めるだろう。
		住関連専門店（経営者）	・当店の商品は耐久消費財で、ぼんぼんと売れる小間物を扱っているわけではなく、ある程度長期の見込みで販売しているため、2～3か月先も今月とさほどかわらず推移していくとみている。
		その他専門店〔パソコン〕（経営者）	・利益が取れない状況はまだ続く。企業努力で件数を多く獲得するしかないが、周りの業者も同じ状況なので、競争が激化するなかで努力していくのは体力的に心配な部分がある。今後も厳しい状況が続くとみられる。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・変わらないというより分からない。総選挙も差し迫っているが、年が明けても政局不安が解消されそうにはない。景気の不透明さが消費者の不安を増大させている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔酒〕 (営業担当)	・正直なところ見通しが立たない。総選挙の結果が地域社会に及ぼす影響にもよる。他に大きな要因が見当たらないので、この冬は、販売の仕掛けや工夫で前年並みの売上が何とか確保できると考えている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕 (営業担当)	・震災復興需要は冬場で建設関係が一段落する。また、政治の空白が予想されるため、来年度予算が執行されるまで動きが鈍くなると予想される。除染関係の需要も冬の到来と人手の確保が困難なため、来春以降に本格化する見込みであり、目先の景気には影響がないとみられる。燃料販売において、頼みは寒波の到来ぐらいしか期待できず、お天気頼みの展開が予想される。
		一般レストラン(経営者)	・東北は他の地方と比べて、復興で来ている人たちは多いので、これ以上落ち込むことは考えにくい、だからといって良くなるというような雰囲気ではない。一部の業種だけが良く、全体的には決して良くはない。海外から支援を受けた義援金などはどこにいったのか。東北に落ちているとは思えない。
		観光型旅館(経営者)	・普段の予約状況や客の様子に特段変化がなく、宿泊よりは日帰り入浴という傾向が続いている。
		都市型ホテル(スタッフ)	・消費低迷が如実になった今、いかに購買意欲がわく商品を作り出していけるか、さらに、リピートいただける仕掛けや仕組みをいかにして構築するかである。常に他の大手に先駆けてスピードを上げて、ターゲットを絞った商品と幅広い層を狙う商品を提供できるかである。
		都市型ホテル(スタッフ)	・宴会部門は定例の新年会以外、今のところ新規受注は無い。また、期待されたインバウンドも関係改善の兆しが無く、宿泊及びレストラン部門も苦戦の見通しである。
		旅行代理店(店長)	・概ね震災前の旅行需要に落ち着いてきたため、さらに大きく落ち込む可能性は少ない。
		タクシー運転手	・今の景気がこのまましばらく続くのではないかとみている。
		通信会社(営業担当)	・年末にかけ一部業界では良くなるが、全般には期待できない。また政治も不安定で期待できる政策はない。
		通信会社(営業担当)	・12月に総選挙を控え景気改善は期待できない。
		通信会社(営業担当)	・好転する材料に乏しく、改善見込みは厳しい状況である。
		観光名所(職員)	・予約状況、フリー客の見込み等を考えると、さほど変わらないとみられる。
		遊園地(経営者)	・シーズンオフになっているが、総選挙によって政権の経済政策が変化していくことに期待している。
		競艇場(職員)	・毎年販売量がなかなか上がらない時期だが、例年よりあまり良くない今月と比べてそれほど差はないと予想される。
		設計事務所(経営者)	・年明けの仕事の話も出てきているが、実際に決まってきたとみないと分からない。確実なところは現状維持ではないかとみている。
		住宅販売会社(経営者)	・受注量は順調で安定している。年度をまたぐ大型物件もあるが、完成工事高にはひびかない予定である。
	やや悪くなる	商店街(代表者)	・これから年末商戦という矢先に総選挙と、消費に水を差された感がある。これからの政局の行方もあまり期待できず、明るい新年を迎えられそうにない。
		一般小売店〔医薬品〕 (経営者)	・客単価や得意客の来店頻度が落ちている。客の懐具合は更に苦しくなっているようである。また、客との会話のなかでも、その端々で生活が苦しい様子がうかがえる。例えば、処方せんでの一部負担金が大変だといった話である。ついで買いはまず無い。大手企業の大規模リストラが伝えられるなかで、個々の消費者は、ますます生活防衛に走るだろう。
		百貨店(売場主任)	・先行き不透明な状況のなか、必要なものだけを求める傾向が続く、購買意欲が低下してくる。
		百貨店(売場担当)	・12月はボーナス月であり、クリスマスや年末の準備等で客にとっては忙しい月であるが、特に必要な買い足しアイテムは少なく、こちらからの動員、イベントを仕掛けて呼んでくるのだが、12月中旬ともなると購買意欲は1月のセールへの関心に変化する方が多数である。前半戦でいかに効果的に来店促進を行い、客単価を上げていくかが重要となる。11月は特に後半週で伸ばしたため、前年比、予算共に売上達成しているが、今後は気温がぐっと冷え込む予報のため、初雪での出足が心配である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（経営者）	・ここ数か月トレンドが下降気味で回復の兆しがみえない。国内外の旅行客の減少、所得減、増税、放射能、日中問題や、取引先の度重なる自己破産申請など明るい材料が無い。
		スーパー（経営者）	・転換点が見えない。総選挙の結果で円安基調に変化する可能性はあるが、数か月の間には変化する可能性は少ない。
		スーパー（店長）	・エリア内に長時間営業のディスカウントストアの大型店出店が12月に予定されており、一般食品、日配品、家庭用品など非生鮮食品のマイナスが予想される。
		スーパー（店長）	・買上点数、販売量の伸び、競合店の様子をみても、今後も厳しさが予想される。
		スーパー（総務担当）	・1点単価及び客単価が前年比95%前後で推移している。買上点数自体は変わらないので、より安い商品にシフトしているとみられる。
		コンビニ（経営者）	・今月は3か月前に比べれば、売上は100%と横ばい状態である。販促が無ければ実質ゼロ成長とみられる。完全に震災復興応援人員は無くなり、2年前の状況に戻りつつあることが来客数減から見てとれる。客単価は伸びておらず、横ばい状態であるため、例年どおりこれからの1～3月は厳しい環境になると予想される。
		コンビニ（経営者）	・以前からだが、放射能の影響などがあり、人口が減っているのが主な原因でなかなか売上が上がらないのが現状である。
		コンビニ（エリア担当）	・業界内の新規出店は、競合各社の計画目標達成を背景として増加していくと考えられるが、市場自体の大きさは限られ、人口減少傾向も進むことから、1店舗当たりのシェアがさらに縮小していくと予測している。
		コンビニ（店長）	・12月16日というタイミングで総選挙があるが、選挙になると繁華街に人が出なくなり、景気が悪くなると飲食関係の客がコンビニに買物に来なくなる。そうなれば単価は下がることが見込まれる。既に市内では夜は静かになってきている。そういった影響で12月の数字は下がるのではないかと予想される。また、中国情勢も非常に悪く、いろいろなメーカーが悪いとっており、先行きが不安な状況である。
		衣料品専門店（経営者）	・総選挙の結果がどのようになっても先行きの生活に対する不安感が増大し、購買意欲が弱くなるとみている。
		家電量販店（店長）	・各業界、業種の冬の賞与の支給状況によっては、景気の回復はまず見込めない。また、政治的に不安定な要素も大きく響き、消費に回るお金はどんどん減らされていくような傾向が見受けられる。
		家電量販店（店長）	・引き続きテレビやレコーダーなど黒物家電の単価は下がるだろうとみている。特にテレビは、売れ筋である32型や40型は単価が半減しているため、大型化により単価の高い商品もあるが減少分をカバーしきれてはいない。年末年始に向かっても動きは変わらないとみている。タブレット等の人気の商品は今後更に売れると予想されるが、減少分はカバーしきれないのではないかとみている。
		乗用車販売店（経営者）	・新型車イベントでの客の反応も鈍く、需要期を迎えても明るい材料が無い。しばらくエコカー補助金終了による減少が続く。
		乗用車販売店（従業員）	・雪も降り、販売量が大幅落ちてきている。雪が解けるまではなかなか台数は伸びない。
		住関連専門店（経営者）	・マスコミ情報等、消費をそぐ情報があふれており、客の慎重さが増しているようである。また、新築時でもまとめ買いをするケースが極端に少なくなっている。
		その他専門店〔靴〕（従業員）	・ここ数年、春のドカ雪が続いており、春物商戦の立ち上がりは苦戦が続いている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・復興が大幅に遅れている。
		高級レストラン（支配人）	・しばらくこの国はダメかもしれない。今の暮らしをいかに守るか、壮絶な闘いの日々が続く。
		高級レストラン（支配人）	・地方では農閑期の11月から新年にかけて活発な動きを見せるが、その後は消費活動が停滞する。景気の明るいニュースもなく、例年よりも財布のひもが固くなりそうである。
		一般レストラン（経営者）	・これから総選挙があるが、たぶんどこが勝ったということにはならないので、相変わらず決められない政治が続き、なかなか景気は良くならないのではないかとみている。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・節約するという雰囲気がすっかり定着して、自然な状態になっており、よほど特別なときにレストランに行くというような雰囲気になっている。今後もレストラン業においては、客が来るようになるとはなかなか考えにくい。
		観光型ホテル（経営者）	・12月以降の入込は前年を大きく下回っている。震災後、約2年になろうとしているが、他県からの復興支援も少なくなりつつある。また、地元は震災県でもあり、期待できない。
		観光型ホテル（スタッフ）	・世界経済が悪いとか、あるいは復興に関する今後の計画などにより、個人消費が冷え込むということが考えられる。それにより、1泊旅行などが自粛されるのではないかとということ、デフレがまだ収まっていないので、そういう観点から厳しい状況が続くとみられる。
		都市型ホテル（経営者）	・宿泊部門ベースでは、現在の予約数からみると1、2月の入込は厳しいと予想している。また、当市の近郊の方々による婚礼及び宴会についても同様のことがいえる。その部分が減ると、当然料飲施設も減るので、総体的には厳しい状況になる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ホテルの宿泊に関しては、これからデスティネーションキャンペーンを目前に控えて良くなるとみているが、この悪天候が続くようであれば、秋田を訪れる客が激減するのではないだろうか。また、冬になりスキーシーズンや温泉需要の客の増加が望まれるが、春までずっと我慢の様子が続くことも考えられる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・特需の反動で、今後は少しずつ厳しい状況に向かう。
		旅行代理店（経営者）	・今よりも良くなるということが考えられないというか、その見通しが立たない。先が見えないというのが本当なのかもしれないが、良くなる理由がないというのが1番である。
		旅行代理店（従業員）	・先行の数値状況より消費需要が落ち着いてくると予想される。
		タクシー運転手	・選挙が間近になると人出が減り、夜もほとんど出なくなる。
		通信会社（営業担当）	・エコカー補助金も終わり、車購入の伸びも悪くなり、家電メーカーの縮小があり、大量の失業者が増えるため、経済が浮上することは難しく、先行きは厳しい。政局も不安定なため、更に悪化傾向になるとみている。
		通信会社（営業担当）	・中国の影響で、製造業の生産がかなり足をひっぱられている。また、エネルギー問題についてもまだまだ先の話で、復興支援もこれからは何かありそうだが、まだどのように景気が良くなるかという具体的なものは見えていない。
		通信会社（営業担当）	・年末商戦等で一時的に消費は伸びると想定しているものの、年末の総選挙と政治不信のあおりを受け長期的な消費低迷期に突入していくとみている。
		美容室（経営者）	・建設業や復興関連産業は違うだろうが、一般的なサービス業については、年末の賞与の減額等が考えられるので、消費自体は厳しい状況かと考えている。
		美容室（経営者）	・日に日に寒くなるこの季節、美容室に出かけようとする客数がますます減ってきている。年末ごろに多少客の出入りもあるが、それ以外は静かな状況が続く。
	悪くなる	商店街（代表者）	・12月の予約状況が非常に悪く、1、2月も全く動きがない。総選挙その他の関係もあると思うが、全く動きが止まったという状況である。
		商店街（代表者）	・政治状況が不安定で、購買意欲を削いでいる。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・12月16日の総選挙が終わり新しい政治が始まったとしても、結果はすぐには出てこないもので、当分景気は落ち込むというふうに街の状況から判断している。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	・年も明け新年になり、客の買い控えが始まる。
		百貨店（経営者）	・総選挙への期待で株は上がっているが、実体経済は良くなっていない。中国、アメリカ、ヨーロッパの状況を見ると、世界景気が来年に向けて失速することが考えられる。円高がある程度解消しても、世界が不況の状況では回復は期待できない。
		スーパー（経営者）	・冬に入り、暖冬が一転し寒い冬になりそうだということである。灯油の値上がり、ガソリンの値上げ、なおかつ電気代の値上げ等々がある。また、総選挙によっていろいろな焦点があるわけだが、非常に先行きが不安である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（エリア担当）	・更なる競争店出店の増加と景気の先行き不透明感で来客数、客単価共に悪くなると考える。
		衣料品専門店（経営者）	・例年2月は何をしても駄目で、客足が遠のく。
		衣料品専門店（店長）	・冬の暖房費がかさむ時期は厳しくなる。
		乗用車販売店（店長）	・エコカー補助金終了の影響はしばらく続くとみている。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・年明けから2月までは衣料品業界的には消費活動は停滞する傾向にあるので、例年のことではあるが売上は見込めない。また、就業人口が少なくなっており、制服の需要も毎年減ってきているのも厳しい現実である。
		高級レストラン（経営者）	・しばらくは良くなる要素が無いので困っている。
		観光型旅館（スタッフ）	・オフシーズンの営業対策は販売単価を下げるしか具体的な集客施策をとらない。経費は変わらないので、大きく集客が見込めるオンシーズンはそれでも利益確保ができるが、集客が落ち込むオフシーズンは赤字となる。運営部門の過重労働問題の解決策も行う見込みがなく、営業部門、運営部門共に問題を抱えるオフシーズンとなりそうである。
		タクシー運転手	・消費税の導入が見込まれており、かなり不安の声が聞かれる。
		通信会社（営業担当）	・年末年始の特番視聴に間に合わせたいことと、年末キャンペーンの効果で新規の加入契約は12月がピークになり、1～2月に向かって最低の契約状況になる。その他にも、12月から大手通信会社の大幅な値下げ競争が始まることで、比較的増減の幅が小さかったインターネットの加入者も大きく減少し、解約者は増加することが予想される。
企業 動向 関連  (東北)	良くなる やや良くなる	—	—
		土石製品製造販売（従業員）	・これから東北は本格的な雪の季節になる。積雪に向けての道路設備や、建物の補強工事などの作業が結構入ってくるため忙しくなる。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・携帯端末、PC市場が更に活発化するため、それが直接景気に影響する。そしてそれは、当社の業績に直接結び付く。
		建設業（従業員）	・地方議会における年度内での工事契約承認を考慮し、年度末に向け、地方自治体の大型案件等が一定量出件すると推測される。
	変わらない	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・これから総選挙があるが、その結果が景気を左右する。以前とは全く違った政党が出てきて、景気の浮揚策を打つのが非常に早くなるのではと期待している。
		食料品製造業（経営者）	・牛タンの人気が継続しており、この先も変わらないとみている。ただ、懸念材料としては、牛タンは地元の人たちよりも県外からの人たちに人気があるので、12月のお歳暮だけは前年並みになると予想している。しかし、1、2月については全く心配していない。
		食料品製造業（経営者）	・12月の総選挙の結果次第でどうなるのか全然予想がつかない。
		食料品製造業（総務担当）	・ここ数か月間の出荷の状況は前年比で横ばい、もしくは前年割れで推移しており、上振れが期待できない。
		木材木製品製造業（経営者）	・今後冬場に差しかかり、住宅部材の需要が減退していくと予想され、企業収益の改善につながらない。
		出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・受注量の見通しは横ばいである。受注が上がるか下がるか、不透明な状況である。
		一般機械器具製造業（経営者）	・自動車部品については、世界の需要がやや拡大しているもので、今後増加することが予想される。ただし、中国の需要、それから一部ASEAN地域、南米の一部地域については引き続き減少することが懸念される。
		建設業（経営者）	・市役所のリフォーム工事助成金制度が1月から始まるので、ある程度の期待が持てる。
		建設業（企画担当）	・公共工事の出件が望めるものの、人手不足や労賃高騰等から景気の状況はあまり変わらない。
		輸送業（経営者）	・悪くなることはあっても、良くなる要素は少ない。
		輸送業（従業員）	・運休中の国際定期便の回復がみえない。
		通信業（営業担当）	・受注案件は少ないものの、受注する案件規模が平均を上回るものがある。しかしながら、受注量としては低迷しており予断を許さない状況には変わりない。
		通信業（営業担当）	・日本経済をけん引できる政治家、政党が不在である。どの政党が与党になっても短期的な対応となり、中長期的に改善できる抜本的な戦略を打ち出し実行できるとは思えない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（営業担当）	・一進一退の動きが続き、大きな変化要因は無い。
		金融業（広報担当）	・政治に左右される可能性もあるが、足元のところでは大きな動きには至らないと考える。
		広告業協会（役員）	・今年は年末年始の広告引き合いも今のところ活発とはいいがたい。来年3月の震災2年目のイベントや宮城県が中心となるデステーションキャンペーンに期待をしている。
		広告代理店（経営者）	・総選挙で政治が動けば、多少、景気にも影響は出るだろうが、景気の回復にはまだまだ時間を要するものとみられ、2、3か月先も変わりはない。
		広告代理店（経営者）	・長期受注見通しが現在と同様である。
		経営コンサルタント	・総選挙が終わるまでは小康状態が続く。
		コピーサービス業（経営者）	・復興関連の取引は横ばいから減少傾向に入ったようである。客からの問い合わせ、来店客などの情報により、この傾向は少なくとも来年の1月ごろまでは続くと思われる。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・総選挙の結果により、政権奪還が図られれば原発関連の施策が変容する要素もあろうかと考えているが、そうであっても2、3か月後にその効果が顕著になるとの判断はできない。
	その他企業〔工場施設管理〕（従業員）	・特に変化する要素は見当たらない。	
	やや悪くなる	農林水産業（従業者）	・与党の総選挙での敗北が予想され、来年度以降の戸別所得補償制度の存続が危ぶまれる。
		繊維工業（経営者）	・中国との関係や国政等、今後どんな風になるのか不透明である。期待はしたいが、現実的にはあまり期待できない。さらに、個人消費がアップするとも考えられない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・工場ががらんとしている企業が多く、今後の受注についても先の見えていないところが多い。
		司法書士	・金利低下による住宅ローンの借り換え需要も一段落し、不動産取引件数も低迷している。
		公認会計士	・復興需要がなかなか見えてこない。当面は現在のゆるやかな下降状況が続くとみられる。
その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）		・総選挙モードの年末、飲食や贈り物需要に不安がある。接待及び忘年会、歳暮を始めとした贈答関係は動きが鈍くなる。	
金属工業協同組合（職員）		・主要受注先の発表によると、今後の事業方針計画は売上減少、人員調整を含むコスト低減強化策等が顕著に見られ、良い材料が無い。	
悪くなる	農林水産業（従業者）	・今年のおじりんごは各地豊作ということで販売単価が安くなる。また、現在、贈答用の注文数も震災前の7割程度である。	
	通信業（営業担当）	・労働人口の減少、デフレ市場、中国等との外交問題がある。	
雇用 関連  (東北)	良くなる	人材派遣会社（社員）	・今まではお金をかけずに採用活動をしていたが、特に新卒採用において、お金をかけた採用活動に踏み切った中堅中小企業が増えてきている。
		人や良くなる	人材派遣会社（社員）
	変わらない	アウトソーシング企業（社員）	・来年度はわからないが、今年度は震災関連の仕事がまだまだ続く。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・政局次第でもあるが、年明けから3月ごろまでは被災地復興予算がゼネコンやディベロッパーに落ちており、地元に戻元される傾向は拍車が掛かるとみられる。ただ、4月以降、新年度になると先が全く不透明で警戒感がある。
		人材派遣会社（社員）	・現在の長期案件の動きは低迷しているため、例年のように年度末需要の見通しが良くなるとまでは言い切れないため変わらない。
	人材派遣会社（社員）	・11月頭までは年末、年度末への需要があり、そこそこの受注があったものの、そろそろ落ち着きを見せている。日雇い派遣原則禁止もあり、今年の年末年始は短期及び単発オーダーが受注できない。2～3月の年度をまたぐオーダーが出る時期まで読めない状況である。	
新聞社〔求人広告〕（担当者）	・円高の影響を受けて、中央の自動車製造などの求人は大幅な落ち込みであるが、地元は今のところその影響はない。冬場に向けてサービス業などの新たな動きが出てきているが、顕著なものではない。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・新規求人数が前年同月比で増加する傾向は続くと思われるが、製造業を中心に円高等の影響が懸念される。
		職業安定所（職員）	・企業訪問の際に、幅広い業種で景況感が悪化している状況が見受けられる。
		職業安定所（職員）	・年末年始にかけて、多少消費は拡大してくるとみられるものの、依然として厳しい状況には変わりがないのではないかと。
		職業安定所（職員）	・建設業、小売店、飲食店、介護施設などからの求人で、新規求人は引き続き高水準で推移するとみられるが、食料品製造業を除く製造業など一部の業種では求人の動きが悪くなっており、今後の動きに注意が必要である。
		職業安定所（職員）	・事業所の再開等の動きは当面継続するものとみられ、求人動向についても現状が継続するものと考えられる。
		職業安定所（職員）	・有効求人数は前年比29%の増加となっている。また、前月比でも7%の増加となっている。有効求人倍率も前月より0.08ポイント上昇し、1.10倍となっている。復興関係により求人数が伸びている関係で、有効求人倍率が上昇しているものとみられる。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・企業側の期間を限定した人材ニーズは依然高いが、求職者側は正社員での長期就業を希望する傾向が強くなっており、そのギャップはどんどん大きくなってきている。どちらも妥協しないため、雇用に結び付かない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・29年ぶりの12月総選挙関連広告でどれだけ通常の落ち込みをカバーできるかにかかっているが、それも2月、3月分までは難しいと考えられる。
		職業安定所（職員）	・求人においてはまだ正社員求人が少ない。また、多数を対象とする解雇等により、求職者数の増加が懸念される。
		職業安定所（職員）	・求人倍率は改善しているものの、当所の基幹産業である製造業の求人が減少しており、求職者とのミスマッチが増加している。今後もこの傾向は続くと考えられる。
		民間職業紹介機関（職員）	・電子機器関係の企業でのリストラにより、消費の悪化が予想される。
	悪くなる	人材派遣会社（社員）	・エコカー補助金の終了や中国問題の長期化により、景気後退は避けられない。
新聞社〔求人広告〕（担当者）		・年度末である来春の売上予想を下方修正している企業の数が多くなってきている。	

### 3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北関東)	良くなる	○	○
	やや良くなる	乗用車販売店（経営者）	・エコカー補助金の反動減もやや落ち着き、最大需要期の3月に向かって回復が期待される。
		自動車備品販売店（経営者）	・エコカー補助金の終了に伴う弊害も落ち着き、また、新卒の時期にも当たるため、自動車業界は多少回復に向かっていく。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（従業員）	・選挙が終わって変化があるのだろうか。
		スナック（経営者）	・予約状況は、前年よりは良くないが、年末年始にかけて入っているため、今よりは少し良くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・これからは忘新年会の時期になり、やや良くなるが、前年と比較すると、ますます悪いと思う。前年は、いろいろと不景気の要因があり比較にならないが、当地域においては非常に人の出入りが少ない。ただ、忘新年会の時期に当たるため、いつもよりは良い。
		通信会社（営業担当）	・例年並みではあるが、年末商戦で消費が伸びると思う。ただし、航空機各社の値下げが影響し、今年は海外での年越しが増える可能性が大きいと、国内需要への影響が懸念される。
		設計事務所（所長）	・年末年始を迎えるにあたり、キャンペーンを実施する予定である。今月の落ち込みからは脱却できると思うため、期待したい。
変わらない	商店街（代表者）	・商店街で売出しの市を開催しても、若い人は大型店、スーパーに行き、ほとんど買物に来ない。高齢化していく商店街は、まさに景気の明るさが見えない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・景気が悪いということで、物販業では余計な物は買わず、全く消費が冷え込んでしまっている。当分の間、景気が良くなることは望めない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・月半ばに大型店がオープンした。人出も大変あり、当分は元気であるだろうが、他の地域は元気がなく、皆疲れている。そのため変わらない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・総選挙が絡み、先行きがますます不透明で、消費者の財布のひもは緩んではこないようである。客に勧める商品もたとえエコでも、高額な商品は売る側がちゅうちょしてしまう現実がある。現金を持っている客は量販店で、現金のない客は掛売りの利く小売店へ行ってしまおうという嫌な気配も感じられる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・なかなか客の購買意欲が上がってこない。
		百貨店（営業担当）	・特に上がる傾向はないと思う。総選挙で情勢は若干変わると思うが、消費の拡大というのは考えにくい。
		百貨店（販売促進担当）	・現状は必要な物や価格訴求の商品しか売れておらず、年末年始を控え、ますますその傾向が強くなると思う。また、お歳暮ギフトもダウントレンドで向上要因が見出せず、現状と変わらない。
		百貨店（販売促進担当）	・初売り、クリアランス時期に入ってくるが、不要不急品の購入は控えるという傾向は変わらない。現状、好転要因は見当たらない。
		百貨店（店長）	・12月の総選挙や、その後の不透明感を踏まえると、購買意欲の喚起は難しい。
		百貨店（販売担当）	・販売促進策などを前年以上にきっちりと実施していくことで、来客数確保に努める。
		スーパー（店長）	・曜日ごとの客数は、数か月間変化がない。
		スーパー（店長）	・次の政権に期待はしているが、根本的にマイナスのスパイラルから抜け出せないと感じる。3か月先は今年度の決算だが、かつてない程の悪い決算になりそうである。
		スーパー（総務担当）	・税率の引上げ、社会保障に関する不安、ボーナスの減額など景気回復の材料がない。
		スーパー（統括）	・消費者の価格に対する意識は強いものの、防寒衣料や鍋商材の堅調な動向から、季節商材、際物商材は底堅さが感じられる。懸念材料は、観光地店舗の客数がマイナス3～5%減であるが、新政権によるアジア情勢の好転に期待している。
		コンビニ（経営者）	・どうしても値下げ、値下げで売上が伸びない。客数は前年より増えているが、買上点数が追いついてこない。
		コンビニ（経営者）	・この時期は、それほど期待できる季節でもないため、年末のお歳暮、クリスマス商材を中心に伸ばし、勢いをつけて新年に向かいたい。
		コンビニ（店長）	・総選挙があるが、総選挙に関わる特別な変化はない。
		衣料品専門店（店長）	・政治が不安定なため、将来に対する漠然とした不安感があり、消費マインドは低下している。
		衣料品専門店（統括）	・今も消費の低迷は変わらず、なかなか売上増に至っていない。郊外の大型ショッピングセンターの販売合戦が、暮れのこの時期に多くなり、そのなかで中心街に来る客が増えない。
		乗用車販売店（販売担当）	・12～2月は観光地としてはオフシーズンに入り、観光客も少ないため、当社を取り巻く環境はそれほど良くない。中古車に関しては、今のところ順調に売れており、極端に悪くなることはないと思うが、今の低い水準で、このまま2～3か月先もいくのではないか。あまり景気の良くなるような要素がないため、変わらない。
		乗用車販売店（販売担当）	・3か月前と比べて車の販売は、エコカー補助金が終わったため、売行きが止まっている。この先伸びる要素がないため、変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	・自動車の販売はあまり活発ではないが、地域性もあって冬用カー用品、特にタイヤの注文が例年より多く、少々にぎやかであるが、一時的な現象に思える。
		住関連専門店（経営者）	・実質的な消費拡大の糸口が見当たらない。例えば、製造業の受注拡大や公共投資の拡大、給与所得者の賞与の増加等、景気回復への著しい変化は見当たらない。
		住関連専門店（仕入担当）	・天候不順や政治の混迷が象徴であるが、そういった環境の変化から自己を守るための消費行動がより加速するため、より厳しさが増す。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・忘年会シーズンだが、総選挙の影響がどのように出てくるか分からない。11月中は会合が多くなり良い方向だが、公示後は確定していない。
		一般レストラン（経営者）	・依然として経済界が非常に低迷している。それと共にデフレの時代はまだ続き、良くなる兆しが見えてこないため、変わらない。
		スナック（経営者）	・景気の悪い日々があとひと月という早さで進んでおり、本当に大変である。悪いまま変わらない。
		スナック（経営者）	・変わらないというより分からない。総選挙の結果なども影響してくると思う。
		旅行代理店（経営者）	・総選挙の結果がどうなるか全く読めない。新政権が主導を取ってもなかなか難しいと思うが、現政権ではもっと悪くなると思う。これから先は全く分からず、不透明である。
		旅行代理店（営業担当）	・暮れも押し迫り、12月に総選挙を控えて、何か社会全体に余裕がないため、旅行の需要は伸び悩む傾向にある。
		旅行代理店（副支店長）	・政治動向、経済状況を含めて先行きにまだまだ不透明なところがあり、旅行業としては厳しい状況が続いている。
		旅行代理店（副支店長）	・海外旅行は現状のままだと思うが、国内旅行、特に東京日帰りや東北への旅行については少しだが動きが出てきており、このまま人気の旅行地は持続しそうである。受注状況は前年と同じか、若干上回っているが、旅行代金もデフレ化が進んでおり今後懸念される。
		タクシー運転手	・12月は忘年会シーズンであるが、忘年会をやらない所があるようである。しかし、これ以上は悪くならないと思う。
		通信会社（経営者）	・衆議院選挙とLPG、灯油の需要期が重なってしまったため、選挙結果次第でしばらく円安が続くとすると、仕入高の高騰が続く可能性が大きい。また、消費税増税を意識して、比較的高額な機器は、前倒しで若干売れてきたが、それでも震災以降全く好転していないと言っているレベルである。このような景況で増税したら、地方の零細企業は立ち行かなくなる。
		通信会社（総務担当）	・個人消費が低迷している。
		テーマパーク（職員）	・一般来園者は回復しつつあるが、学生団体や訪日観光団体が減少しているため、良くなる材料が少ない。
		遊園地（職員）	・回復基調を期待したいが、先行き不透明な状況が続いている。
		ゴルフ場（業務担当）	・今月は、前年に比べて入場者数はほぼ同じだが、23日からの悪天候の影響もあり、売上が伴っていない。平日については、景気にあまり影響を受けないシニア層の取り込みによって、入場者はある程度確保できた。ただ、土日のシニア層を除いた全体の入場者は伸び悩み、ショップ関係の売上が予想に届かず響いている。総体的な売上がなかなか伴わないのが現状であり、向こう3か月については引き合いはあるが、安いプランばかりである。
		競輪場（職員）	・他の公営競技の売上高も、さほど変化が見られない。
		その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・先月から今月にかけてが一つの底のような感じで、客数、単価共に落ちている。好転の材料をいろいろ探し、工夫もし、売場を変えたりもしているが、なかなか効果が上がっていないため、この状態がもう少し続く。
		美容室（経営者）	・店の設備投資の相談件数が10月1日以降、少なくなっている。12月の選挙状況を確認してから動くと思うため、総選挙の結果が目される。
		その他サービス [清掃] (所長)	・ボーナスの支給や年末年始を迎え、多くの家庭で多少買物等が増えるが、景気が大きく変わることは考えられない。
		設計事務所（経営者）	・2、3か月先までは仕事の予定があり、忙しい。
		設計事務所（所長）	・衆議院選挙により現政権から他へ政権が変わるとしても、急激な変化は望めない。まして世界的な不況の風は急には収まらないだろう。日本の景気がこれ以上悪くならないよう願う。
		住宅販売会社（従業員）	・田舎暮らし志向の需要が一巡し、別荘需要は停滞傾向が続くと思うためである。
		住宅販売会社（経営者）	・現在は、需要の先食いの状態であるが、総選挙の結果次第で動きが予想できない。現状は、良い方向に向かっているが、総選挙の結果次第で流動的である。
		住宅販売会社（従業員）	・中国の景気、円高がどこまで是正されるかで大きく変わると思うが、長続きしないのではないかと。更にエコポイントの一部等の政策の終了もあり、反動がでるのではないかと。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・ボーナス減額や、いろいろな経費が増え、無駄遣いができないと嘆く客が多い。
		商店街（代表者）	・商店街に人が歩いていない。今月になって2件の店が閉店し、パチンコ店も2店破産してしまい、商店街は灯りが消えたようである。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・総選挙で勝った党が大きな景気対策をやり、少しでも上向きになってくれることを期待している。
		百貨店（総務担当）	・お歳暮商材関係や、年末年始の初売り商戦も、年々、団塊の世代が卒業したことで、買う人が少なくなった。また、初売りで新しい物を購入するという、昔ながらの買い方をする人が激減している。1年の締めくくりとして、新しい物を着る、買うという人が年々減少しており、消費が平準化したように感じる。
		百貨店（店長）	・現在の政治情勢が続くと、生産者から要望の声が高い企業減税などの思い切った政策が期待できない。
		スーパー（経営企画担当）	・景気の先行きの見込みが悪いことと、業界全体も低迷しており、大手が先頭を切って値下げ競争が始まっている。
		コンビニ（経営者）	・毎年1、2月は来客数が少なく、客単価も上がらないため、やや悪くなる。
		コンビニ（経営者）	・単品のための目的買いが多い。
		コンビニ（店長）	・当店前の道路延長上に、同じチェーンに属する新店が1月ごろオープンする。ただでさえ悪い方向に動いているのに、更に悪影響が出る。
		衣料品専門店（販売担当）	・今月より悪くなつては困るが、財布のひもが極端に固くなっている。また、年末年始の催事的なもので良くなる要素はあると思っはいるが、当社のような衣料品関係に関しては、生活必需品と違うため、敬遠されていくような気配があり、若干今よりは悪くなっていくと思う。
		家電量販店（営業担当）	・政治が流動的で先行きに不安があり、投資もできない状況である。
		乗用車販売店（従業員）	・販売車両が減少しており、車両もコンパクトカーが主流になって、収益に影響が出ている。継続整備のサービスにも影響が発生していきそうである。
		高級レストラン（店長）	・予約の受付状況を見ると、今後、更に厳しい状況が予想される。
		一般レストラン（経営者）	・忘新年会の予約チラシに対して、客の反応がない。特に、会社関係が前年同様、最悪の状態である。
		一般レストラン（経営者）	・政局が不安定で、政治家皆が好きなことを言っており、国民の不安は募り、消費は冷え込む。
		観光型ホテル（営業担当）	・これから宿泊はオフを迎え、忘新年会シーズンを迎えるが、例年あった宴会が幾つか自粛のため獲得できていない。好景気を生む要素が見当たらない。
		都市型ホテル（支配人）	・忘年会の予約の入込、及び、年末年始の呼び込みが弱い状況である。予約状況は、例年より2割程度少ない。
		都市型ホテル（営業担当）	・ビジネスホテルの関係では、12月が販売や景気のピークと考えられるが、年始はなかなか稼働が伸びない状況がある。また、景気が悪くなってくるような報道などがあるため、その後もあまり期待できない。
		旅行代理店（従業員）	・燃油がまた高くなり始めている。
		通信会社（経営者）	・年末、年度末に向けて例年は販売量が大幅に伸びるが、東日本大震災後の景気は、常に悪化傾向にある。被災地である当地域では、更なる復興支援等の協力がなければ、前を向くことは困難だろう。広がり続ける景気の悪化は、多くの中小企業を飲み込み、倒産や廃業する仲間は増え続けている。
通信会社（局長）	・産業界のリストラの進行など、個人消費に陰りが生じる材料が出てきている。		
通信会社（販売担当）	・中国、韓国との外交問題や、消費税増税などの政治不安が続き、先行きが不透明なため当分景気は低迷していく。		
設計事務所（所長）	・景気浮揚をうかがわせるような要素は皆無である。		
悪くなる	一般小売店〔乳業〕（経営者）	・工業団地内の製造業関係の企業は、この先の業績判断が相当厳しい。年明けには、社員の消費動向に更なるマイナスの要因となりそうである。	
	スーパー（経営者）	・消費者心理が上向き気配はない。	
	コンビニ（経営者）	・今後、来客数が減ることと、客単価が低くなってくるのが原因である。	
	衣料品専門店（経営者）	・総選挙の影響で、年末の売上が減る。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家電量販店（店長）	・好調商品の携帯電話、スマートフォンは2倍の動きであり、冷蔵庫も前年は越えているが、金額構成比が低いので、このままでは景気は悪くなる。
		一般レストラン（経営者）	・客数が減少しつつある。宴会の回数が特に減っている。
		旅行代理店（所長）	・今月が年間のピークであるが、確実に悪くなる方向に向かっている。冬季の各種観光誘致イベントを実施するが、それらがいかに功を奏するかに期待したい。
		タクシー（経営者）	・不景気感が続いているため、この先も悪い。
		美容室（経営者）	・新規客の見込みは難しく、緩やかなカーブではあるが来客数は落ちている。客のパイをめぐる既存店は苦戦しているが、新規店の将来もこのようになるかもしれない。地方都市での景気は都市部とは明らかに違う。
企業 動向 関連  (北関東)	良くなる	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・本業とは別に、会社の屋根に太陽光発電をテスト的に取り付けており、23.8kwが10月より稼働して12月に約10万円の入金予定である。4月より複数の500kw未満の発電が順次稼働予定である。
	やや良くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・現政権の影響で、デフレ、円高、株安であったが、衆議院の解散が決まった途端、円安、株高になってきたため、政権交代すれば少しは景気が良くなるのではないかと思う。
	変わらない	食料品製造業（営業統括）	・今年度収穫の新酒に期待したが、思ったほどの伸びは見られず、現在の景気に左右されて消費者の財布のひもは固く、伸び悩んでいる。
		食料品製造業（製造担当）	・店にはアウトレット品を求めて買いに来る客がいるため、やはり安い物が売れる傾向にはあるが、正規品も普通には出るので、変わらない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・特注受注の見込みは薄く、Webを中心に商品の宣伝もしているが消費者の興味も薄く、販売予想共に良い材料がない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・総選挙があり、その後のことが分からないため、どうなるか今のところ見通しが立たない。
		金属製品製造業（経営者）	・今以上に仕事量が少なくなった場合は、将来がとても不安である。先のことは分からないため、仕事が出るようになることを希望している。
		一般機械器具製造業（経営者）	・現状では大きな変動要因が見られず、全体として低迷が続く。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・注文は一時的で、長くは続かないと思う。
		輸送業（営業担当）	・前年は東日本大震災、原子力発電所等の影響により、節約家電、電気家電等の石油ストーブやガスストーブが大幅な荷動きがあり、また、エコとしてカイロ、湯たんぼ等の動きも大きかったが、今年は例年並みである。また、年末年始に向けて初荷等の雑貨、衣類等は例年並みの動きが予想されるが、ここへきての燃料の高騰もあり、少し利益の確保が厳しい状況である。
		金融業（経営企画担当）	・円安傾向は製造業の景況感に好影響を及ぼすと予想されるが、尖閣諸島問題による日中関係は観光業のみならず、製造業にも影響を及ぼしかねない。
		広告代理店（営業担当）	・12月に総選挙があるため、年末商戦への集中力が途切れがちになる。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・衣料問屋の話では、冬物は例年くらいの動きであるが、価格は安い物の動きが多いと話している。
		司法書士	・良くなる気配が見えないため、このまま続くのではないか。
		経営コンサルタント	・国の政策の行方が見えず、産業界としては動きにくい。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・総選挙もあり、先行きが読みにくくなっているため、何とも言えない。	
	やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・仕事量が減っていることと、価格が抑えられているため、利益が上がらない。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・官庁関係の大口の仕事等が随分少なくなってきた。先行きが心配である。
		化学工業（経営者）	・年が明けても仕事量はそこそこあり、利益も出そうである。しかし、先行きが何とも不透明、不確実のため、どうしてもマイナスの考え方になってしまう。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		電気機械器具製造業（経営者）	・これから3月末にかけて売行きが芳しくないため、各メーカーが在庫調整をすると思う。受注量が落ち気味になってくるため、3月までは厳しい低空飛行が続く気がする。
		電気機械器具製造業（経営者）	・企業として努力もしているが、受注につながらず、限界を感じる。
		金融業（役員）	・飲食業では、総選挙絡みで接待等が規制を受けるため、客が出なくなり、消費が落ち込む。また、車や機械関連は、国内のパイが非常に小さく、価格競争が激しいため、利ざやが非常に縮小している。
		金融業（調査担当）	・海外需要の不透明感は続くともみられ、しばらくは生産の減少を余儀なくされる可能性が高いため、企業のマインド面も停滞する。
		不動産業（経営者）	・この時に消費税増税では、素人が考えても冷え込むのは自明である。
		社会保険労務士	・消費税増税法案の成立以降、必要最低限な物以外は売れなくなってきている。少なくとも総選挙後までは、こうした消費者心理は続くものと思う。
	悪くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・親工場の海外移転により、受注量が減少しつつある。
		電気機械器具製造業（経営者）	・客先の新製品予定が、来年の5月に遅延しているとともに、現在の製品受注が下降気味である。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・物件が非常に少なくなっている。また、非常に不況になっており、設備投資の計画が中断している企業も多いようである。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・大手自動車メーカーの情報では、中国、欧州、豪州向けが半分程度になっている。今のところ北米が若干好調だが、国内は不振であり、1月以降は減産に入るため、先行きが全く不透明であり、どうなるのか分からない。特に10月以降は、大手メーカーからのコスト引下げの要請があるため、収益も大幅に悪化してきており、12月の賞与も見合わせざるを得ない状況である。非常に苦慮している。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・クリスマスに向けセールを企画し、顧客へアプローチしたが、旅行とぶつかるため行けないとの返事が多かった。ジュエリーの購買より旅行に重点が置かれている。クリスマス休暇を始めとし年末年始の休暇が長いと、ジュエリーの購買には結びつかないのではないかと。
		建設業（総務担当）	・公共工事主体で土木舗装工事を行っているが、決算で2期連続の赤字となってしまった。来期も厳しい状況が続くが、長期工事の2現場が完成になるため、何とか期待したい。
		通信業（経営者）	・年金問題が一向に改善されず、老後の不安を抱えている庶民は悠長に消費などできない。また、消費税増税など、消費を停滞させる政策を打ち出されれば、ますます消費が低迷し、景気は冷え込む一方である。次の総選挙後もこれといった景気対策など期待できない。
		不動産業（管理担当）	・ビルのオーナー変更による、管理費用の引下げが12月より始まるため、売上、収益共に大幅減になる。
雇用 関連  (北関東)	良くなる やや良くなる	○ 人材派遣会社（経営者）	○ ・今月は住宅着工が目立ち、年内、年明けぐらいまでは動きがそのまま継続していきそうである。また、年末のクリスマス、お歳暮商材の販売に力を入れているようで、それに関する募集も目立ってきている。継続的にあるのがサービス業の介護関係であり、介護職等におけるスタッフ等の募集傾向が多く見られ、若干期待をしている。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・例年は、年末年始に向けて流通、小売などサービス業が忙しくなる季節のため、パート、アルバイトの求人が増えてくる。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・今のところ総選挙のせいもあり、人材派遣関連が良いのか悪いのかあまり分からない。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・求人数、求人者数共に増えてきている。しかし、実際の選考状況は非常に厳しく、企業側は慎重に選考しており、選考結果が出るまで長期化している。会社に合わない人材を無理に採用することがなく、再度募集をかける会社も増えてきている。
	やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・この先、雇用については、メーカーの海外進出の影響で不安感があり、その不安が消費不安につながる。
		人材派遣会社（管理担当）	・派遣取引から請負取引へシフトしているため、新規契約締結が難しい状況が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・11月の新規求人数が前年同月比で14.1%の減少となっており、産業別で見ると製造業が51.7%減。建設業が32.8%減。学術、専門サービス業では32.8%減と大きく減少している。先月の新規求人数と比べても製造業、建設業、学術、専門サービス業共に2桁の減少幅となっており、また、管内の製造業の企業で雇用調整の実施について相談が複数あることから、求人数の状況も悪くなってきている。
		職業安定所（職員）	・年末に家電、衣料品製造の事業所において人員整理が予定されており、求職者数の増加が予想され、新規事業にかかる製造業の求人も全くないことから、景気回復は見込めない。
		職業安定所（職員）	・前年同時期に比べて求職者がわずかに増え、新規求人申込が依然伸び悩んでいるため、今後、事業主都合による離職者がますます増えると、とても厳しい状況になる。
		職業安定所（職員）	・尖閣諸島問題が主な原因と思われるが、雇用調整助成金の相談、計画が、前月末から増えてきている。事業所からの景気の良い話は聞かれない。求人数はそこそこあるものの、求職者の希望職種と合わず、ミスマッチが生じてくる。
	悪くなる	○	○

#### 4. 南関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (南関東)	良くなる	○	○
	やや良くなる	一般小売店〔家電〕 (経営者)	・総選挙後、ムードが変わってくるため、景気の様子が変わるのではないかと期待している。
		一般小売店〔祭用品〕 (経営者)	・師走を迎え、年末年始の準備で物が動くことに期待したい。
		百貨店（店長）	・総選挙次第だが、今までより良いだろうという消費者の心理により、好転を期待する。
		その他小売〔雑貨卸〕 (経営者)	・総選挙も近付いてきて、それが大きく左右する。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・秋の訪れは遅かったが冬が一気に来たため、商品が動きやすくなっている。総選挙後、政党のアピールもあるため、いろいろ政策を打つと考えられ、それにより消費者の気分が変わってくるのではないかと考えている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・年明けは客が一番動く時期であるため、来館数が増える傾向にある。従って、成約数も上がる傾向にある。
		旅行代理店（従業員）	・一時の冬の北海道スキー団体は減ってはいるものの、ある程度の団体がツアーを企画し、予約に至っている。報償旅行も動く気配があるため、少しは回復の兆しがある。
		タクシー運転手	・これから年末年始に掛けて、忘年会、クリスマス、新年会と1年で一番忙しい時期を迎え、今まで動きが悪かった夜も、一気に忙しくなると思う。
		通信会社（経営者）	・12月からは新商品を販売開始する予定であり、新型スマートフォンとの相乗効果もあり、テレビ、インターネットが順調に獲得でき、明るくなる。
		通信会社（社員）	・政治状況により変化があると思うが、良くなると期待したい。
		通信会社（営業担当）	・総選挙を控え、期待感はある。政策によっては、経済活動が良くなると思っている消費者も多いようである。
		その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・現政権が倒れ以前の政権に戻れば、景気回復が期待できると思う。3年前の状況に戻るには5～6年は掛かると覚悟している。
		設計事務所（職員）	・総選挙が行われ、有効な景気対策がなされることに期待する。
		住宅販売会社（従業員）	・消費税増税の影響がそろそろ出てきている。
	変わらない	商店街（代表者）	・クリスマス商戦は少し良い反応であるが、年末年始のカレンダーの並びが長距離レジャー向きなため、当地域にとっては厳しいと思う。12月の総選挙で少し世相や消費者マインドに火がつくと、年末年始の消費に大きくかかわってきそうである。
		商店街（代表者）	・政権が変わり保守政治へと変わるだろうが、アメリカの財政引き締めによる、急速な景気減速が日本にもたらす影響が、大変不安である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・総選挙の結果次第である。ある政党が言うように金融緩和ということをやっているならば景気も良くなるのではないかと。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	・変わって欲しいが、政権が変わってもすぐには変わらないのではないかと。
		一般小売店〔文房具〕（経営者）	・年間を通して印刷の比重が非常に大きいため、それが良くないということは、引きずると思う。そういった点では、期待はできない。
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・政治が動き始めたことで、客のなかでは、これからある程度お金が回ってくるのではないかと期待感が出てきているのも間違いはない。ただ、企業側のB to Bでは若干そういうものがあるが、B to Cでは、増税などいろいろと懸念されるためなのか、かえって、お金を極力使わないような動きが見られる。そのため、プラスマイナスゼロだと思う。
		百貨店（売場主任）	・客の声から、まだまだ価格への関心はあり、今後も更に強まると思う。また、1月のクリアランス待ちという声も出始めている。
		百貨店（総務担当）	・変わる材料が乏しく、何か起爆剤が必要だが現時点では難しい。デイリーの食品を中心に買い回りを良くするか、もしくは単価を上げるのだが、どちらも決定的な策はなく、媒体を含めた緻密な策を打って対応していく必要がある。
		百貨店（営業担当）	・気温が例年より低下しているため、婦人服をはじめ紳士服、子供服のコートや防寒衣料の動きが良い。また、衆議院の解散に伴う政権交代の可能性からか、株高と円安が進んでおり、宝飾、時計、美術等の高額商品の動きも良くなってきている。
		百貨店（営業担当）	・政治も全く先が見えず、消費行動は冷え込んだままである。
		百貨店（営業担当）	・初売りから新生活需要の端境期にあたり、消費行動に対するモチベーションが上がりにくい時期でもある。各社1月のクリアランスセールについては、おおむね遅らせることなく月初から始まることを鑑みると、冬物についての先買い、セール商材の不足、売上が厳しいため更なる値下げ、購買単価の下落といった負のスパイラルがしばらく続く。
		百貨店（販売管理担当）	・最大の商戦であるクリスマス時期を迎え、一部に動きが出始めていることから、今後の動向に期待ができる反面、収束しつつあるもののクリアランス分散化の影響や、消費税増税を見越した消費マインドの減退などの不安要素が山積しているため、大きな変化はない。
		百貨店（営業企画担当）	・総選挙等の影響もあり、景気が回復する見込みは低い。
		百貨店（営業企画担当）	・売上が連続で伸び悩んでいるためである。
		スーパー（経営者）	・2、3か月先は今月と変わらず、あまり良くない状態が続くそうである。特に今月は出足は良かったが、やはり天候が悪く雨が多いせいか、ここへきてあまり良くない状態になってきている。そのため、平月と同じような状態がずっと続いており、この先も同じである。
		スーパー（店長）	・12月は総選挙があり、本来ならば今の景気より良いと答えたいところだが、師走選挙のなかで、政党が多すぎて、どの政党に1票を入れていいか分からないという不安材料があり、また、どこの政党が政権を取ったとしても3か月後の景気が今より良くなるとは感じられない。現状維持で悪いままで行くのではないかと。
		スーパー（店長）	・12月の総選挙にもよるが、消費税増税問題、年金問題がいまだ解決されておらず、やはり客は、今必要な物、欲しい物しか買わないという買い方が相変わらず続いている。2、3か月後も大きく期待ができず、現状とあまり変わらない。
		スーパー（店長）	・お歳暮ギフトやクリスマス、年末商戦を控えており、家庭の出費がかさむため、通常日に必ずしわ寄せが来ると思う。厳しい状況は続く。
		スーパー（総務担当）	・今年の冬は寒いということで、衣料品を中心に防寒物の動きが前年よりも良くなる想定する。ただ、食料品や頻度品に関しては、競合各社を含めて自社も値下げ断行するが、価格は下がるが販売数量はそれほど大きく伸びずことはできないだろう。トータルとして前年並みにはいくだろうが、全体的な景気が良くなったとは思えない状況である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（営業担当）	・いろいろな情勢のなか、まだまだ将来に不安を抱えているのが現状である。そのため、財布のひもが依然として固く、消費がなかなか景気の下支えになっていない。
		スーパー（仕入担当）	・競合各社の価格政策に対抗して、店舗により価格を合わせているが、買上点数が伸び悩んでおり、持久戦の様相を示している。
		コンビニ（経営者）	・周りの状況に全く変化がない。
		コンビニ（エリア担当）	・客数が前年比98%の傾向が続いており、その状態が続くと予想している。
		コンビニ（商品開発担当）	・現在の動きも、気温に慣れてくれば、やはり元の動きになるため、変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	・政治が安定し明るい社会にならないかぎり、景気の回復は望めない。
		衣料品専門店（店長）	・現状はほぼ横ばいで推移しており、大きな変化の兆しはない。しかし、電気料金の値上げによって家計に与える影響が徐々に出てくると思い、店舗でもコスト削減が課題になっている。中国との騒動の影響は徐々に減ってきている。
		衣料品専門店（営業担当）	・不況のせいか高級品が売れず、旧品、低級品がよく売れ始めてきている。
		家電量販店（統括）	・家電業界を取り巻く環境は、まだトンネルを抜けていない。年末から春商戦にかけて目玉商品が出てこない。
		家電量販店（営業統括）	・平均賞与支給額が前年より下がると言われており、消費意欲の向上は見込みにくい状況が続いている。ここに来て、円高の是正、株価の上昇など多少プラス傾向にあるが、大きな改善を見込むことは難しいと判断せざるを得ない。
		乗用車販売店（経営者）	・整備は順調に入っているが、販売がエコカー補助金が終わってからあまり芳しくない。今年一杯、そのような状況が続くとみられる。
		乗用車販売店（経営者）	・12月に入ってから歳末セールをするが、大事な時期と総選挙が重なるため、思うように来客が増えない。
		乗用車販売店（経営者）	・新型車の発表があったが反応が鈍いため、変わらない。
		乗用車販売店（販売担当）	・低公害車普及促進対策費補助金でトラック関係についても、かなり受注が多く需要も出ていたが、それが終わり次第、極端に受注が減ってきている。今後についても、国が何らかの手を打たないことには、景気は良くならないと思う。特に環境関係に厳しい車両については価格が上がっているため、そういった助成金がないと、ユーザーもなかなか回復しない。
		乗用車販売店（店長）	・ほとんどの業種の客が、景気が悪いと嘆いている。ただ、総選挙があり、政局によっては良くなるかもしれないが、現状で経済効果や国際環境が変わるといった期待ができない。
		乗用車販売店（販売担当）	・ボーナスシーズンに向けてイベントを開催しても、販売台数が多いのはハイブリッド系の車で、他の機種は苦戦しているため、変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	・何件かの商談予定があるが、普通車の話はなく、利益の薄い車種ばかりである。補助金が大分前に終了しているが、減免、減税との違いを分かっていないユーザーが多い。
		住関連専門店（店長）	・特別、景気が上向くような判断材料が見つからない。
		高級レストラン（店長）	・今後の予約状況の推移をみて、変わらない。
		一般レストラン（経営者）	・総選挙の結果が、年明け後まで尾を引くと思う。
		一般レストラン（経営者）	・10、11月と、売上が前年比90%前半である。政治の関係か分からないが、ここへきて客数、売上が一段と良くない。
		一般レストラン（経営者）	・3か月後も今と同じように、会社、サラリーマン等、厳しく、なかなか飲み代、飲食代に使う感じは受けない。早くデフレを脱却して給料を上げてもらわないと、絶対良くならない。
		都市型ホテル（統括）	・総選挙後の体制に期待するしかない。
		旅行代理店（経営者）	・総選挙が終わってみないと、何とも言い難い。現状からすると、あまり変わらないと思う。
		旅行代理店（営業担当）	・商品が多く申込が分散している。
		旅行代理店（支店長）	・東京スカイツリーの団体に対する問い合わせが減ってきているのは事実であるが、そうは言っても、まだ来年、開業1年以内は需要はあると思うため、今月とは変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー（団体役員）	・業界的には新年会等の需要見込みは期待するが、今の街の様子からみると、あまり変わらない。
		通信会社（経営者）	・政局が不安定で、与党が変わったとしてもすぐに効果が出るとは思えない。
		通信会社（営業担当）	・期待できる材料がない。
		通信会社（局長）	・ボーナス商戦を見据えて、安く買物をする消費者心理が見え隠れしており、価値あるものを消費する姿勢は感じられない。
		通信会社（営業担当）	・他社との競合、固定回線離れが徐々に進んでおり、契約数は引き続き伸び悩む。
		通信会社（局長）	・12月の総選挙を控え、その結果と実行力次第でどうなるかが、今後最も影響が大きいと思うため、現時点では上向くとはいえない。
		通信会社（管理担当）	・解散しても、今の政治は誰が何をしようと、リーダーシップを発揮できない人材が多いため、期待できないし期待もしない。
		ゴルフ場（支配人）	・予約数が前年並みであるため、変わらない。
		パチンコ店（経営者）	・11月は例年悪く、今年も良くはないが、どうにか客数だけは維持している。客がお金を使わない方向にはなっているが、店に来てもらうことがやはり大事なので、2、3か月後はなかなか厳しいと思うが、期待を込めて変わらない。
		設計事務所（経営者）	・住宅においては、耐震診断や建物劣化といった考え方を元にしながらか宣伝をしている。地震が来るとは言っているが、そういったことに対応がなかなかできない、先が見えない、工事や設計をやっているのかというようなことが見られる。
		設計事務所（所長）	・動きのない月へと入っていくが、元々動きがないため、これ以上悪くなる感じもない。
		設計事務所（所長）	・2、3か月後は、ほとんど変わらないと思うが、当社の業務は具体化するまでに時間が掛かるため、先のことがなかなか判断しにくい面がある。上向きになることを期待しているところである。
		住宅販売会社（従業員）	・これから12、1月と販売の閑散期に入るため、営業力の強化をしないと悪くなっていくが、人気エリアを中心に販売展開していければ、現状維持できると思う。
		住宅販売会社（従業員）	・年末までは来場数、販売量共に止まってしまうと思うが、消費税増税による駆け込み需要が期待される。また、客が例年よりも動いていると感じているため、景気は良い状況で変わらない。
		住宅販売会社（従業員）	・前回の消費税増税の時より、ユーザーの先取り感があまり感じられない。状況によって大きく変わると思うが、年明けより受注の拡大が期待できるのではないかな。
		その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・例年、年末までは建材関係の動きは堅調であり、現状程度は動くため、変わらない。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・着物というのは日常不可欠な商材ではなく、ぜい沢、あるいは非日常的であることからすれば、し好品であることには間違いない。そういう物に対して、11月は客が急激に買い控えをしており、今後も厳しい状況になる。
		一般小売店〔和菓子〕（経営者）	・衆議院解散など政治に不安定感があり、消費者の消費につながらないのではないかな。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・11月に入り気温が下がって寒い日が多くなり、お茶が少しずつ売れてきている感じだが、売上はまだ前年同月割れの状況である。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・これ以上悪くなることを考えたくないが、どこへ行っても、商品がどこでいくら安いなど、本当にデフレスパイラルになり、とにかく値段のようになってしまう。そういう客でなく、他の客を見つけなくてはいけないような気になる。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・総選挙等があるが、何か経済の活性化につながるような政策を打ち出してくれているところが少ない感じがする。小売業としては非常に厳しい状況が当分続くと思う。残念ながら、政府には期待は持てない感じがしている。
		一般小売店〔茶〕（営業担当）	・お茶やコーヒーの味よりもコスト重視で、安い商品に切替える傾向が、ますます進んできている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（総務担当）	・小売業としては、消費税増税なども含めて家計の負担が今後増大するため、消費マインドが今後も冷え込んでいくと考えられる。加えて、当社の客である製造業については、尖閣諸島問題などで輸出も大幅に鈍化していることを考えると、これから決して景気が良くなることはなく、停滞から更に下がってしまうことが考えられる。
		百貨店（総務担当）	・総選挙選挙もあり、当面、政局が不安定な状況が続く、具体的な景気対策が行われるとは思えないからである。
		百貨店（広報担当）	・どの政党が政権与党となるか判然としない選挙戦が始まり、消費税増税やTPPなど先行き不透明な不安感がまん延している。このような状況下、金融緩和などの政策を実施しても、消費の活性化は期待が薄い。消費マインドの先行きは予断を許さない。
		百貨店（営業担当）	・12月という売れる時期の総選挙はかなり厳しい。メーカーが在庫を抑えているのに、売上は上がらない。負の連鎖である。
		百貨店（副店長）	・世界経済や日本経済の減速に伴う消費者心理の冷え込みが緩まないためである。
		スーパー（店員）	・圧倒的に消費税増税が要因となる。今度の総選挙で多少の期待感はあるが、基本的に消費税増税で財布のひもをぎゅっと締めるような買物動向が続くと考える。また、対応としては価格訴求やメニュー提案などの繰り返しによって、俗に言う勝ち組で集客できれば、売上増、来客増につながると思う。
		スーパー（仕入担当）	・長引く不況でサラリーマンの平均ボーナスも前年を割る傾向にあり、ますます消費は冷え込む。
		コンビニ（経営者）	・買上については、全体的に見ても当地域は、これからも非常に良くなる。
		コンビニ（経営者）	・近隣スーパーの値下げ競争に巻き込まれているうえ、大型スーパーの開店が数店予定されており、客の消費動向が全く見えなくなっているためである。
		コンビニ（経営者）	・過当競争に入っていることもあり、来客数の増加はなかなか見込まれない。セール等も安ければ売れるということではなく、やはり必要な物を必要なだけ買うという感覚になっている。また一番心配なことは、店のパート従業員の退職が少しあり、その理由が、夫が少し時間を減らされた、また、リストラをされたなどで、もっと働かなければいけないという理由が多くなってきたことである。
		コンビニ（経営者）	・同町内に開店したスーパーの影響が、しばらく続きそうな気配がするためである。
		コンビニ（経営者）	・総選挙の結果にもよるが、安定政権ができて、強力な経済政策を打ち出せば良くなると思うが、そう安定した政治を今現在見込めないため、相当悪くなると思う。
		コンビニ（経営者）	・国は不透明なところが多すぎて、客の財布はとても固い。
		コンビニ（商品開発担当）	・客の来店動機につながるニュースが少なく、消費意欲の低下により、客数の増加傾向がみられない。
		衣料品専門店（経営者）	・総選挙後の政治が落ち着きそうもないため、消費者心理も冷えたまま景気も沈んだまま、回復はしばらくしない。
		衣料品専門店（経営者）	・最近、12月の売上は1月と比べて落ちる傾向にある。また、今年の12月は政局の先行き不安定という要素もあるため、おしゃれ衣料にお金をまわしそうな気配がない。あまり良い状況ではない。
		衣料品専門店（経営者）	・政治のせいにはしたくないが、今総選挙が始まっており、消費意欲がわからない時期だと思う。どのような政権になろうとも、その後、来年1、2月になって、この先がどうなるかだと思う。今のところ良い材料は見当たらない。
		衣料品専門店（経営者）	・暖冬予測から厳冬予測に変わり、梅春商材の問題も多いが、2、3月と寒さが続くと、売るべき商材がない。先物買いをしない現在の客に対応できる販促が考えつかない。
		衣料品専門店（店長）	・セールによる冬物需要の先取りを行っていることや、2、3か月先の百貨店、ショッピングセンターのバーゲンとの競合に対抗する大きな手立てが今のところないためである。
		衣料品専門店（営業担当）	・政治ははっきり決まらず、日本の方向性が全く見えない。増税ばかりでは、買物を楽しもうという人が減少するばかりである。日本が崩れてきていると以前から感じていたが、目の当たりにすると危機感を感じる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家電量販店（店員）	・商品が安くなるにつれ、高齢化も含め、エネルギー価格が上がり、悪循環が生まれ、不景気に拍車をかけることになる。
		乗用車販売店（総務担当）	・新型車効果も望めないなか、修理関係の収益を維持していくのが精一杯である。政治経済の活入れによる、景気の回復を望むしかない。
		乗用車販売店（渉外担当）	・エコカー補助金が終了し、個人消費も落ちてきている。実績ベースでは前年比10%減で推移している。ハイブリッドカーの受注が50%近くを占め、燃費性能の良いハイブリッドカーや小型車の比重が増している。
		住関連専門店（統括）	・まだまだ景気対策等、混迷している状態で、回復の兆しは当分見込まれないのではないかと。
		その他小売〔ゲーム〕（開発戦略担当）	・国内は順当に推移すると思うが、海外は年末商戦に投入されたハード、タイトルが引き続き奮わなければ、年明けは相当に悪い状況に落ち込む。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・ボーナスの支給額も低迷傾向にあり、年明けからの税金負担増と家計を圧迫する要素のみが先行し、消費マインドが低下傾向にある。年末商戦が不安である。
		高級レストラン（支配人）	・12～1月の宴会の受注状況も伸びておらず、その先も動きが鈍い。これまで比較的好調だった食堂も、10月を境に落ち込んでいる。
		一般レストラン（店長）	・とにかく売上が落ちる一方で止まらない。前年比2割あるいは3割落ちているため、これ以上落ちると店の存続は間違いなく危ぶまれる。春先にはもう閉店しなくては行けないというような状況に追い込まれると思う。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新年会は組合、協会、団体を中心に順調に取り込めてはいるものの、企業の動きが例年に比べるとかなり鈍い。年末年始は日並びの関係で最大9連休となるが、宿泊、レストラン共に動きがなく、先行き不透明な状況である。直近に期待しているが読めない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・今後、ますます客の料金に対する考えが厳しくなり、法人宴会はこれから業績不振を理由にキャンセルが発生したり、利用料金値下げの依頼が多くなると思う。
		都市型ホテル（スタッフ）	・政局の不安定さ、円高、世界経済の不安定等で、やや悪くなる。
		タクシー運転手	・とにかく周りは不安要素が多いようである。やはり正月に向けて余計にそうなのだと思うが、不安だという声がある。
		タクシー運転手	・まだ総選挙が終わってみないと分からないが、総選挙次第では非常に厳しい局面もあるかもしれない。あるいは、その党によって多少上向き可能性もあるが、いずれにしても、なかなか厳しい。ただ明るいのは、多少円安に振れており、その辺りが期待しているところである。
		通信会社（経営者）	・年末に向けて大きなイベントがないため、テレビへの関心も高まらない。
		通信会社（営業担当）	・マーケット自体の縮小傾向が鮮明になっており、見通しが厳しい。
		通信会社（管理担当）	・最近3か月の傾向が年末に掛けて変わる要素はなく、このままのトレンドが続く見込みである。
		観光名所（職員）	・当地域は観光地のため、11月はトップシーズンであり、1年間で最も旅客が出る時でもある。また、2か月後は正月があり、2番目の数字となる。しかし、それ以降はどんどん低迷していくため、やや悪くなる。
		その他レジャー施設〔ボウリング場〕（支配人）	・総選挙期間は、決まって来場者数が減少する傾向にあるためである。
		その他レジャー施設〔アミューズメント〕（店長）	・母体のショッピングセンター改装に伴う一時的な盛り上がりのピークが3か月程度と見込んでいるため、現状の伸長状況よりは悪化する。
		その他レジャー施設（経営企画担当）	・景気の落ち込みにより、レジャー支出への手控えが懸念となる。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・前年より多くコマースは出しているが、全く反応がない。周りの塾も単価を少しづつ下げており、その影響もあると思う。今後の景気回復は相当難しいのではないかと。
		設計事務所（所長）	・いずれにしても、業者数が増え、仕事量が非常に少ない。また、新築物件が非常に少ないというなかで、非常に厳しい状況である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる	住宅販売会社（従業員）	・展示場来場者数、現場見学会来場者数共に、目に見えて減少しており、今後の受注量は落ち込むことが明白である。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	・高機能の新製品を勧めても、値段で購入する人がほとんどである。利益の出ない体質になっている。
		一般小売店〔家具〕（経営者）	・総選挙も控えており、結果がどう出るかによって大分変わってくると思うが、分からないというのが正直な答えである。
		一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・オーバーストアのため、悪くなる。
		一般小売店〔靴・履物〕（店長）	・これでまた総選挙が行われてがたがたして、結局、役人と官僚の世界になり、彼らが牛耳って思うままにやる。彼らは自分のことしか考えないため、絶対良くならないと思う。給料も上がらない。世の中のことを考える役人がいると良いのだが。ひどいことになると思う。
		スーパー（ネット宅配担当）	・中国問題が、製造業を中心に大きく影響する。また、消費税増税など含めて、先行き不安感から節約、節約傾向は、更に強まる。消費の冷え込みから、更に全体がデフレ傾向にシフトしており、売上の維持は更に難しくなる。
		コンビニ（経営者）	・10月頃から、急激に悪くなってきている。来客数、単価共に落ちてきている。
		その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・総選挙後の政治によるのではないかと。
		一般レストラン（経営者）	・2、3か月先というと、2月はニッパチといって年間で一番売上の悪い月である。1人当たりの消費単価も少なくなっており、また、寒くて客の出足も悪くなるため、現在よりもかなり売上が悪くなる。
		一般レストラン（経営者）	・年末総選挙で早くも宴会などのキャンセルがきている。年明けに選挙が終わり政権ができたとしても、強力な政府になるということはある得ないため、しばらくの間、景気対策などの大きい補正予算などは組みにくいと思っている。そのため、しばらくは景気が悪くなっていく感じがする。
		一般レストラン（スタッフ）	・やはり国民は今、総選挙もあるため、いろいろ政策なども見ている。もちろん世界的に不況なのだが、景気がこれほど悪くなり、ここまでできてしまっている。さらにまた政治家がいろいろ言っているが、落ち着いて、しっかりといろいろなことを片付けていけば、景気も上がっていくと思う。景気のこと何もなく、TPPだとかとかそういうことばかり言っているため、やはり落ち着くまではもっと悪くなると思う。
		タクシー運転手	・師走は一般企業で忘年会が多少あると思うが、暮れの景気は例年に比べて悪い。一にも二にも中国との関係が回復しない限り、しばらくは景気は戻ってこない。
		遊園地（職員）	・総選挙等、先行き不透明感が強く、景気回復の期待が持てない。
		ゴルフ場（従業員）	・脱官僚、官僚叩きは間違いだと思ふ。優秀な官僚の力を生かせるよう、官僚の上に立ち、しっかり国政を行う政治家のリーダーがいな限り、日本は良くならないと思う。穏やかで平穏な暮らしを多くの国民が望んでいると思う。今政界は、戦国時代を迎えようとしている。不安定な日本だから、近隣諸国は、強気で領土問題を攻めてくる。景気回復は、まだまだ先が見えない。
		美容室（経営者）	・社会や政治が大変悪いと思う。
		その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）	・良くなる要素が考えられない。
住宅販売会社（経営者）	・景気対策を重点においた政権が政策を実行して、早くデフレから脱却し、景気を良くすれば自然と税収が増えるため、すべてうまくいくと思う。今のままではとても景気が回復する見通しは立たない。		
企業 動向 関連  (南関東)	良くなる	その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・冬の商材が比較的好調に販売できており、ベースが整いつつあるからである。
	やや良くなる	プラスチック製品製造業（経営者）	・総選挙が終わって、すべてが景気が良くなる期待感をもって動き出すのではないかとと思っている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新商品の開発が一段落し、これから受注が始まる。既に何件か受注も決まっている。
		輸送業（経営者）	・デパートの売上が回復してきているということは、商品が多少活発化してきていると理解している。そういう点では、将来少しずつ景気が上がっていくと考えている。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
変わらない		金融業（役員）	・今以上に景気対策が積極的になされる気配を感じる。すべては総選挙の結果次第である。
		税理士	・政権が代わり、景気対策に力を注いでくれるとの期待感が膨らむため、やや良くなる。
		食料品製造業（経営者）	・状況としては多少良いのだが、理由が良く分からないため、変わらない。
		食料品製造業（経営者）	・総選挙が終わらないと分からない。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・不透明というのが正直なところである。今月の特需はスポット的な感じがあり、次に出るかは分からない。また、11月は年賀はがきの印刷の受注も受けており、これは9、10月にはなかったことであるが、例年並みかやや下向きであるため、やはり変らない見通しである。
		化学工業（従業員）	・建築関連の商品の動きは少しは良いが、他の機械、造船関連は相変わらず売上が悪い。
		金属製品製造業（経営者）	・取引先が半導体製造用部材から撤退することによるその売上減を補うほど、市場に力はない。
		金属製品製造業（経営者）	・総選挙後、政府がどのような政策をしていくかで、景気が変わってくると考えている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・景気が悪い状況が定着しており、引き合いはあっても資金がないためか、なかなか成約が行われないことが多い。今後、総選挙が終わって落ち着かないと、景気が上向いてこないと思う。
		その他製造業〔靴〕（経営者）	・ここ数年、落ち込んだままの状況のなかで苦戦している得意先であるが、これが大きく変わることはないと思う。いずれにしても楽な仕事はないということは確かである。
		建設業（経営者）	・今の状況では変わらないだろう。総選挙が終わってどうなるかである。各企業も電気料金の値上げで四苦八苦している。
		建設業（営業担当）	・電機メーカー、自動車メーカーなどは設備投資を控えているが、今後の景気対策も含め、企業立地に対し企業へのインセンティブを行政が考えているため、今後に期待する。
		輸送業（総務担当）	・円安傾向で輸出が増えるのを期待しているが、国内出荷が低迷しているため、売上の増加は期待できない。また、東北の復旧、復興の関連資材は、荷動きがない状態が続いている。
		通信業（広報担当）	・この状況がしばらく続く。
		金融業（統括）	・総選挙の結果で政治が落ち着けば良くなるが、混乱していれば、また更に悪化してしまいそうだからである。
		金融業（従業員）	・中小企業の持ち直しの動きは鈍く、特に小売業で景況感の低迷が目立っている。要因として、大手企業との競合や、少子高齢化を挙げる声が多い。
		金融業（渉外・預金担当）	・総選挙の動向により、今後の国の政策施策によっては期待したいが、良くなるとまでは言えないという声が多い。
		広告代理店（従業員）	・政局が決まらないため、今後の動きを見合わせている取引先が多い。
		広告代理店（営業担当）	・政権の行方次第である。
		社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない。
		経営コンサルタント	・年末年始の需要期のためである。
		経営コンサルタント	・ある信用金庫の貸出し担当の話である。地域経済の血液となる資金供給で、自分たちの果たす役割は大きい。これは確かだが、貸倒れが怖くて、融資先の選別に苦慮しているのが現状だという。こういう状況は、短期間では解消しないのではないかと。
		税理士	・いつも言っているが、北米での車などの売上、そして中国への売上である。アメリカの景気に勢いがいないため、あまり良くない形で変らないし、中国に対してはずっと落ち込んできている。ヨーロッパが悪いため中国が売れず、そのため日本も悪いというのは分かる。しかし、もう1つは内的要因である。日本の政治やリードが悪すぎるため、このような状況になっている。今度の総選挙でどうなるかよって、また変わってくると思う。そのためには、大きく改革してくれる政党に勝ってもらいたい。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・顧客各社からも景気低迷へ講じてきた対策の効果が見え始めるとの話も少しずつ聞かれ、現状は何とか維持できるのではないかとと思っている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
	やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（総務担当）	・もう何年も状況が変わっていない。	
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・年末の忙しい時期でありながら、入札価格が更に下がる傾向にある。	
		プラスチック製品製造業（経営者）	・国内消費に勢いがなく、年明けにかけて住宅関連部品の受注が2～3割減少する見込みで、穴埋めに四苦八苦しうである。	
		金属製品製造業（経営者）	・政治の行方、大企業が国内生産をどのように考えるか定かでないため、先行きが不透明である。しかし、中国も日本企業の撤退が中国経済に大きく影響すると思うが、8%の成長計画が実行されれば、あまり大きく落ち込むことはないと思う。	
		一般機械器具製造業（経営者）	・当社の客は7社あり、まだ中国向けが完全に止まりきっていない客がいたが、そこが来月から悪くなるということである。また一段と悪いほうに向かいそうである。	
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・今、納入先が海外生産、海外調達をする方向に動いている。半値か、2～3割安くできるかどうかということであるから、非常に厳しい状況である。これからの中小企業はどうすればいいのか、助けてほしい。	
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・今年は大丈夫だろうと9月は回答し、10月15日までは良かった。しかし、15日から急激に減速し、11月は前半少し出てきたが、15日から減産である。来年の1～2月まで生産調整だそうである。今日も棚卸しで仕事がない状況である。半年くらい良いと仮に思っても、すぐ減速して、また半年くらい悪くなってしまいうため、全く信用できない。政治もそうだが、経済も、なかなか商売をやっていくのも難しい時代になった。	
		輸送業（経営者）	・年末年始の休日の増加や2月の日数減で稼働率が落ち、年末年始の業量増も近年の傾向からは望めないため、状況は悪化する。	
		金融業（支店長）	・各企業の先行きの受注予定は、少なくなっている。また、税金が上がり、電気料金の値上げ等もあって、身の回りに残るお金が少なくなっている。消費もやはり良くなっていないため、今後、企業にとっては見込みが少ないということで、景気が悪くなる。	
		不動産業（経営者）	・新築に限らず、古い空室も沢山ある。また、内装の掛け方によってはワンルームでも50～100万円近くかかるため、大変な状態である。	
		不動産業（従業員）	・当社、また同業他社も空き室が多く、賃料の値下げ交渉も多く、また借り手の顧客も少ない状況が続いている。	
		不動産業（総務担当）	・オフィス賃貸もマンション分譲も、年末に入り、更に競争が激化しており、3月の決算期までは厳しい局面が続くと予想されるためである。	
		広告代理店（従業員）	・受注予定の減少がみられる。	
		経営コンサルタント	・政治の不安定、中国問題の経済への波及などにより、更に悪化していく。	
		その他サービス業【警備】（経営者）	・新規現場が増えないと売上減となるが、まだ見通しが立っていない。	
		その他サービス業【映像制作】（経営者）	・政治の混乱もあり、景気が上向く要素がみられない。特に、広告や映像の業界は、全く新しい見通しが無い。	
		その他サービス業【情報サービス】（従業員）	・インターネット対応のマンションの普及に伴い、新たにグレードアップする物件の市場規模が小さくなったためである。	
		悪くなる	繊維工業（従業員）	・今月倒産した企業の一例だが、取引先が極端な円高で海外生産にシフトしたため、従業員を解雇して事業継続を図ったが、奏功せず倒産した。今後、このようなケースが増えることが懸念される。
			出版・印刷・同関連産業（経営者）	・当社特有の季節的要因により、受注が落ち込む季節になる。
出版・印刷・同関連産業（所長）	・クライアントの望むものが、価格ありきの状況が強く、何か考えないとますます悪化の一途をたどる。			
一般機械器具製造業（経営者）	・ここにきて、売上が急に少なくなってきたため、悪くなる。			
精密機械器具製造業（経営者）	・一時的には回復基調だと考えられるが、根本的にマーケットが内需主導にならないと本当に回復はしない。			
建設業（経営者）	・強い政治家のリーダーシップが、あまりにもなさ過ぎるためである。			

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政策が実行されていない。</li> <li>・総選挙の結果で、次の政権を取った党がどのような経済政策をとるのかにかかっている。今のままでは冷え切って年末年始を迎えそうである。</li> </ul>
		建設業（経理担当）	
		金融業（支店長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異常な低金利局面であるため、企業は調達する手段を長期、固定金利で選ぶはずだが、いまだ変動金利を選択している。日銀の政策を見て、当面、金利上昇はないと見込んでいるからであり、金余り状態は続く。このままでは資金需要は回復しない。</li> </ul>
		広告代理店（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年早々から始まる予定だった仕事が、新商品の不調が原因でなくなったからである。</li> </ul>
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デフレは、少子化の影響で脱却はできないからである。</li> </ul>
雇用 関連  (南関東)	良くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2月は年明けということで、かなり期待できる動きがあるという話をあちこちから聞いている。それが全部当社に来れば相当の盛り上がりがある。期待に添う成果が上がるように、大いに頑張っていく。</li> </ul>
	やや良くなる	人材派遣会社（支店長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とにかく政権が変われば、少なからず今よりは良くなるように思える。</li> </ul>
		人材派遣会社（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度の変わり目に差し掛かり、短期的な採用や、長期的なポジションでの増員も期待できる。</li> </ul>
		学校〔短期大学〕（就職担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度卒業生用の求人票が届き始めている。ハローワークから、今年度卒業生対象の求人票が届き始めていると連絡があり、まだ未内定者にはハローワークでも対応できると伝えてほしいと連絡があった。</li> </ul>
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末までは、求人数、採用数は変わらないためである。</li> </ul>
		人材派遣会社（支店長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣登録数は前年より少ない状態であり、依頼がきても供給できないケースが増えており、成約数が伸び悩む。</li> </ul>
		求人情報誌製作会社（編集者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材採用マーケット全体としては、新卒、中途、派遣などの雇用形態でバランスをとる傾向にあり、大きな伸びは期待できない。</li> </ul>
		求人情報誌製作会社（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、年末年始に掛けては求人者の動きは鈍いため、この傾向は変わらないと思うが、政局や経済の動向によって、景気全体がどのように推移するのか、全く予測がつかない。</li> </ul>
		求人情報誌製作会社（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上向きような要素が見当たらない。</li> </ul>
		職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年や直近と比べても、求人は増え、求職者は減っている。また、採用も前年よりは下がっている。もしかしたら求職者がどんどん減っているのは、職業安定所に来る前に勤めてるのかもしれないが、自分で見ている限りは、日中関係やいろいろな外交も含めて、どちらかというやや悪くなっていくのではないかと感じる。すぐに出てはこないかもしれないが、これから何か月後に、じわじわ出てくるのではないかと思っている。</li> </ul>
		職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小零細企業では、新規採用について経済動向の様子見している事業所も多い。</li> </ul>
		職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7か月連続で求人は増加している。しかし、パートタイマーや契約社員、派遣等の求人が増加している一方、正規雇用の求人数が減少しているところから、景気の先行き不透明感は続いている。</li> </ul>
		民間職業紹介機関（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衆議院選挙後の新政権の経済政策待ちである。</li> </ul>
		民間職業紹介機関（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社は製造メーカーのクライアントが多く、国内経済が低迷しているため、どうしても、米国、中国、ブラジル、東南アジアといった海外市場を見て製造拠点の充実化を図っており、その対応のための求人は今後とも続くと思う。</li> </ul>
		民間職業紹介機関（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先行き不透明なもの、求人数という点で定量的な変化はまだない。</li> </ul>
学校〔専修学校〕（就職担当）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末に向けてた採用の新規募集、追加募集を確認しているが、前年度と比較して大きな求人増加は見込めない。</li> </ul>	
やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな業種の経営者と話をしたが、この総選挙絡みでどうなるか不透明だが、現政権の景気対策等のまずさがこの2、3か月続くのではないかと、そのため来春以降どうなるか、今後の政権を担う党に、大きく期待されるのではないかとこの話が多かった。</li> </ul>	
	人材派遣会社（社員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年明け以降で増員等の話は聞かない。</li> </ul>	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（営業担当）	・求人数は数か月前に比べ微増であるが、企業側が求めているスペックも徐々に高くなってきており、供給できる人材がないため、求人者と求職者の結びつきが困難になっている。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・年明けに向けての求人の予定がないという客のほうが多くなっているからである。
		求人情報誌製作会社（広報担当）	・大手電機メーカーをはじめとして、日本の産業の景気が悪いので、なかなか復活の目途が立てられていないように思う。
		職業安定所（所長）	・管内の有効求人倍率が1倍を目前に停滞している。求職者も減少基調ではあるが、小幅になりつつある。国内政治の混乱、中国等の国際情勢の影響等も勘定に入ると、景気はやや悪くなる。
		職業安定所（職員）	・採用者数が減ってきている。
		職業安定所（職員）	・管内の派遣会社で大規模な雇止めを実施予定である。来月にかけて求職者が増加する懸念がある。
		民間職業紹介機関（職員）	・我々の動向と景気動向指数（C I値）との連動性が高く、なかでも運行指数の相関性は高い。そのなかで、先行指数が落ちてきており、来年初めには厳しくなっていくことが十分に想定される。
悪くなる	人材派遣会社（社員）	・製造業を中心として、雇用に陰りがある。電機業界のリストラや、自動車業界の生産縮小などで雇用環境が悪化している。	

## 5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東海)	良くなる	○	○
	やや良くなる	一般小売店〔結納品〕（経営者）	・年末年始を迎え、今よりは良くなる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・来年は遷宮年のため、忙しくなるのは間違いない。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・政治の混乱が年内に収まれば、人の気持ちの落ち込みも回復する可能性がある。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	・総選挙の後に政権が交代し、景気についても期待感が出るのではないかと。
		一般小売店〔物産〕（店長）	・年末商戦で少しは良くなる。
		スーパー（経営者）	・例年売上増加の時期であり、今年も期待したい。
		スーパー（店長）	・新規出店の店舗は、隣接する他県からの出店のため客に馴染みがない様子であり、今の来客数増加の傾向は続く。
		スーパー（総務担当）	・クリスマスケーキの予約数・予約金額共に、現時点では前年同月より良い数字である。
		コンビニ（店長）	・総選挙後、枠組みが変わり景気対策を打つことによって、景気が好転することを期待している。
		コンビニ（店長）	・年末年始を控えて、雑貨品等の需要が高まるため、良くなる。また、寒さが加わってくれば、冬の商材もよく売れてくるのではと期待している。
		乗用車販売店（経営者）	・12月に新型車投入、そして決算で更に上向きになることが予想される。
		乗用車販売店（経営者）	・年末年始を迎えることで、一時的には購買意欲が上昇する。
		乗用車販売店（従業員）	・1月、2月くらいだとエコカー補助金終了による反落が終わり、少し上向いてくれればと思っている。
		住関連専門店（営業担当）	・民間企業の設備投資・公共工事は減少気味である。消費税増税前の駆け込み需要で、リフォーム工事・新築工事等も少しずつ出始め、良くなる。
		スナック（経営者）	・予約が入るようになったため、少しは売上も良くなると期待している。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・新しい政権がどのような運営をしていくかによって、消費動向が変わってくる。
		タクシー運転手	・年間を通して見ると、やや良いシーズンである。
		美容室（経営者）	・来月は12月であり、11月に暇だった分忙しくなりたい。
	その他サービス〔語学学校〕（経営者）	・例年の動きから判断して、やや良くなると期待している。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	変わらない	商店街（代表者）	・年明け2月はそんなに動く月ではないため、静かになる。消費税増税前の駆け込み等で、今のうちにという人が多いのではないだろうか。
		商店街（代表者）	・もし政権交代となれば、期待感から経済状況についての若干の変化が見られる可能性はある。しかし、当方の身の回りまではすぐに影響は及んでこないだろうし、冬場はもともと動きが低位であることから、現在とさほど変わらない。
		商店街（代表者）	・このところ底の方で推移しているので、これ以上は悪くならない。
		商店街（代表者）	・総選挙が終わり若干良くなると思うが、和菓子業界に限ってはまだまだ厳しい状況が続く。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	・これから年末年始商戦に入り、売出しなど色々な集客作戦があるので期待はしているが、客の財布のひもは固い。売上を増やすには、ただ真心と誠意で客に接し、納得していただくことである。
		一般小売店〔書店〕（経営者）	・12月の総選挙で、がらっと世の中が変わってもらいたい希望がある。今の政治家の右往左往ぶりを見てみると、やはり変わらない気がする。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・贈答品店では変化がない。景気は下がり傾向になっており、客との付き合いの幅が狭くなっている。この傾向はそのまま続いていき、拡大することはない。残念だがこのまま低迷した状態が続く。
		一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
		百貨店（売場主任）	・今月後半、給料が出たにもかかわらず、靴の足入れだけをして帰っていく客が多く、買い控えをしている。クリスマスプレゼント用等にとバーゲンの問い合わせは多くあるが、厳しい状態が続いている。
		百貨店（売場主任）	・お歳暮の受注中も、あまり混んでおらず出足が鈍い。総選挙も絡んでいるが、萎縮ムードで消費を控えているよううかがえる。引き続き買物に慎重な姿勢が続いている。
		百貨店（経理担当）	・総選挙投票日まででは期待できない。消費マインドが年末年始までにどれだけ戻るか不安である。
		百貨店（販売促進担当）	・年末商戦や年始のクリアランスシーズンが過ぎれば、消費の落ち込みが予想される。
		百貨店（販売担当）	・先行きの不安はあるが、2～3か月では大きな変化はない。
		百貨店（経営企画担当）	・総選挙後の新政権の経済政策などによる部分もあるが、良くなると思われる要素が全くない。また、賞与の減少もあり、いわゆるボーナス商戦なども期待できない。
		スーパー（店長）	・いろいろな物がいつでも手に入る時代であり、日常は無駄なく買物する。欲しい量だけ買う。品質の変わらないものはバーゲンの時に購入するという習慣が根付いてしまっていることから、低迷は今後も続く。
		スーパー（店長）	・今後の総選挙の動きによって大きく変わる。ただ、どこが勝ったとしても、極端な差はないのかもしれない。今後、公共料金の値上げ等も発生すると予測され、景気についてはますます厳しい状況が続く。
		スーパー（店員）	・年末に入ってくるため、それに向けての動きによっては景気が上向きにもなるし、下がっているようであれば厳しい。
		スーパー（営業担当）	・年末を迎えるが、総選挙も控え、将来の景気対策も明確に打っておらず、どこが政権を担っても景気浮揚の可能性は低い。
		スーパー（販売促進担当）	・イベント・セール等で販促をかけても、一時的には数字が変わるが、累計で見るとほとんど変わらない。客は必要の無いものは購入していない。
		スーパー（支店長）	・本来日本を支えている中小企業が、悪くなるばかりで、明るい材料が見られない。消費税増税も影響しそうである。
		コンビニ（企画担当）	・長期に低迷する可能性が高まっている。
		コンビニ（エリア担当）	・無駄な商品を購入しない傾向は、簡単には変わらず、今月同様に当面継続する。
		コンビニ（エリア担当）	・今年は例年より寒くなりそうであるとの天候予測で、特に、冬期に入る12月初旬の売上は厳しいと予想できる。寒さにも慣れた12月後半が鍵となる。
		コンビニ（店長）	・無駄なもの、余計なものは買わないといった、客の消費に対する考え方が、変わっていない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（販売企画担当）	・売れている物は、介護関係の物だけで、一般衣料は動かない。介護商品は必需品なので動くが、一般衣料が伸びてくる兆しがない。
		家電量販店（店員）	・買換え需要に支えられている。これ以上は悪くならない。
		家電量販店（店員）	・政治が安定するまである程度の時間がかかるので、すぐ良くなるような状況ではない。
		乗用車販売店（営業担当）	・客も景気が良くなると思っていないようで、財布のひもが固くなっている。
		乗用車販売店（従業員）	・12月は新車の販売が一年で一番厳しいうえに、1月以降も新車の増販が見込める要素が全く無く、必然的に、エコカー補助金が始まった前年を大幅に下回る。
		乗用車販売店（従業員）	・自動車業界は低水準で動いているが、これ以上落ち込むことはなく、今の低水準が維持される。
		乗用車販売店（経理担当）	・新型車の発売が予定されている販売店は、新車効果により多少期待が持てるが、既販車しかない販売店は、苦しい状況が続く。
		乗用車販売店（総務担当）	・ここ2～3か月はエコカー補助金終了による反動減がある。3月の年度末にかけては回復を見込んでいる。
		乗用車販売店（販売担当）	・これからもディーゼル車に興味のある客が増える。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・現政権の3年余りのマイナスを取り返すのに倍のエネルギーがかかる。とんでもない政権である。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・12月はボーナスが入るところがあり、少し景気が良くなるが、正月以降は引き締めにかかる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（営業担当）	・ボーナス商戦を控えているため、今年よりは良くなるが、前年同月に比べると厳しい。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上高は、前年同月比8.8%減少、来客数は、同3.9%減少している。ここにきて落ち込みが大きくなっている。百貨店、チェーンストアなどの他業態も、足並みをそろえるようにマイナスが続いている。
		一般レストラン（従業員）	・12月の総選挙が終わり、新しい政権が誕生し安定するまでは、景気・経済は安定しない。
		スナック（経営者）	・例年、年間を通じて年明けは静かな月になる。今年は正月休みが9連休と大型な企業も多いため、レジャー代に流れてしまい、繁華街は人通りが少なくなり、売上は見込めない。
		都市型ホテル（従業員）	・予約数から判断して、変わらない。
		旅行代理店（経営者）	・旅行業界にとっては、1月、2月は客の動きがないため、現在とあまり変わらない。
		旅行代理店（経営者）	・2～3か月後では、まだ変化がない。
		旅行代理店（従業員）	・旅行人口が増加する要素が見当たらない。デフレで、旅行代金は低価格で推移したままである。市場にお金が流通しないと、旅行業界はこの状態がしばらく続く。
		タクシー運転手	・昼・夜共に街中の人の動きが少なく、タクシー利用も減少している。この先、消費税増税等色々マイナス要因はあっても、プラスとなる明るい兆しは思い当たらない。
		タクシー運転手	・最近のニュースを聞いていても明るい材料がないため、このまましていく。
		タクシー運転手	・不景気が長く続いているため、2～3か月で変わる根拠は見られない。
		通信会社（企画担当）	・消費の盛り上がる年末に多少の好転は期待されるものの、消費税増税、政治の先行き不透明感など、基本的な節約ムードは変わらない。
		通信会社（サービス担当）	・新しい割引サービスがスタートするので、今後もプラン変更や新規申込が増える。
		通信会社（営業担当）	・現在の日本では、国民の生活・将来が一番大切である。しかし、政治家は自分のこと、政治団体のことのみを考えていると思われるような発言が続いている。今後の日本を明るくするような政治家の出現が見受けられない。
		テーマパーク（職員）	・好材料がない。
		テーマパーク（経営企画担当）	・経済の先行きの不透明さがあるものの、レジャーに対する消費は現状が維持される。
		ゴルフ場（企画担当）	・1月までの入場者予約数は、前年同月の予約数と比べ、かなり好調に推移している。2月以降も、この先大雪がなければ、入場者数は今回様に確保できる。
		美容室（経営者）	・年末は良くなるが、2～3か月後は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・寒い季節には、販売量も伸び悩む。
		住宅販売会社（従業員）	・消費税増税前の駆け込み受注はあると思うが、大きな変化は今のところ見られない。
		住宅販売会社（従業員）	・政治がどのように動くかによって変わってくる。消費税増税がなくなることはないと思うが、なくなるのではという淡い期待を持っている人もいるのではないかと。消費税増税前の駆け込みの購入も、一旦落ち着く。
		住宅販売会社（従業員）	・消費税増税の前に住宅購入の意欲が本当に上昇するのかが、見えてこない。どちらかというところ、やはり借入金の長期返済の方が不安になっているようである。
		その他住宅〔住宅管理〕（従業員）	・政権が変われば多少景気が変わる。どこの政党が勝つかによって大きく変わる。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・ある意味で購買意欲は底打ちしているが、購買単価の落ち込みで、新たな底ができていく。
		商店街（代表者）	・今まで経済的に余裕が感じられた60歳以上の世帯に、魅力的な家電商品が少なくなっており、なかなか販売に結び付かなくなっている。
		一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	・お歳暮ギフト商戦中に総選挙がある場合は、過去の経験から5%減少くらいの影響がある。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・最近給料が減ったという会話をよく耳にする。そうすると、必需品でない花にまでは消費が回らないのではと危惧する。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・消費者の飲食店でのお金の使い方が、明らかに変化してきている。
		一般小売店〔自然食品〕（経営者）	・総選挙の動向で、先行きがどうなるかわからないという雰囲気である。世の中が安定しないと、消費意欲がなくなっていく。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	・年末の売出しを控えて期待したいところであるが、諸外国との問題や、国内も政治の方向に見通しがつかない状態のため、個々の努力では限界がきている。この状態が続くと、景気の悪化は止められず、さらに悪化が続く。
		一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・これだけ混迷する政治のなかで、先行きがどうなるか非常に不安定で、見通せない。今のところ良くなる要素が少ないため、先行きは良くならない。
		百貨店（企画担当）	・12月中旬の総選挙で、政治がどのように変化するかは不明であるが、その後数か月で景気が改善する施策が打てると思えず、逆に政局の混乱など景気にマイナスに作用する可能性が高い。また、消費税増税が近づくことも、景気にマイナスに作用する可能性が高い。
		百貨店（営業企画担当）	・総選挙後も政局の混乱が続く見通しが高く、大きな経済政策がなく、大局は変わらない。
		百貨店（販売担当）	・ボーナスの減少、不安定な社会、経済、政治が続いており、生活の基盤が揺らいでいる。そんななかで、消費者は見えない先を予測するというよりも、すべてを閉めてしまうという気持ちになるのではないかと懸念される。
		百貨店（販売担当）	・ボーナス商戦も終わり、売れる理由がない。
		百貨店（販売担当）	・時々来店していた中国や台湾の客が、秋に入っても来店しなかった。中国や台湾の客はまとめ買いが大きいので、売上に響く。
		スーパー（経営者）	・デフレで市場環境が良くないため、競争は一段と激しくなる。今まで努力してきた中小企業も、売上減少の傾向が止まらず、廃業・倒産に至る企業も増える。3か月先の景気も決して良くない。
		スーパー（経営者）	・景気が良くなるような情報もないなかで、中小小売店は年末を迎えるため、現状からさらに悪くなる。
		スーパー（店長）	・将来に不安を持つ消費者が、支出を抑えるため、景気は悪くなる。
		スーパー（販売担当）	・チラシを入れても、客を取り戻すことができない。当店が催しをやっている時は競合店も色々やっており、ますます状況は悪くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・総選挙があるが、何かが良い方向に変わるとは感じられない。
		コンビニ（商品開発担当）	・大手自動車メーカー系の売上の鈍化が予想される。来客数増加が見えてこない。
		衣料品専門店（経営者）	・購買にシビアな状態がしばらく続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家電量販店（店員）	・今の状態が続く。中国・国内需要が低迷し、これらの良くなる理由が考えられない。
		乗用車販売店（従業員）	・これから年末、年度末を迎えるが、客に車を購入するきっかけをつくる、もしくは後押しをする要素が見当たらない。これといった話題の新型車も見当たらず、苦しい販売が続く。
		乗用車販売店（従業員）	・エコカー補助金が終了した反動がしばらく続く。必要にならない限り車を買換えない状況が続く。定期点検も、費用がかかるからという理由で受けないユーザーが増えていて、収益面では非常に厳しい。消費税増税の前には車を購入したいと考える人は多いが、家のリフォームなどを優先しようと考えている人も多く、しばらくは低迷する。
		高級レストラン（スタッフ）	・販促活動を強化して予約客は確保しているが、一般客の大幅な落ち込みが続いており、改善の兆しは見られない。
		一般レストラン（経営者）	・今の政情不安から、今後の生活についても不安があり、お金を使うのを控える。
		観光型ホテル（経営者）	・景気後退になるような、製造業の物と人の動きが鈍化する傾向が見られるため、サービス業は2～3か月先も悪化する。政局がどうなるのか様子見で身構えることも考えられるため、継続してやや悪くなる。
		観光型ホテル（販売担当）	・残念なことに前月の不安が的中してしまった。10月頃から一部に動きはあったものの、総選挙になったおかげで、12月の大型宴会予約が数本消えてしまった。この時期、実際のキャンセルは非常に痛い。1,000万円近いマイナスをどこまで取り戻せるかわからない。
		都市型ホテル（経営者）	・客単価はデフレ傾向で、デフレが長引いていてあまり変わらない。その分を来客数でカバーしてきたが、陰りが見えてきている。
		都市型ホテル（支配人）	・宿泊も先行き不透明であり、価格を上げると極端に減る。
		都市型ホテル（経理担当）	・1人当たりの消費単価が下落している。
		都市型ホテル（営業担当）	・良くなる要素が見当たらない。
		旅行代理店（経営者）	・レジャー産業においては、淘汰がある程度まで進まない と、厳しい状況はまだ続く。
		旅行代理店（経営者）	・中国問題や韓国問題は、今後ボディーブローのように景気に影響する。
		旅行代理店（従業員）	・冬のボーナスがあまり期待できないため、この先良くならない。
		通信会社（営業担当）	・今後も、客の減少により、景気が悪くなる。また、他社との料金格差是正のため、基本料金の値下げをするので、収入が減少する。年間を通して見ても、今年度は全体的に悪くなる。
		観光名所（案内係）	・政治がはっきりしないため、良くなる兆しはない。
		パチンコ店（経営者）	・業界全体が低価格競争に入っている。
		理美容室（経営者）	・客は小遣いがないため、来客周期が長くなってきている。
		美顔美容室（経営者）	・もうじき年末年始で何かと物入りのため、また、これといったキャンペーンもないため、来客はあっても、化粧品の上は少なくなる。
		設計事務所（経営者）	・ここ数年、案件数が少ない状況が続いている上に、単価が急激に下がっている。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・年が明けてからの、見積り依頼等の引き合いがほとんどない。
	悪くなる	スーパー（店員）	・卵1パックの卸値が200円近くする現状は、初めての経験で、悲観するしかない。師走の買い求めの雰囲気を感じられない。
		スーパー（商品開発担当）	・工場の閉鎖、ボーナスの減少等、マイナスな話題が多い。食品の売上を見ても、デザートなど好品の売上減少が目につき、必要最低限のものしか購入しないという感じを受ける。
		コンビニ（エリア担当）	・良くなる要素が思い当たらない。メーカーがこれからリストラ等で厳しくなってきたり、その影響がコンビニにも出てくる。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（店長）	・スーパー・ディスカウントストア・大手コンビニチェーンも、低価格のプライベートブランド商品を多く導入し、デフレ傾向が続いている。対抗して値下げしなければ、生き残れないかもしれない。
		その他専門店〔貴金属〕（店長）	・景気低迷が長く続く中、消費者の購買意欲が見られず、景気・経済が良くなることは考えにくい。この先大きな経済対策を期待している。
		旅行代理店（経営者）	・総選挙の公約でも、政治家や東京の人々は地方の現状を知らな過ぎる。大企業の工場閉鎖が相次ぐ限り、日本経済自体が沈没に向かっている。経済面で明るい政策が見えてこない。
		美容室（経営者）	・色々な業種の客から色々な話を聞かすが、やはり景気が良くない、将来が不安だと聞く。
		理容室（経営者）	・これほど不景気だというのに、政府は自分のことしか考えていない。あきれるばかりである。
		住宅販売会社（経営者）	・今後の先行きが不透明で、不安を感じている。
企業 動向 関連  (東海)	良くなる	窯業・土石製品製造業（経理担当）	・新設住宅着工件数が増加する。
	やや良くなる	化学工業（人事担当）	・最近では欧州の信用不安があまり取り上げられなくなっている。また、総選挙後の期待感から、景気は少し良くなる。
		電気機械器具製造業	・新政権に期待している。
		通信会社（法人営業担当）	・衆議院解散以来、円安、株価高等の傾向となっており、政府が変わって経済対策が打たれることへの期待感がある。
		金融業（法人営業担当）	・エコカー補助金終了に伴う、国内自動車販売の反動減による影響が徐々に弱まる。年度末にかけて地元自動車メーカーが生産を増加させる計画であり、部品メーカーの受注増が見込まれる。
		経営コンサルタント	・名古屋の賃貸マンションに関して、海外からのお金も入ってきているようで、国内の一流企業も物件を買いにきている。景気が上向いているから買いにきているので、今後も上向く。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・外部委託の調達が不調である。しかし、12月末で契約終了となる外部委託先が提案を出しつつあるので、今まで体制が作れず客に提案できなかった案件が、受注できると見込まれる。
		その他サービス業〔広告印刷〕（従業員）	・今が底だと思っているので、多少なりとも動いてもらわないといけない。
	変わらない	食料品製造業（経営企画担当）	・総選挙を控え、政局も不透明である。多数の政党乱立による、国民の諦め感、あきれ感も強まり、ますます消費マインドを冷やすことになる。当面は景気回復への期待ができない。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・総選挙が終わるまで、見込みがつけにくい。
		化学工業（企画担当）	・国内は総選挙の結果次第で、景気に影響が出てくる可能性がある。米国は大統領が再選されたことから、落ち着きが出てきて景気は堅調になる。しかし、尖閣問題が長期化し、中国経済は先行き不透明であり、欧州も回復する要因が見出せない状況にある。
		鉄鋼業（経営者）	・希望的な面としては、総選挙後の復興需要や補正予算を言っている政党が多いので、公共事業を含め需要増が期待できる。しかし、自動車を始めとして大手製造業が減産を唱えている現状では、中小の我々の客に仕事が増えていくとは考えにくい。
		金属製品製造業（従業員）	・多少は値上がり感が浸透するかという期待感があるものの、まだ、価格の底入れという感じはしない。
一般機械器具製造業（営業担当）		・欧州の信用不安や中国の経済不調を理由に、北米自動車産業では、計画されていたプロジェクトの多くが凍結状態になっている。加えて、数少ない引き合い案件でも、円高の影響で価格競争力がなく、ドイツや韓国の競合他社に勝てない。	
		一般機械器具製造業（経理担当）	・景況感の大幅な落ち込みも想定しないが、かといって、活況というわけでもなく、ズルズルと現状付近で推移する。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・総選挙など変化要因はあるが、その結果が経済に反映されるには時間がかかる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・2～3か月後の取引先の景気が良く、設備投資があり、当社の売上もだいたい同じくらいになると見込んでいる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送用機械器具製造業 (品質管理担当)	・客先の生産計画スケジュール上、しばらく上昇したまま続く。
		輸送用機械器具製造業 (総務経理担当)	・3か月程度では、中国向け輸出が元に戻るの難しい。車の部品の輸出が中国へ向かわないため、景気は悪いまま続く。
		建設業 (経営者)	・中国問題や総選挙など、不確定要素の影響か、様子見の状況が続く。
		建設業 (営業担当)	・国・県・個人の予算が減っているなかで、景気が良くなると思えない。
		輸送業 (エリア担当)	・大手タイヤメーカー等もタイヤの在庫調整を徹底的に行っていて、倉庫に預かっていたタイヤも今はゼロである。輸送便数も大幅に調整している。
		輸送業 (エリア担当)	・中国との悪化した関係が、修復するとは予想し難い。欧州の信用不安の動向も不安定である。
		輸送業 (エリア担当)	・3か月前からずっと11月に至るまで、景気は悪い。それが継続しているため、今後上向いていくことはない。上向く要因が見当たらないため、引き続き悪いまま推移する。
		金融業 (企画担当)	・国内は総選挙の結果次第、海外は米国の財政の崖への対応次第のところがあるため、難しいところがあるが、実態はあまり変わらない。
		不動産業 (経営者)	・総選挙後の政府方針で、いかようにも変動しそうであるが、当面は現状が維持される。
		不動産業 (管理担当)	・世間では円安で株価が上がっているが、それが直ちに不動産、事務所の需要に結び付くとは思っていない。しばらく様子見の状態が続く。
		不動産業 (開発担当)	・消費税増税に向けた駆け込み需要の動きが一部にあるものの、政府施策が不透明ななかで、現時点において特に大きな変化は感じられない。
		広告代理店 (制作担当)	・年が明けても良くなる要素が見つからないため、なかなか上向きにはならない。
		新聞販売店 [広告] (店主)	・折込広告は、流通・サービス共に15%ほど減少している。年末商戦に期待が持てない。
		公認会計士	・通常ならば、悪化傾向と考えられるが、総選挙の結果によっては、実効性のある経済政策がとられる可能性がある。
		会計事務所 (社会保険労務士)	・円安傾向になっているが、そうすぐには生産が増えるとは思えない。百貨店やショッピングセンターに行くと、客はたくさんいるが、買物袋を下げている人は多くない。年末年始で物入りなため、正月過ぎには一層節約へと走るのではないか。
その他非製造業 [ソフト開発] (経営者)	・中国においては、中央の許可が延び延びになっているようで、中国向け輸出は簡単には戻らない可能性がある。欧州向けも良くないので、残るものは限られてくる。中小企業は新商品の開発が急がれる。		
やや悪くなる		紙加工品 [段ボール] 製造業 (経営者)	・段ボール業界全体の販売量が減少しているなかで、販売価格が低下傾向にある。販売単価を下げることにより受注量を増やそうとする傾向があり、利益減少につながっていく。
		パルプ・紙・紙加工品 製造業 (総務担当)	・自動車関連の受注量が減少し、良くなる見込みがない。
		印刷業 (営業担当)	・景気が良くなる材料があまりない。
		窯業・土石製品製造業 (社員)	・現在のところ、スマートフォンの部品関連の特需があるため順調といえるが、あと2〜3か月で失速しそうである。次々と部品製作方法の改良が行われており、当社製品がいきなり不要になる可能性がある。
		金属製品製造業 (経営者)	・引き合いが減少している。
		電気機械器具製造業 (営業担当)	・下期は悪化の方向である。
		建設業 (経営者)	・政治・経済等、全く世の中に落ち着きがない。景気が良くなる要素が全くない。
		輸送業 (経営者)	・ボーナス削減などの報道により、実質の年収低下以上の消費マインド悪化が懸念される。
		輸送業 (従業員)	・中国や韓国との関係正常化の兆しが見えない。特に自動車の輸出が減っているのが気がかりである。総選挙後も政情の安定する兆しがない。定年年齢の引上げで若年層の就職が厳しくなっているなどの不安要素もある。燃料やフェリー料などが高止まりで、コスト高が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		金融業（従業員）	・現在生産量をかなり減少させている中、数か月先・1年先の見通しが全く立っておらず、困っている会社が多い。	
		会計事務所（職員）	・総選挙、年末商戦、円高推移等、不安要素が多く、全ての業界で見守り姿勢が多い。	
	悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・素材である電磁鋼板の価格も協力を得られているが、客先からの値下げ要求は非常に強く、採算性に不安を感じている。また、輸出物件が多いため、現状では非常に困難な環境が続く。	
雇用 関連  (東海)	良くなる	—	—	
	やや良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・自動車産業の増産を始めたとして、製造業の持ち直しが裾野を広げ、雇用や消費に好影響を与えると期待できる。	
		人材派遣会社（営業担当）	・新政権による景気回復に期待したい。	
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・10月、11月は自動車の生産調整を行ってきたが、12月以降、緩やかではあるが上向きで推移する。新しい政権体制にもよるが、年度末にかけてさらに上向きになることを期待する。	
	変わらない		人材派遣会社（経営企画）	・客の需要及び採用環境は、現在の状況が継続すると見込まれる。
			人材派遣会社（経営者）	・ここ1年近く、当地では求人への動きがほとんどない。名古屋・東京・大阪ではある程度あるが、当地ではなかなか難しい。
			人材派遣会社（支店長）	・直近数か月の求人数、稼働状況から考えると、同水準で推移する。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・従来、中国語スキルは就職に有利とされていた。しかし、中国経済の悪化の影響か、反日運動による停滞の影響か、中国語レベルの評価基準であった検定試験で、大学生の申込が減っている。	
	やや悪くなる		人材派遣会社（社員）	・消費税増税の動きに対し、金融業界が固定費削減のために雇用抑制をしており、また、中小企業金融円滑化法が終了するため、やや悪くなる。
			人材派遣会社（社員）	・求人案件が減少傾向にあり、企業の雇用が伸び悩んでいる。
			人材派遣会社（社員）	・現時点で判断は難しいが、新年会の予約状況が良くない。
			人材派遣会社（営業担当）	・日本の製造業では、電気メーカーの不振に加え、中国との摩擦による自動車販売台数の減少、エコカー補助金の終了に伴う販売低下見込みから、やや下降傾向となる。
			職業安定所（所長）	・新興国の経済や中国との関係悪化、及び円高等により、輸出関連産業からの新規求人は、さらに減少する。年度末に向けて自動車部品等を製造している事業所では、年明けから生産を増やす計画があるものの、先行きの不透明感から、残業等に対応し、新規求人の提出までは考えない事業所が多くなる。
			職業安定所（職員）	・事業主都合による離職者が増加しており、新規求職者も増加に転じている。
			職業安定所（職員）	・製造業を中心とした基幹産業の生産で、中国問題によって大分打撃を受けている企業が多いと聞くため、少し下がり気味となる。
			職業安定所（職員）	・自動車関連の生産調整の影響により、下請での受注の落ち込みが大きい。また、契約満了による更新なし・不更新等による離職者も、目立ち始めている。
			職業安定所（職員）	・雇用調整助成金・中小企業緊急雇用安定助成金の問い合わせと、新規事業所等の問い合わせが、かなり出てきている。
			職業安定所（次長）	・年末年始時期を含むため、雇用動向を見るのに注意が必要な時期であるが、動きは停滞気味であり、上向き要素が見当たらない。このところ企業の雇用調整がいくつかあったため、窓口の感触として、じわじわと下降に向かっている。
		悪くなる	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・悪くなるという声をちよくちよく聞く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・製造業で、新規求人数が減少している。また、新規求職者数が増加しており、中小企業において中高年層からリストラが始まっていると思われることから、景気は悪化している。

## 6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (北陸)	良くなる	通信会社（営業担当）	・新商品も出そろい、ボーナス商戦に突入するため販売数が伸びると思われる。
	やや良くなる	一般小売店〔精肉〕 （店長）	・来客数も販売量も徐々に増えている。この傾向は続くように思われる。
		乗用車販売店（役員）	・モデルチェンジ車の順調な供給がされるであろう来年2月、3月ごろは、販売の最盛期でもあり、年明けからの受注増・販売増を願っている。
		観光型旅館（スタッフ）	・冬場に入り地元客のウエイトが大きくなるため、予約状況は、11月は前年同月比96%、12月は同96%、1月は同88%となり、前年同時期と比較すると回復傾向となっている。
		タクシー運転手	・新年会などもあり、外出の機会が増えて期待できる。前年の場合、東日本大震災の影響もあり自粛ムードが漂っていたので、今年から来年にかけては良いと思う。
		競輪場（職員）	・年々売上は減少しているものの、年末に行われるビッグレースを楽しみにしている客が多数存在し、例年通り前月比約30%の売上増が見込まれる。
		住宅販売会社（経営者）	・消費税率の引上げ前の客の動きからみるとやや良くなる。
		住宅販売会社（従業員）	・引き合い件数が増加しており、今後の工事量の集中や工程管理がより一層タイトになってきている。
	変わらない	商店街（代表者）	・購買意欲が増すような明るい材料がなかなかない。
		商店街（代表者）	・年末に向けて明るい話題、消費を刺激しそうな話題もなく、例年以上に厳しい年末になりそうだ。
		一般小売店〔鮮魚〕 （従業員）	・11月後半になっても、依然、数字として上がってこない。天候が不順な日が続いているが、それだけではないように感じられる。
		百貨店（売場主任）	・天候の長期予想が暖冬から一変し、冬物商材でお買い得感のある商品の売上は増加すると思われる。12月商戦での総選挙の影響は考えられるが、一時的なものであり、客単価は落ちると予想されるが、提案商材を間違わなければ売上動向に変化はないと思われる。
		百貨店（売場担当）	・中旬以降は気温が下がり、コート、防寒衣料を中心に、紳士服や婦人服の売上が好調である。衣料品全体では前年比102%である。しかし、呉服・宝飾・高級雑貨類は同91%と大きな変化はない。
		コンビニ（経営者）	・2号店において、競合店出店以来の前年同月比の落ち込みは、下げ止まったとは思っているが、上昇の兆しは見えていない。このままの状態が変わらないと思っている。
		コンビニ（店長）	・いつも12月であれば、クリスマスケーキやおせちなどで単価を稼げるが、11月の段階で、例年通りとれているはずの注文数ほど、今年は注文を受けていない。売上自体は、3か月前から現在までで、前年同月比で見てほとんど横ばいから若干悪く推移しているのだが、クリスマスケーキやおせちなどカタログによる予約販売の調子が非常に悪いため、若干苦戦している。景気においても、その分少しではあるが悪く感じる。
		コンビニ（店舗管理）	・欧州の信用不安、中国や韓国との摩擦拡大は当面続くと思われる。政局次第では、国内での大型経済対策の実施に期待している。しかし、その効果が出るのはまだ先の話になるだろう。
		衣料品専門店（経営者）	・天候も景気も方向感が定まらず、これといって期待できる要因がなかなか見当たらない。
		衣料品専門店（経営者）	・ある会社の役員会での話であるが、衆議院が解散になってその先良くなるのか悪くなるのかは分からないが、停滞したものが動き出すという事では、唯一の正しい判断だったのではないかと、多くの人が見ているようである。そのせいか、無表情だった町を歩く人の顔に、動きが出ているような気がする。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家電量販店（店長）	・家電業界での起爆剤的な出来事が無いので期待はできない。
		家電量販店（管理本部）	・得意な販促を行っても前年同月比に大きな変動がない。
		乗用車販売店（経営者）	・燃費や小型化、購入のしやすさなど、売る側も買う側も一通り極めた感がある。これからは、車本来の魅力や値打ち感が勝負となるが、ニューモデルでの喚起は年明けからであろう。
		乗用車販売店（経営者）	・地元で大型倒産が複数あり影響が懸念される。身近で不景気感が出ている状況である。
		その他専門店〔医薬品〕（総務担当）	・主婦の財布のひもは固く、必要な物のみ購入する傾向が続いているが、その傾向がお菓子類にも及んでいる。健康志向の人は増えているが、ウォーキングなどお金をかけない傾向にある。健康食品の売上は低下している。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・現在、冷え込んだ個人消費を刺激するために、ポイント還元施策や値引きセールを実施しており一定の効果はあるが、乱発傾向にある。今後も同様の施策は継続するため、マンネリ化による効果低下は必至と考えられる。
		高級レストラン（スタッフ）	・現在の受注予約状況は例年並みであり、大きなイベントなども予定されておらず、大きな期待はできない。
		スナック（経営者）	・先々に明るさが見えない現在、皆さん支出を引き締めているため変わらず、無駄なお金は使わない。この厳しさが続くのではないかと。
		観光型旅館（経営者）	・これからの忘新年会の予約状況も悪く集客に苦戦している。1つの原因としては総選挙の影響も考えられる。
		旅行代理店（従業員）	・総選挙の行方も不透明であり、市場の変化を感じない。
		通信会社（職員）	・この先も、値引き競争が激しくなることが予想される。
		通信会社（社員）	・スマートフォンの需要は継続的に堅調である。
		通信会社（役員）	・毎年、年末年始は契約件数が伸びる傾向にあるが、今年は大幅に機能強化した商品を提供する予定であり、前年を上回る成果を期待している。
		通信会社（営業担当）	・今のところ上向きになる材料は見当たらない。
		やや悪くなる	
美容室（経営者）	・冬のボーナスも厳しいことで、消費も冷え込んだまま推移する。		
住宅販売会社（従業員）	・消費税率の引上げを気にする動きがあまり期待できない。		
一般小売店〔事務用品〕（役員）	・例年の需要期というものがないとしても、社会的には売上の上がる時期が2月や3月なのだが、今年はそういった見込みもなく、大きな設備投資に関する客の話もないため、そんな金額の高いものがない分、細かく動いて見込みを作るという状況である。政治的な問題などで、今から急に大きなものが発生するような事もないと思うので、少し厳しい状況である。		
一般小売店〔書籍〕（従業員）	・これから繁忙期を迎えるが、前年以上の売上や来客数は望みづらく、単価も上がらないままであろう。消費税問題など客の購買意欲を落とす傾向ばかりが目につく。		
		百貨店（営業担当）	・来月は総選挙しかないという気がする。特に、小売業にとって今回の投票日前後というのは、お歳暮時期で、年間でも一番大きな山場の土、日である。この時の選挙というのは、恐らく法人関係では状況的に、シビアな月になりそうな気がする。併せて、まだまだエコというものに対しての客の関心が高いため、ファッションを中心としたトレンド商品は厳しいだろう。全体的には12月は下がると予測している。
		百貨店（営業担当）	・今後3か月後であれば、もう冬物のセールが終盤になっている。現在の状況でも、消費税率が上がるということを皆さん言うので、今後2か月後、3か月後に景気が良くなるとは考えにくい。
		スーパー（店長）	・今後、もっともっと消費という部分で厳しくなるなかで、客の財布のひももどんどん固くなっていくのではと考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・今後も厳しいと思う。それは、冬の賞与などの状況を見ても依然厳しく、客のお歳暮ギフトなどの買い方を見ても、単価の低い品に集中しており、今後も年末に向けて、厳しい状況はさらに続くと思われる。販売する方としては、非常に不安に思う。
		スーパー（総務担当）	・衆議院の解散、総選挙のため12月の売上は期待できない。また、このまま政局混迷が続くと、景気対策の実行も期待できない。
		スーパー（総務担当）	・今までは他人事と感じていた人も、総選挙の結果次第で政治混乱が続き不安感が高まる。総じて景気や雇用の改善が遅れるのではと感じ、景気は悪くなると思われる。
		スーパー（統括）	・北陸では、ここ最近も含めてコンビニエンスストアの急速な出店、全国チェーンのドラッグストアの食料品の展開などが、非常に多くなっているなかで、競争環境が非常に厳しくなっている。客については、少しでも安い所を選ぶというなかで、この後特に景気が上向くという事は考えられない。
		コンビニ（経営者）	・トータルの売上としては、前年をやや下回っている程度で推移している。伸びているのは主食系やファストフーズ類だが、近隣のドラッグストアや他のコンビニとの競合などもあって、酒類、菓子類、カップ麺などの商品類、タバコは大きく前年同月を下回っている状況である。目的買いの客が多く、いろいろなカテゴリの店を使い分けているようで、今後もその傾向はさらに広がっていくと思われる。
		衣料品専門店（総括）	・悪化傾向にあるのが感じられるので、良くなるとは思えない。また回復する要因もない。
		家電量販店（店長）	・寒波などで寒さが到来すれば暖房器具に期待が持てるが、商品単価が低いために、なかなか売上増加に結びついていかない。
		自動車備品販売店（従業員）	・電器関連商品の単価はますます下がっており、直近でも明るい兆しが見えず、全体の営業に影響を与えている。
		住関連専門店（店長）	・政治問題もあるが、先行きが見えていないのが現実だろう。収入面も上がるとはいえない時代に消費税問題など、市況が変わらない状況である。良くなる兆しが見えない。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・来月総選挙があり、結果次第で景気については変わらと思うが、選挙が終わって落ち着くまで、やはり2～3か月は悪くなると思う。
		一般レストラン（店長）	・国際関係や消費者マインドを考えると上向く要素がない。
		一般レストラン（スタッフ）	・エルニーニョ現象終息で、今年は暖冬傾向の予測から厳冬傾向に変わった。冬用タイヤは来年買換えようと思っていた人が、今年を買換えを考えるなど、暖冬から厳冬になることで消費動向に変化が出ている。北陸においては、厳冬で、雪の日が多くなると外食する機会が減ると考えられる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・個人所得の伸び悩み、企業業績の低迷により、忘新年会の予約は弱含みである。
		旅行代理店（従業員）	・団体は、新規案件が出ていない。個人客も動きが全く止まっていて、旅行に関心が向いていない。
その他レジャー施設（職員）	・寒くなってきており、高齢者の退会が増えてくる時期になる。また、競合店のオープンキャンペーンが12月末までのためその影響が出ている。		
住宅販売会社（従業員）	・例年契約件数の少ない時期だが、ここ2～3か月の展示会来場者の質が良くない。真剣に検討している客が少なく、展示会をレジャーと捉えて来場する客が増えている。		
悪くなる	その他専門店〔酒〕（経営者）	・米国の大統領が再選し、円高がさらに進むのではないかとのことになっている。そうなれば、また日本にも悪い方へ影響する。とにかく先行きが見えない。本当に悪くなると思えない。	
	住宅販売会社（従業員）	・中国との関係悪化で生産量が減り、業績が悪化している製造業が出てきており、個人の消費意欲の低下が懸念される。	
企業動向関連 (北陸)	良くなる	—	—
	やや良くなる	化学工業（総務担当）	・毎年下期は売上が上昇傾向にあり、今期も上がる予定である。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・国内の政治状況が変わり、希望が持てれば設備投資が動くと思われる。
	通信業（営業担当）	・光回線化が利用料の割引で、新たな需要が出てくるものと思われる。併せて情報機器の案件も増えることが予想される。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
	変わらない	繊維工業（経営者）	・円高が一服しており、欧州市場は相変わらず期待できないが、米国市場に期待がかかる。しかし、国内市場も含め勢いに欠け、先行き不透明感が続いている。	
		繊維工業（経営者）	・国内外とも、来年上半期は厳しい。	
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・住宅市場のほうは、1年、2年の時間がかかると見られているので、3か月先には変わらない状況である。	
		一般機械器具製造業（経理担当）	・内需が低調ななか、中国向け輸出の回復も現状では見込みにくい。	
		精密機械器具製造業（経営者）	・新製品が好調なこともあり、年明けに向け生産量は増加傾向にあるが、今のところ季節変動の範囲との判断をしている。	
		金融業（融資担当）	・中国向けの受注の減少が、今後数値として決算などにも表れてくるものと思われる。	
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	・下半期に入り、売上が前年同月比100%に持ち直してきている。	
	やや悪くなる	食料品製造業（役員）	・2～3か月先は季節も変わり、新たに商品提案を迎える時期となるため価格競争が一層激しくなる様相である。すでに、新規見積提案においては5%程度のダウンで競い合っている。このため、商品価格の低下傾向がより顕著となり、収益性が悪化することが予測される。	
			金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の分の受注の入り具合を見るとやや悪くなる。
		建設業（総務担当）	・工事発注量は減少傾向がみられ、今後も受注価格競争に拍車がかかることが予想され、依然として厳しい状況が続くと見込まれる。	
		輸送業（配車担当）	・中国との関係改善が良くなる見込みがたたない。総選挙の結果が出ない限り、景気対策の先行きが見えない。	
		輸送業（配車担当）	・円安が進み、軽油価格が上昇し、収益を圧迫してきている。	
		金融業（融資担当）	・1年半後に控えた消費税率の引上げというマインド上の重しがある中では、なかなか活発な消費活動が見込みにくく、前倒しの消費も弱いと、その点が気がかりである。加えて、企業活動においても同様である。	
		不動産業（経営者）	・今、個人の客の動きがやや少ないということで、この先もそのような考え方を皆さん持っている。また、法人のほうもやや動きが少ないという内容を聞いている。	
		税理士（所長）	・客の様子を見ると、2～3か月先の仕事の見通しが明るい人、要は製造業、建設業関係だが、受注残とか生産の見通しがよい業種が、割と出てきている。ただ、中国関係の影響が大きいと思うが、その後の予定が今、非常に不透明である。大手の企業や役所関係の方向が定まっていな部分、そこに出ているのかなと思う。次の総選挙が心理的に大きく左右する。	
		悪くなる	建設業（経営者）	・中小企業等金融円滑化法の再延長期限が来年3月で切れるため、年度末工期の工事費用の支払に、銀行からの借入れができなくなる建設会社が多く発生し、毎日のように経営破たんする建設会社のニュースが、全国で流れるであろう。
		雇用関連	良くなる	—
	やや良くなる		—	—
	（北陸）	変わらない	人材派遣会社（役員）	・依然として企業側での社内対応が進むと思われる。
			求人情報誌製作会社（編集者）	・新しい雇用につながる大きな話がでてこない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・製造業の回復がどのくらいになるかによって、あるいは政治の状況によって大きく変わることが予想される。	
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・派遣先の担当者から、年内に政権は変わるだろうが、日本のデフレ・円高への対策は不透明なのではという声が多く聞かれた。	
		職業安定所（職員）	・製造業の受注見通しは暗いという話があり、先行き不透明である。	
		職業安定所（職員）	・欧州の信用不安、日中関係悪化、デフレ状況、円高など先行きの懸念材料が多く、今後の景気動向は不透明とする声が多く聞かれる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・小規模ではあるが、事業縮小による解雇や事業所閉鎖が増加しており、大量離職も発生したことから、今後求職者の増加が予測される。
		民間職業紹介機関（経営者）	・10月の労働者派遣法改正後、派遣先や求職者が紹介、紹介予定派遣利用について慎重で消極的であり、派遣離れが憂慮される。
	悪くなる	—	—

## 7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (近畿)	良くなる	高級レストラン（スタッフ）	・既に12月は、忘年会の予約でかなり埋まってきている。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・顧客満足と顧客リピートの向上、口コミによる新規顧客の獲得の3点で、今年は頑張ってきたので、年末は良くなる。
		百貨店（企画担当）	・暖冬予想から一転して寒くなるようなので、前年と同様に冬物、特にコート関係の動きが活発化する。
		コンビニ（経営者）	・コーヒーマシンの新たな導入もあり、更なるファストフード関連の売上アップが期待できる。
		家電量販店（経営者）	・電気料金の値上げ、消費税の増税を控え、節電型高付加価値商品の動きは加速するものと期待している。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車販売はエコカー補助金がなくなり、ここ数か月は売上が落ち込んだが、徐々にではあるが回復の兆しを感じられる。株価も少し上がってきたが、総選挙を控えて全体的に様子見の雰囲気がある。本格的に景気が良い方向に動くことは、年明けまではないが、ギリシャや米国も景気が底入れとなるため、今後はやや良くなる。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・来月は年末商戦となり、ムード的にも上がってくる。ボーナスなどの一時的な収入もあるため、短期的には良くなる。
		高級レストラン（支配人）	・11月中旬より観光客が増え、販売量も前年を上回るなど、徐々に回復の兆しがみえてきている。
		観光型旅館（経営者）	・総選挙も終わり、政権が安定するため、今以上には悪くならない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・前年と比較しても予約率が高く、新年互礼会などの早めの予約で会場を埋めることができている。小宴会場をうまく販売し、稼働率を上げていけば、前年の実績がクリアできる状況にある。宿泊についてはリニューアルしたこともあり、単価、稼働率共に高水準を保っている。レストランは昼の利用率が下がっており、ワンコインなどの低予算で昼食を済ませるビジネスマンが増えているが、土日は家族連れなどで順調である。
		競輪場（職員）	・例年の動きからみると、正月を挟むので良くなる傾向にあるが、景気が回復しているとはいえない。
	美容室（店員）	・髪型を少しずつ変えたいとなる季節になるので、良くなる見込みである。	
	住宅販売会社（総務担当）	・消費税増税の駆け込み需要が更に見込まれるが、反動も大きい。	
	変わらない	商店街（代表者）	・特に変わる環境にないほか、価格競争が激しくなる。
一般小売店〔時計〕（経営者）		・主に腕時計であるが、若い客の時計に対する気持ちが、年配の客とは随分変わっている感じがする。景気の停滞で懐事情も若い人の方が厳しいため、お金を使ってもらうのは今後も難しい。	
一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）		・年末に向けて一時的には良くなるが、1月に入ると消費マインドは冷え込む。	
一般小売店〔衣服〕（経営者）		・地域経済を刺激するような要因はないが、年末を控えているので、少しは良くなる。	
一般小売店〔衣服〕（経営者）		・夏よりも冬の方が衣料品は動くため、夏に比べると動きは良くなるが、好調になるとはとても感じられない。来月半ばに予定されている総選挙の後、社会、経済が安定するとはとても思えない。1日も早く政治や経済が安定して、社会に対する安心感を持ちたい。	
一般小売店〔雑貨〕（店長）		・世の中の禁煙ムードの高まり、リピート客の高齢化、たばこ販売価格の値上がりの可能性を考えると、数年先には更に売上が下がる。	



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔酒〕(店員)	・依然、乗客数は前年をクリアしているが、売上が大きく下回っている。進物の販売件数も昨年ほどのまとめ買いはみられない。進物需要に関しては、お中元と共に年々減少傾向が感じられ、これまでは1,500円前後のデリーワインが中心であったが、今は1,000円前後の動きが中心になっている。
		一般小売店〔菓子〕(営業担当)	・年末商戦を迎え、来月こそ販売量の増加を期待したい。
		百貨店(売場主任)	・初売りからクリアランスセールまでは期待が持てるが、総選挙の結果次第では消費者の財布のひもが一層固くなり、高額品の売行きに影響を与える可能性もある。
		百貨店(売場主任)	・今の環境を考えると、今後も変わらない。
		百貨店(売場主任)	・経済や政治、個人の収入にも明るい兆しが見えないなか、個人消費の増加は期待できない。
		百貨店(売場主任)	・根本的に景気が良くならなければ、消費者の価格に対する関心が強い状態が続く。
		百貨店(企画担当)	・1年で最大の12月商戦では、他店との競合による売上への影響は必至であるが、今後も近隣地域を含めた来街策、来店策を打っていくことで、最小限の影響にとどめたい。
		百貨店(営業担当)	・他社のリニューアルオープンでマスコミに百貨店がよく取り上げられ、業界的には明るい兆しを感じるが、富裕層の固定客も購買する際に何らかのメリットを求めているなど、競争は更に激しくなる。
		百貨店(営業担当)	・ポイントカードの顧客獲得が順調に進めば期待できるが、主要な売上を占める食品の動きが鈍いため、現状維持である。
		百貨店(外商担当)	・総選挙の結果次第では、良くなる可能性もある。
		百貨店(サービス担当)	・本格的なクリスマスや年末商戦が始まり、集客イベントの強化や年末3日間は地下食料品フロアの開店時間を30分繰り上げるなど、より利便性を考えることで、前年実績の確保に努める。
		百貨店(商品担当)	・来月半ばの総選挙の投票日までは消費への悪影響が懸念され、結果によっても先行きに影響される。景気浮揚への期待で、解散総選挙の決定後は株価が反応したが、先行きは読めない。
		百貨店(販促担当)	・政局が不安定ななか、先行きの見通しがみえにくい状況である。大きな流れとしては、消費税増税に対する先行購入で、高額品などに多少の追い風となる。この時期は特に気温の影響が出やすいため、12月前半が低温で推移すれば、定価品需要の活性化が期待できる。
		百貨店(売場マネージャー)	・政治不安や朝鮮半島情勢などがあり、景気は多少なりとも悪化するとみていたが、当店では来客数も大きく増加しており、買上単価も上昇していることから、しばらくはこの傾向が継続する。
		スーパー(経営者)	・今の客は慎重な買物をするため、欲しい物があっても一定の価格以上だと手の出ない状況が続く。
		スーパー(店長)	・総選挙後の政治の流れも、景気への好材料は見当たらない。輸出動向も中国情勢も不透明である。電気料金の値上げは企業への圧迫が大きく、価格に転嫁されない分のしわ寄せが中小企業に集まる。消費税増税も相まって、今後しばらく景気は良くならない。
		スーパー(店長)	・引き続き政治不安をはじめとするマイナスの要素が大きく、景気が好転する要素は少ない。
		スーパー(店長)	・年末の忙しい時期に総選挙で混乱するため、先行きが見えない。この年末年始は厳しい状況が続く。
		スーパー(店長)	・地域の雇用や所得状況は悪化するか、変わらないため、景気そのものが上昇する気配は感じ取れない。
		スーパー(経理担当)	・普段の節約の裏返しで、年末年始には少しぜいたくをしたいという気持ちに期待したいが、実際は財布のひもは固そうである。暖冬予想から一変した寒い冬に期待している。
		スーパー(広報担当)	・来春からの電気料金の値上げ報道に加え、来月の総選挙など、政治の不安定さによる将来不安で、消費マインドの冷え込みが懸念される。
		スーパー(販売担当)	・競合店との価格競争もあり、主要な商品の価格を下げる傾向にある。それにより、客の買上点数は前年並みであるが、買上金額は前年の水準に達していない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（開発担当）	・年末に総選挙があり、来年度には電力会社が電気料金の値上げを申請している。今後は総選挙の結果次第でどうなるか分からない。
		スーパー（社員）	・イベントの実施期間やチラシを投入した日の客の来店は順調であり、景気も悪くないと実感している。ただし、平日になると前年よりも客の来店が減っている。これから迎える年末年始を挟んで、需要喚起策による活発な消費を期待している。
		コンビニ（店員）	・売上、来客数共に減少傾向で、回復見込みは厳しい状態にある。
		コンビニ（店員）	・寒くなる時期は来客数が落ちる。
		衣料品専門店（経営者）	・バーゲンが12月末から始まるので、今後も今と変わらず安い物しか売れない状況が続く。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・冬物スーツの売行きが悪いまま、販売時期が終わってしまう。
		家電量販店（店長）	・エコポイント制度の需要一巡後も冷蔵庫、エアコンには大きな影響が出ていないが、テレビは3年分の需要を先食いしたため、単価は上がるが、販売台数は大幅な前年割れとなっている。
		家電量販店（企画担当）	・明るい話題がなく、業界全体に不況感がまん延している。
		乗用車販売店（経営者）	・車検の予約、新車の販売予約もあまりなく、毎日の車の在庫台数が減少している。
		乗用車販売店（経営者）	・来月の総選挙次第であるが、先行きが不安定で期待するものがない。
		乗用車販売店（営業担当）	・販売単価などが徐々に下がってきている感はある。毎月毎月に余裕がない。身の回りの景気が良くなっているとは思えない。
		その他専門店〔食品〕（経営者）	・先行きは天候次第である。
		その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・円高の状況も変わらず、購買意欲の上昇要因が見当たらない。
		一般レストラン（店員）	・年末という好材料を含めても、あまり良い見込みはない。
		その他飲食〔コーヒーショップ〕（店長）	・年末商戦が始まろうとしているが、新聞紙面でも企業収益が劇的に変化したという情報もなく、ボーナス商戦も必要最小限の支出に絞られる。
		観光型ホテル（経営者）	・総選挙があると来客数が減るとというのが過去の経験則であるが、12月は昨年並みの先行予約で推移している。今後のキャンセルなどが無いことを祈るのみである。
		観光型ホテル（経営者）	・観光客の利用が多い月であったが、アルコールやお土産などのプラスアルファの利用が思ったより少なく、相変わらず客の財布のひもは固いと感じている。
		観光型ホテル（経営者）	・今回の総選挙の結果、新しい政権がどのような政策をとるか、それにより世の中の経済状態が変わると思うが、あまり期待はできない。日本だけでなく、東アジアや全世界の動向と日本の経済は密接に関わりあっているため、そちらから良い風が吹いてこない限り難しい。
		観光型旅館（経営者）	・トップシーズンを迎えたものの、総選挙で出鼻をくじかれ、客の足が鈍くなっている。総選挙後も不安定感が漂えば、また停滞する可能性が大きい。
		観光型旅館（経営者）	・時期的に道路状況が凍結や積雪で思わしくないことから、集客が見込めない。例年この時期は景気の判断が難しい。
		観光型旅館（団体役員）	・総選挙を控えて政界も不安定な状況であり、予約状況をみても、将来の大きな変化は見込めない。
		都市型ホテル（マネージャー）	・宿泊部門に大きく影響する中国問題も改善の兆しがなく、オフシーズンに向けて大きな懸念材料となっている。宴会部門も総選挙の影響でパーティーのキャンセルや日程変更などが目立つなど、先の見通しは極めて不透明である。
		都市型ホテル（客室担当）	・クリスマス、年末年始と売上が伸びる時期ではあるが、例年に比べ予約状況の動きが鈍い。間際予約が定着してきており、先行きを読むのが難しい。
		旅行代理店（経営者）	・経済の閉そく感で国内旅行の動きが鈍い。海外旅行の好調はまだ続いているため、比較的余裕のある層との二極化が進んでいると感じる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（店長）	・今は総選挙前の状況であり、客は様子をみている。他社との競争や旅行需要の絶対数は変わらないため、厳しい状況になっている。
		旅行代理店（広報担当）	・総選挙が終わり、日本の将来に明るさがみえるかどうか重要だが、あまり期待できないという声をよく聞く。尖閣問題などは少し落ち着いてきているが、旧正月や韓国の大統領選挙などの要素を勘案すると、現状と変わらない。
		タクシー運転手	・年末を控えて総選挙が行われるため、景気回復が見込めない状態である。
		タクシー運転手	・大阪マラソン、御堂筋イルミネーションなどのイベントで景気浮揚を図る意図は理解できるが、自治体レベルでの景気回復策では限界があり、景気の失速感は払しょくできない。
		通信会社（社員）	・盛り上がりには欠けたまま、2、3か月が過ぎそうである。年間の最需要期を控えて、販売は伸びていないが、減ってはいない。
		観光名所（経理担当）	・売上、来客数共に昨年には届かないが、平年と比較すると少し上回っている。天気が少し悪かったが、3連休はかなりの来客数であった。平日と休日の差が以前より大きくなっているが、平日の客単価は休日よりも上がってきている。一方、体験教室は継続して伸びているが、ほかの店舗では好不調の差がみられる。景気動向がこの業種にどう影響を及ぼすのか、なかなか分かりにくいですが、総じてあまり良くない状況である。
		観光名所（経理担当）	・これから冬のイベント時期となるが、客の財布のひもが固く、来場者数、売上共に期待できない。
		競艇場（職員）	・以前から購買単価、来場者数の悪化に歯止めがかからない状況が続いている。
		その他レジャー施設 [球場]（経理担当）	・12～1月にはコンサートがあり、ほかにも子ども向けのイベントや、企業イベントが開催されるので、昨年と同等の集客を見込んでいる。
		美容室（経営者）	・正月はどこもお年玉商戦となり、値下げキャンペーンで売上を上げるが、それが終わると暇になるので、全体的には変わらない。
		その他サービス [マッサ ージ]（スタッフ）	・オイルマッサージのため服を脱ぐので、寒い時期には来客数が減少する。
		その他サービス [生命 保険]（営業担当）	・依然として景気の先行きが不透明なため、生命保険の加入を検討する客は伸びない。
		その他サービス [ビデオ ・CDレンタル] （エリア担当）	・低価格競争からの脱却を目指して、映像系の商品強化などを実施しているが、そのほかのアイテムをけん引するほどの効果は、今のところ出ていない。年末に向けて、更なるアイテム施策が必要となる。
		住宅販売会社（経営者）	・総選挙の結果もあるが、根本的なデフレ回復が見込めない限り、今と同水準で推移する。
		住宅販売会社（従業員）	・解決に時間を要する問題が多いほか、政局も不安定であり、将来への期待感に乏しい。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・総選挙に期待しているが、経済の不調といった基盤の弱さがマイナス要因となる。
		一般小売店 [精肉] （管理担当）	・12月の総選挙がどうなるか分からないが、年末はある程度盛り上がると思う。ただし、政権が決まって1月の消費が最も鈍くなるころに、この不安定感がどう解消されているかで、景気の動向が大きく変わる。多くの問題を抱えたまま、良くなる要素は見当たらない。
		一般小売店 [花]（店 長）	・ボーナスのカットが多い場合は、年末商戦が厳しくなる。
		一般小売店 [花]（店 員）	・年末の繁忙期も過ぎ、客の購買意欲がなくなる時期に入るため、暇になる。
		百貨店（売場主任）	・日本の主力産業である電機、自動車などの業績が良くなく、景気の更なる後退が懸念される。収入が増えないなか、デフレは続くことが予測され、内需の増加に期待を持ってない。また、総選挙により政権が変わったとしても、対策の効果がすぐに表れるとは思えない。
		百貨店（マネー ジャー）	・総選挙の実施に代表される政治の不透明さ、混とんとした状況が景気や消費に与える影響は大きいと考える。消費にとって明るい材料はなく、高額品の動きも悪くなっていることから、消費者の自己防衛行動が激しくなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（外商担当）	・ 政情が不安定で、中国の景気回復も見込めないなか、先行きへの不透明感が出ており、客の高額品に対する購買意欲が上がってくるとは思えない。
		百貨店（店長）	・ 海外情勢（欧州や中国等）の様々な動きがまだまだ改善しておらず、日本の経済情勢にも影響する懸念がある。また、日本国内でも政局や経済情勢の不安定さが今後の景気にも影響する。
		スーパー（経営者）	・ 政府の対策次第であるが、何もしなければ景気は後退していく。
		スーパー（店長）	・ 先月も不安はあったが、ここにきて更に政情が混とんとしており、これだけでも景気が悪化する可能性は大きい。また、明るい材料も見当たらない。
		スーパー（企画担当）	・ 来客数が前年比で93%台になったが、これまでの傾向から上昇に転じることはない。
		スーパー（企画）	・ 政治の行方が不透明で、年が明けると春に向けて出費がかさむことから、消費が縮む。消費税増税の動きも加速するため、減速方向へ向かう。
		コンビニ（店長）	・ 12月の総選挙後は、政策的にも目にみえる形で方向性が示されるが、しばらくは増税の負担懸念が景気に影響するよう思う。たばこなどの嗜好品は、今後も売上減が続きそうである。
		コンビニ（広告担当）	・ 政治不安があり、景気低迷の打開策がみえない。
		乗用車販売店（経営者）	・ エコカー補助金終了の反動が徐々に出てきている。
		乗用車販売店（販売担当）	・ 今後も好材料に乏しく、先行き不透明である。
		住関連専門店（店長）	・ 総選挙の後は、世間の動きが落ち着くまで消費者の活動も鈍くなり、売上が減ることがこれまでも多かったため、今回も懸念している。
		一般レストラン（経営者）	・ 年明けは物販や衣料で消費が増えるため、飲食店の利用が控えられる。
		一般レストラン（スタッフ）	・ 政局が混迷状態のまま総選挙に入るなど、生活観と政治がずれたままの状態が影響している。消費行動が活発になるようなニュースもみられない。
		スナック（経営者）	・ 先月と変わらずといった状態で、クリスマス前にもかかわらず人の流れが少ないので、先行きには期待していない。
		その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・ 来客数、単価の悪化で売上は厳しい。節約傾向が強く、売上が伸びない状況である。
		都市型ホテル（支配人）	・ 総選挙への期待はあるものの、日中関係の悪化、経済対策の抜本的改革がなされない状態では、景気回復には時間がかかる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ 宿泊は、中国人団体客がなくなった分を格安のインターネット販売で補完しているため、単価は低いままで推移すると思われる。宴会部門は、忘新年会や春の歓送迎会に向けての販促時期であるが、平均単価が下がってきている。客を選択できる状態ではなく、格安でも受けざるを得ない。レストランでもワンランク上の商品の注文が減少してきており、消費マインドの冷え込みが広がっているような気がする。
		都市型ホテル（総務担当）	・ ボーナスの減少による個人客の消費手控えが大きく影響すると考えられ、飲料部門の売上は夜の時間帯の減少幅が拡大する。
		通信会社（社員）	・ 通信会社の大幅な割引プランなどが発表されたため、少しずつ影響が出始めている。
		テーマパーク（職員）	・ 衆議院が解散し、政治の迷走が続くなど、将来に不安要素ばかりが増えるなか、景気が回復する要素が見当たらない。こんな状況では自分でもお金を使いたいとは思わない。世の中全体を見渡しても、みんなが同じように考えている。
		その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	・ 行楽に対する根本的な余裕ができていないとは思えない。今月はあくまで地域的な強みが顕在化しただけである。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・ しばらくは、状況の転換が考えられるような要素がない。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	・ 住宅展示場の来場組数をみても、消費増税による新築住宅の駆け込み需要は増加していない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる	その他住宅〔情報誌〕 (編集者)	・マンションの販売価格は上昇局面に入りつつあり、消費増税前の駆け込み需要に関しても、好不調にばらつきが出るのが予想される。
		一般小売店〔衣服〕 (経営者)	・総選挙がらみで、販売不振になりそうな予感がする。暖冬が長年続き、やっと来た寒波であり、防寒具に期待はしているが、不安も一杯である。
		一般小売店〔珈琲〕 (経営者)	・総選挙により一部の業界では特需が発生するであろうが、飲食関係にまでその良い影響が回ってくるかは不透明である。
		コンビニ(経営者)	・冬場に入ると客が昼食時にラーメン店やうどん店に流れるため、今月よりも10%ほど減少する。
		衣料品専門店(経営者)	・人が通らない道に面している店舗が、次々と閉店に追い込まれている。当社の店舗は人通りが以前とほぼ変わらない商店街に立地しているが、裏通りには空き店舗が目立つようになっている。
		衣料品専門店(販売担当)	・給料、ボーナスが減少すると思われ、更に悪くなる。
		乗用車販売店(経営者)	・景気が良くなる好材料が全くない。これから冬のボーナス商戦が始まるが、客の財布のひもがどの程度緩むのか、全く予想できない。
		一般レストラン(経営者)	・総選挙の結果でどうなるか分からないが、とりあえず良くなる要素はない。年明けは特に財布のひもが固くなる。
		一般レストラン(経理担当)	・対中国問題の長期化や、国内経済の低迷が続く以上、景気の回復が望めない。今後の政治の動きに期待したい。
企業 動向 関連 (近畿)	良くなる	木材木製品製造業(経営者)	・新規事業がスタートし、売上、利益共に格段に増える。
		化学工業(経営者)	・大型の物件が決まったり、欲しかったパートナー企業が出てきたりして、案件が非常に多くなってきている。年明け以降の見通しは非常に明るい。
		建設業(経営者)	・年度末にかけての案件、特に産業用の太陽光発電システムの相談が複数あるなど、年度内に経費計上したいという企業からの依頼が多くなってきている。この傾向は更に強まる。
		輸送業(商品管理担当)	・12月は良いが、正月が明けると悪くなる。
	やや良くなる	家具及び木材木製品製造業(営業担当)	・最近では受注件数や配達量が多くなってきている。
		出版・印刷・同関連産業(情報企画担当)	・医療関係、学会関係は順調に推移している。そのほかには住宅関係の受注が伸びてきたが、国の施策によるこ入れが必要である。大学関係の入学準備に対する受注も増えてきているが、4月以降は全然みえてこない状況である。政府による経済対策が早期に望まれる。
		化学工業(企画担当)	・年末年始の食品需要の増大が見込める時期に差し掛かっているが、今年は受注量の顕著な増加が現段階では認められない。しかし、12月になれば傾向も変化してくる。
		輸送用機械器具製造業(経理担当)	・現時点で把握している海外、国内の見積依頼数が増加している。
		輸送業(営業担当)	・学習機のシーズンに入るが、カラーバリエーションが豊富になったため期待が持てる。
		新聞販売店〔広告〕(店主)	・衆議院の解散が決まった日を境に、総選挙関連のチラシもあって、全体的に折込件数が増えている。身の回りも閉そく感から解放されたような雰囲気を感じる。これが一時的な動きでないことを望みたい。
		広告代理店(営業担当)	・関西圏もやっと気温が下がってきている。年末年始に向けての、ショッピングセンターでの衣料関連消費は増えてくることが見込まれる。
		経営コンサルタント	・年末年始に消費者の支出が増えることを期待しているクライアントが多い。ただし、不安定な政局のため、警戒心を抱き続けており、積極的な投資は避けている経営者が多い。
		コピーサービス業(店長)	・百貨店や商業施設が大阪に次々とオープンし、全体としてある程度の活性化につながると感じる。ただし、落ち着くスピードも速いと思われるため、どこまで持続できるかが焦点となりそうである。
その他非製造業〔民間放送〕(従業員)	・新政権による景気対策に期待している。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	変わらない	食料品製造業（従業員）	・残念ながら景気が上向きになるような良い材料がない。年末は荷物の動きが少しはあると思うが、年明け以降の状況が読めない。全般的に年末のボーナスも下がるようなので、年明けも厳しい状況になる。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・生産増の計画を顧客から聞くことがない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・変化する要素が見当たらないので、まずはこのまま推移すると思われる。新たな案件が少し出てきて、古い案件が徐々に淘汰されるような静かな流れが進む。
		金属製品製造業（営業担当）	・客先からの内示では、今のところは注文が今以上に落ちることはない。ただし、実際の注文がどうなるかは不透明である。
		一般機械器具製造業（設計担当）	・国政次第で株価などに変動がみられるかもしれないが、身の回りの景気としては、まだまだ回復までに時間がかかる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・年末の総選挙後の動きに期待したい。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	・良くなる要因が見当たらない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・新規案件、受注が増えていない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・販売面では少し売れているが、修理の依頼が全然なく、同業者も頭を抱えている状態である。
		その他製造業〔履物〕（団体職員）	・総選挙の結果により違ってくるとは思うが、景気回復への刺激策がなければ、現状と大きく変わらない。
		その他製造業〔事務用品〕（営業担当）	・新商品の開発も進んでいないので、変わらない。
		建設業（経営者）	・総選挙による政治の空白で景気回復や官庁関係工事の活性化も期待できないなか、今後も厳しい価格競争は続く予想される。
		輸送業（営業所長）	・年末には多少なりとも荷動きは良くなるが、一時的な動きで継続性はない。
		通信業（管理担当）	・年末商戦が激化するものの、政局の行方が不透明であり、劇的に快方へ向かうことはない。
		金融業（営業担当）	・原子力発電所の稼働反対の声があるなかで、今後の燃料費の変動による影響は大きくなる。受注が安定しない状態での燃料費の高騰が、景気を後退させる。
		広告代理店（営業担当）	・広告量でみると前年の水準はやや超えているが、それ以上の伸びがない。
		司法書士	・事件数、案件も少ないなかで、公共料金の値上げなど、良くなる要因が見当たらないので期待できない。
		経営コンサルタント	・電機業界及び電力業界で活動しているので、当面は好転するという見通しが立たない。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・現状以上の売行きは期待できない。市場を見渡すと多種多様なエコ対策の商材が目につくが、これらも増収効果にはつながらない。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（営業担当）	・総選挙の結果次第では良くなるかもしれないが、現状からすると変わらない。
やや悪くなる	食料品製造業（営業担当）	・年末年始の行事（クリスマス、正月）が終わった後、ここ数年1、2月は低迷状態が続いている。	
	繊維工業（総務担当）	・消費が伸びないと、売上や生産の増加につながってこない。	
	繊維工業（団体職員）	・法人需要が中心であるため、景気の低迷による影響が懸念される。	
	繊維工業（総務担当）	・取引先の様子から判断すると、販売量の減少傾向が続きそうである。この環境下で売上を維持するためには、利益率を下げても、値下げを行わざるを得ない状況である。	
	化学工業（管理担当）	・尖閣問題による中国向け輸出の減少、電機メーカーによる経営状態の回復遅れのほか、東日本大震災の復興需要に伴う受注もまだ出てこない。	
	金属製品製造業（管理担当）	・新規案件がなく、価格競争となっている。	
	一般機械器具製造業（経営者）	・取引先の投資計画をみると、既に縮小が行われているため、今後の受注は伸び悩む。	
	電気機械器具製造業（企画担当）	・良い兆しがみえない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		電気機械器具製造業（企画担当）	・年末年始に向けては、マンションや住宅の着工戸数や施設案件も大きく増えないと考えられ、家電系の商材についても成熟市場でコスト競争が激しくなる。
		建設業（経営者）	・これから12～2月は積雪の可能性があり、例年工事量は減少する。輸出関連企業のボーナスも厳しいようで、住宅受注は厳しくなると予想される。
		輸送業（営業担当）	・大手住宅設備メーカーの倉庫が閉鎖になり、荷物がかなり減った。中小の工場も今月は製造の動きが悪い。
		広告代理店（営業担当）	・総選挙以降の広告出稿の動きは、かなり不透明である。
		その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・今年も良くなる要素が何もなく終わりそうである。
	悪くなる	金属製品製造業（経営者）	・円高が収まらなければ、日本の中小ものづくり企業が壊滅する。
		電気機械器具製造業（経営者）	・大手企業が人減らしを進めている間は、心理的にも景気の回復は難しい。当社はますます海外での取引が増えているため、それをプラスにできなければ、今後の存続が危ぶまれることになる。
		不動産業（営業担当）	・尖閣問題で中国への輸出が少なくなり、日本の経済が悪くなってきている。将来的にまだまだこれから景気は悪くなる。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・受注ならびに電話や見積依頼が非常に少なくなってきており、実際の購買も少なくなっているため、今後は悪くなる。
		その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・景気が悪い。依然として回復しておらず、見通しが立たない。
雇用 関連 (近畿)	良くなる	—	—
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・11月に入り、年末や年度末に向けての動きが出てきている。ただ全体的な動きではなく、不動産関係、住宅関係などの特殊な業界に限った雇用である。
		人材派遣会社（営業担当）	・政権交代の可能性が高く、労働の規制緩和や円安、株高にシフトしていきそうだと感じる。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・どうなるかは分からないが、新政権への期待もあり、景気の状態は多少好転する。
		学校〔大学〕（就職担当）	・年末に向かって良くなるのではないかと期待している。
	変わらない	人材派遣会社（役員）	・年末に向けスポット的な要素（総選挙など）でのニーズはあるが、改正労働者派遣法の日雇い派遣の問題もあり、安定的な雇用者数の増加には結びつきにくい。しばらくは可もなく不可もない状態が続く。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・政府の新体制が落ち着き、安定するまで低迷状況は続く。
		民間職業紹介機関（職員）	・日雇い労働者の求人動向の最新調査では、関係会社の回答が今後「増える」と「減る」に大きく分かれており、全体では変化がない。
		民間職業紹介機関（大学担当）	・総選挙後の景気回復に期待している。半年後には良くなってほしい。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・短期間では状況の変化がない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・大手電機メーカーの先行きが不透明なため、雇用については期待しづらくなっているが、現在のところ大きな変化はみられない。
	やや悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・総選挙の結果次第で悪くなる。
		人材派遣会社（支店長）	・10月1日からの改正労働者派遣法の規制による影響が出てくる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・来年度は大規模再開発の開業が続くなどプラス要因があるが、一時的なものである。地元企業による出稿の動きも全く感じられない。
		職業安定所（職員）	・これまでは新規求人数の大幅な増加傾向が続いていたが、正社員求人には明らかに陰りがみられる。また、製造業においては、大手メーカーの業績悪化によって今後の受注の減少を懸念する声が多く聞かれる。さらに、近隣で大手メーカーの雇用調整が相次いで予定されていることなどから、今後、雇用情勢が悪化するのではないかと懸念を持っている。
職業安定所（職員）		・円高や中国問題もあり、先行きは引き続き不透明である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・円高、日中関係の悪化などで自動車関連が減産となっており、その影響を受けて雇用調整を検討している企業が見受けられる。
		民間職業紹介機関（支社長）	・景気の先行指標、遅行指標共に落ち始めている。
	悪くなる	—	—

## 8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (中国)	良くなる	通信会社（営業担当）	・12月から冬商戦が本格的に動き出すとともに、新生活を迎える学生の需要が2～3月に大きく上昇する。
	やや良くなる	百貨店（売場担当）	・閉店売りつくしの真っ盛りであり、多くの来客数がある。地域に1店舗だけの百貨店であり買いだめ需要は高い。
		スーパー（店長）	・12月16日の総選挙には興味津々であり、日本経済の回復予感もある。
		家電量販店（店長）	・2～3月には新生活準備で関連商品の販売量が増え、現状よりは売上、来客数とも良くなる。
		家電量販店（販売担当）	・年末商戦に向けて少し盛り上がる。
		乗用車販売店（業務担当）	・1～3月の大増販月を迎える。
		その他専門店〔ファッション雑貨〕（従業員）	・年末年始で帰省客があり集客や売上が期待できる。
		一般レストラン（経営者）	・政権次第で世の中の動きが良い方へ向かう。
		一般レストラン（経営者）	・政治情勢が落ち着き、客の将来不安からくる買い控えが解消されれば消費が上向きになる。また、これ以上の価格下落も落ち着くのではないかと期待している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・地元サッカーチームの優勝で、県内ではここ数か月飲食関係は良くなる。
		通信会社（総務担当）	・新商品の販売攻勢による需要増が見込める。
		通信会社（工事担当）	・繁忙時期を迎え状況が良くなる。
		テーマパーク（広報担当）	・冬のイルミネーションで地元客を中心ににぎわうことを期待する。県外からのツアー客も増加の見込みである。
		住宅販売会社（販売担当）	・総選挙の結果次第で株価や円相場が動くと思われる。工業系輸出企業が比較的多い地方なので、中国市場が落ち着けば多少の期待感がある。
	変わらない	商店街（代表者）	・中心市街地に位置する商店街では、現在のところ来客数や客の様子など良くなる要素が見当たらない。
		商店街（理事）	・良くはならず、政治不安が生活不安につながる。
		商店街（代表者）	・年末年始商戦が終われば変化はない。
		一般小売店〔酒店〕（経営者）	・年末年始にかけての購買意欲に変化はなく、売上は前年並みである。総選挙の結果によるメンタル面の改善を期待している。
		一般小売店〔酒店〕（経営者）	・年末商戦もあるが、総選挙が始まると景気が冷え込むのであまり強気になれない。新政権に代わればまた違ってくるかとは思ふ。
		百貨店（営業担当）	・景気が良くなる要因がみあたらない。円安・株高の傾向が継続するという確信を持たないと購買意欲には結び付かず、冬のボーナスが昨年より少ないとの報道もあり現段階ではマイナス要素の方が強い。
		百貨店（営業担当）	・必要なものを必要なときに買う傾向は続く。
		百貨店（販売促進担当）	・今後電力の値上げ、また総選挙本格化等も控えており、少なくとも消費にとってはプラス要因ではない。
		百貨店（購買担当）	・おせちやクリスマスケーキは順調に注文が入っているものの、その後の初売りなどのセール商戦でアパレル関係はセール商品を作らず在庫を割引販売する傾向にあり、商品が大量にない中でセール商戦を迎えることは厳しい。
		百貨店（電算担当）	・先月に比べ販売量が動き出している。雑貨、衣料品、貴金属、美術品等の売上回復の兆しがみえる。来客数は減少しているものの、売上は前年に比べ10%増加しており、一部の消費者が動き出してきている。
		百貨店（販売担当）	・福袋や冬物クリアランスなど近隣の大規模商業施設への客の流出が懸念される。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（営業推進担当）	・総選挙後若干変化があるかもしれないが、今のところ特段大きな変化が及ぶ要素は見当たらず、当面は今のままで推移する。
		スーパー（店長）	・景気判断をする材料がない。
		スーパー（店長）	・現状はしばらく続き政治不安で方向が定まらない。
		スーパー（店長）	・地元の基幹産業の低迷が続き、景気が好転する要素が見つからない。
		スーパー（店長）	・政治が変わってもすぐに変化することはない。
		スーパー（総務担当）	・安価で魅力のある商品については購買が上向きであるが、その他の伸びが少ない。
		スーパー（販売担当）	・販売点数、販売量に関しては若干回復の兆しが見られるものの、客単価及び客数については依然として低調であり、景気回復を予測できるまでには至っていない。
		スーパー（営業システム担当）	・クリスマスの予約が去年より遅い。料理とプレゼントの両方に金をかけるというのは今年は期待できないため、子供のいる世帯に対しての売込みが大事になってくる。
		コンビニ（エリア担当）	・年内は食パンを中心とした新製品が好調だったが、年明けが現状より良くなるかは不明である。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数の減少や単価ダウンは止まりつつある。
		コンビニ（副地域ブロック長）	・製造業の景気回復の目処が立たず、回復するにしてもしばらく時間がかかる。
		家電量販店（店長）	・ボーナス時期を迎えて太陽光関連の受注はあるが、取り付けが1～2か月先ということもあって販売量は増加しない。
		乗用車販売店（店長）	・新型車の投入で、各展示会も盛況で成約も前年に比べ5割増しで推移しているが、いつまで続くのか分からない。
		乗用車販売店（営業担当）	・相変わらず客の金銭面での要求は厳しく、今は金が使えない、先行きが不安だから今は出費したくないとの声が多く聞こえる。総選挙次第で変わると思えずとにかく不安の声が多い。
		乗用車販売店（店長）	・状況は変化しない。
		乗用車販売店（副店長）	・政府より革新的な政策が打ち出されない限り好転は望めない。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・大きく増加する要因は今のところ見当たらない。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	・年末なので売上増加を期待するが、年明けがどうなるか心配である。
		その他専門店〔海産物〕（経営者）	・悪くなることはあっても良くなる要素はない。総選挙があると観光は低調になるので、例年に比べると悪くなる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・政治不安や国際情勢など先行き不安の状況が続き、高単価品の購買にはまだまだ時間がかかる。総選挙やボーナスの支給状況で多少の変動が考えられる。
		高級レストラン（スタッフ）	・予約状況は例年並みだが先行きは見通せない。
		その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（支配人）	・客の動きが今のところ安定しておりこの状況が続く。
		観光型ホテル（スタッフ）	・トップシーズンではなくなるため来客数は減少するが、例年の同時期に比べ先行予約も多く、引き続き当方面の景気は良い。
		都市型ホテル（企画担当）	・総選挙の影響で流動が少なくなる。
		旅行代理店（経営者）	・総選挙の結果にもよるが、政治がストップした状況では景気回復は望めない。
		タクシー運転手	・総選挙の結果次第だが、政党が変わってもすぐに良くなるとは思えない。
		通信会社（社員）	・年末に向けて通信サービスへの新規問い合わせに変動がない。
		通信会社（企画担当）	・今年度最終四半期の見通しを立てるのは難しいが、特に下ぶれの要素もなく、現時点と変わらない状況で推移する。
		通信会社（通信事業担当）	・解約が加入を上回る状況に変化がなく、今後も続く。
		テーマパーク（管理担当）	・景気回復に期待が持てず、全体的に余暇に関しての動きが鈍い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他レジャー施設 (アミューズメント)	・集客力のある映画話題作の公開がしばらく続くため来客数増に期待が持て、これまでより好影響を受ける。ただ、娯楽への出費が抑えられている傾向は継続するため客単価増は期待できない。
		美容室(経営者)	・良くなる要素が見つからない。単価を上げて来店サイクルを短縮する以外にない。
		その他サービス〔介護サービス〕(介護サービス担当)	・ここ数か月身のまわりの景気に変化がみられないことから、よほどの事がない限り2～3か月で景気の変化するとは考えにくい。
		設計事務所(経営者)	・消費税増税等の押し上げ要因の効果がまだみえない。
		設計事務所(経営者)	・良くなる要素が全くない。規制撤廃が行われる時期が不透明である。
		設計事務所(経営者)	・12月総選挙の争点に景気対策があり、来年手を打つてくれると少しは期待しているが、すぐに目に見えて良くなるとは思えない。
		設計事務所(経営者)	・住宅に関しては、消費税増税前の駆け込み需要が増加することを期待しているが、政治が不安定な状況なので、今後どのように変化するか読めない。
		住宅販売会社(営業担当)	・時期的に冷え込むシーズンではあるが、諸条件から例年どおりと推測され、変動の見込みはない。
	やや悪くなる	商店街(代表者)	・政治がどうなるうとも景気が上向くことはない。経済の低迷などの閉塞感もあって先行きが見通せず、景気は良くならない。
		商店街(代表者)	・特に出入り業者の話にはかなりの信ぴょう性がある。以前は悪い話はなかなか聞けなかったが、近ごろは良い話も皆無に近い。
		商店街(代表者)	・12月は多少持ち直すが、1～2月は行事が少なく天候も悪いので観光客数の増加に期待はできない。
		商店街(代表者)	・日本国内においては政治の混迷が終わり、景気の改善を願うが、まだまだ世界の経済・景気状況は欧州を含め厳しい状況が依然として続く。
		一般小売店〔茶〕(経営者)	・総選挙がある月は物が動かず来月は売上が悪い。
		一般小売店〔印章〕(経営者)	・会社関係の印鑑、名刺の注文が減少している。
		一般小売店〔紙類〕(経営者)	・旅行者が減少し売上に影響が出る。
		百貨店(営業担当)	・セールが長期化傾向のなか、年末年始のセールの分散化が懸念される。また、年明けの曜日まわりとして3連休が1週ずれるため、冬休み期間が短縮されてしまうこともマイナス要素となる。
		百貨店(売場担当)	・ラグジュアリーブランドや高額品の売れ方に不安定なところがある。早期クリアランスの流れは例年と変わらず、価格志向の買い方が相変わらず強い。
		スーパー(業務開発担当)	・来客数は変わらないものの、買上点数、単価がともに低下しているため一層苦しくなる。
		スーパー(販売担当)	・歳暮単価が低下し、他店スーパーが元日から営業することが定着して年末に買いだめすることがない。
		スーパー(管理担当)	・年末に向け消費量は上がるが、客は安さを求めディスカウント店に流れ、来客数の減少傾向は続く。
		コンビニ(エリア担当)	・客の財布のひもは固く、客単価と来客数が伸び悩んでいる上に、クリスマスケーキの予約も厳しく売上増加は期待できない。
		衣料品専門店(経営者)	・景気が良くなる要素が見当たらない。
		衣料品専門店(経営者)	・世の中の雰囲気低迷気味で消費者の購買意欲が低くなっている。
		衣料品専門店(地域ブロック長)	・衣料品に関しては景気に左右される部分が大きく、先行きは厳しい。
		衣料品専門店(地域ブロック長)	・来客数が減少し、競合他店の動きも悪く、単価は下がっているため買上点数が増加しても景気は良くならない。
		家電量販店(店長)	・年末年始は最需要期であるが、けん引する商品が見当たらず苦戦が予想される。
		家電量販店(企画担当)	・ヒット商品の発売や1人暮らし需要に期待はしたいが、好転する雰囲気がない。
		乗用車販売店(統括)	・販売量でみると前年比で10月は90%、11月は75%と厳しさが増している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住関連専門店（営業担当）	・特別販売セールが終了したら来客数は減少する。
		その他専門店〔布地〕（経営者）	・政治が安定すれば景気は改善され、不安定なら回復は遅れる。
		一般レストラン（エリア担当）	・年始に向け同業他社も宴会メニューの価格を下げきており、厳しい状況は続く。
		一般レストラン（外食事業担当）	・電気料金の値上げもあり、家庭内消費で外食は最初に削減される。
		スナック（経営者）	・年末は例年通りであれば売上・来客数とも少し良くなるはずであるが、今年は総選挙があるので売上が見込めない。毎回選挙のときは飲食業の売上は必ず悪くなる。
		観光型ホテル（支配人）	・現段階で12月末までの宿泊、宴会予約は順調であるが、1～2月の入込状況は概して良くはない。12月16日の総選挙も飲食業にとってはマイナス要因である。
		都市型ホテル（総支配人）	・宴会等が多忙期の12月に総選挙が予定されており、それにより飲食・宿泊ともに収入面で打撃を受ける。
		都市型ホテル（企画担当）	・年末年始は販売需要が低下する。
		タクシー運転手	・総選挙があるので夜の客が減る。
		タクシー運転手	・総選挙後も良くなることはない。
		通信会社（営業担当）	・スマートフォンの普及によりインターネットだけでなく放送サービスも客離れが進んでいる。
		通信会社（広報担当）	・何もかもが不透明で、消費を含めた経済全体が明るくなるのが想像できない。将来に備えて貯蓄に回す客が多くなる。
		テーマパーク（業務担当）	・集客効果が強い冬季イルミネーションイベントの終了後は閑散期に入ることから来園者数が落ち込むが、今年は特に節約志向が進むとともに行楽に対する意欲が減衰し、来園者数の落ち込みが例年を上回る懸念がある。
		ゴルフ場（営業担当）	・長期予報では雨、雪が多く寒くなるため、例年と比べ少し予約が少ない。
住宅販売会社（従業員）	・消費税問題はあるが、客の不安が受注量、受注金額等にも出てきている。		
悪くなる		スーパー（店長）	・デフレで食料品の価格は下がる一方で、それでも売れない状況が続く。
		スーパー（財務担当）	・景気の悪化による所得の減少により、ますます低価格志向が強まり客単価が下落する。
		自動車備品販売店（経営者）	・良くなる要素が何もない。政治には期待できず、大企業は自分のことだけで、値上しておきながら空前の利益を上げる会社もある。末端はそのツケを払わされ、利益額が激しく低下し、企業倫理もモラルもない。
		自動車備品販売店（経営者）	・年明けは閑散期となり、総選挙後なのでさらに悪化する。
		競艇場（職員）	・正月に開催するレースで収益が見込めるが、11月ほどの売上は期待できない。
		美容室（経営者）	・今月の売上の落ち込みが激しいので、良くなる傾向はない。
		美容室（経営者）	・ボーナス時期と年末年始に向けて来客数は期待できるが、それを過ぎると客の財布のひもは固くなって客足は遠のく。
企業動向関連 (中国)	良くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・新車の立ち上がりがあり今後も忙しくなる。
	やや良くなる	繊維工業（統括担当）	・総選挙後に期待している。
		金融業（自動車担当）	・自動車部品メーカー各社は、新型のクリーンディーゼル車の生産計画を上回る受注が来ていることから、当面は土曜出勤を含めた高水準の操業が続く。コスト削減も進んでおり、収益面の回復が期待できる。
		不動産業（総務担当）	・12月は変わらないが、1月からは賃貸物件の需要時期であるため良くなる。
		会計事務所（職員）	・全体的に閉塞感のある状態だが、年末になると小売販売業はある程度活気づき、例年どおりの数字は見込める。また、一部大手製造業の下請業者の中には消費税の値上げによる駆け込み需要を見込んでの動きを期待する動きもある。
変わらない		食料品製造業（総務担当）	・通信販売など自社で取り扱っている商品の販売方法をいろいろ考えればいい方向に向かう。
		木材木製品製造業（経理担当）	・総選挙の景気への反映による。
		化学工業（総務担当）	・現時点で経済環境が大きく好転する事は考えにくい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・年末年始対応を含めても生産量の増加は見込めない。受注済みの工事案件の工事進行で生産は多少上向き可能性はある。
		鉄鋼業（総務担当）	・現状以上に景気減退の動きはなく、一過性かどうかの判断は難しいが為替等は良化傾向である。
		非鉄金属製造業（経理担当）	・製品によって明暗が分かれる状況であるが、いずれも景気が反転するような要素が見当たらない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・円安になれば上向きになる可能性がある。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・新製品効果が下げ止まりを支える。
		輸送業（業務担当）	・現状が上向きになる要素が見当たらない。
		通信業（営業企画担当）	・この時期例年であれば客との商談の際、ボーナス需給時の話題が多いが、今年は個人購入に関する話題が出てきていない。
		通信業（営業担当）	・年末、年度末の季節変動によるトレンド程度の受注見込みは期待できるが、相変わらず客の設備投資の抑制傾向がみられることから、例年以上の伸びは期待できない。
		金融業（営業担当）	・総選挙もあり、かなりの取引先が政権交代等による景気刺激策への期待を持っている。ただし、一定の景気刺激策が打ち出されても、当地への経済的効果の波及には時間がかかり、今後3か月は景気に大きな変動はない。
		広告代理店（営業担当）	・年末に向け受注減少になる傾向であり悪い状況が続く。なお、年末年始の販売商戦での回復が若干見込める部分もあるが厳しい状況である。
		コピーサービス業（管理担当）	・総選挙後に景気の変化は期待できない。企業に元気が出なければ我々の業界は業績に結び付かず、新しい付加価値を探索し他業種への販路開拓が必須条件である。
やや悪くなる		食料品製造業（総務担当）	・良い要因より悪い要因の方が多い。
		化学工業（経営者）	・当社業況に影響の大きい自動車関連業者の受注の下方修正が目立つようになってきている。
		鉄鋼業（総務担当）	・中国経済の減速、欧州の金融・財政危機が依然深刻で、需要増の手ごたえが今後も期待できない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・デフレからの脱却、消費意欲を掻き立てるような政策が現政権では期待できない。政権が変わらないなかで新たな設備投資等は考えられない。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・受注量の減少傾向がみられるとともに、直近の工事量の確保が難しくなっている。
		建設業（経営者）	・購買ムードが悪く更に下がっていく。
		建設業（総務担当）	・新規の目ぼしい物件が見当たらないが、技術者不足という現状では強気な営業が難しくなっている。
		輸送業（総務担当）	・客からの情報に良いものがない。
悪くなる		農林水産業（従業者）	・10月は全魚種が前年割れで当漁港は深刻な状況が続いており、12～2月は沖に出ることが減少するので水揚げ量は期待できない。
		金属製品製造業（総務担当）	・日中間の関係悪化の影響を受けて輸出企業からの受注は低迷する見込みである。来年4月を前に得意先から価格協力要請があると思われる。量が少なくなる上に単価まで下がるとかなり厳しい。先行きが好転する兆しがなければ、組織体制の見直しも検討しなければならず危機感を感じている。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きが引き続き低調となる。
		その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	・景気の冷え込みから建設業や販売業は厳しさが続いている。
雇用関連 (中国)	良くなる	—	—
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（広告担当）	・4月に向けて年末から中途採用などの補充が行われる可能性がある。
		民間職業紹介機関（人材紹介担当）	・今回の総選挙は、現実的に経済回復に期待できる政党への支持が集まり、その後の株価も上がると予想する。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・今後の衆院選の結果によって判断が変わるが、現状で上向き下向きの判断材料がない。
		人材派遣会社（営業担当）	・製造業が多い当地域において、製造業からの求人依頼が増えてこないと景気は良くならないが、現時点で2～3か月先の増員等の話はあまり出しておらず横ばいである。
		人材派遣会社（支社長）	・政権交代による影響がどの程度出るかによる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		求人情報誌製作会社（採用支援担当）	・リーマンショック後、採用を減らしすぎた反動もあるため、しばらく大きくは落ち込まない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・売上高の減少に悩む事業所が多く、年の瀬に向かって厳しいという声のオンパレードになりかねない。
		職業安定所（産業雇用情報担当）	・求人数の増加はあるものの、臨時やパートなどの非正規求人によるものである。
		民間職業紹介機関（職員）	・株価上昇、円安傾向等の情勢から、今後の景気は上昇すると思われるが、新政権となった場合に市場が織込み通りの反応を示すか分からないことから、景気浮上との予測もつけない。
		学校〔短期大学〕（学生支援担当）	・変化の兆しが見当たらない。
		その他雇用の動向を把握できる者〔労働機関〕（職員）	・来春の新規学卒求人は、件数が前年を上回ったが募集人数が絞られているため全体では低水準で推移している。新たな企業誘致の大量採用の話もあるが、来年・再来年以降のことであり、現在の求人には結び付いていない。
やや悪くなる		人材派遣会社（営業担当）	・政治や世の中全体の先行き不透明感から先行きが不安である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・エコカー補助金の終了に伴い自動車販売量が減少するとともに、日中関係の冷え込みなどで輸出が景気回復のけん引役になれそうにない。
		職業安定所（雇用開発担当）	・新規求人の伸びが前年同月に比べ2けたの増加だったが、最近では1けたとなっている。今後もこの状況が続くとともに、製造業からの求人が前年同月比マイナスとなっている。
		職業安定所（産業雇用情報担当）	・管内外の事業所が人員整理や店舗閉鎖を行うので、求人倍率が1倍を超えていても景気は良くならない。
悪くなる		—	—

#### 9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (四国)	良くなる	—	—
	やや良くなる	商店街（事務局長）	・円安や株価上昇により景気回復に期待が持て、消費は活性化すると考えている。
		衣料品専門店（経営者）	・今冬は寒くなると予想され、加えて、大型ショッピングセンター出店から1年経過したこともあって、売上が上向くのではないかと期待している。
		乗用車販売店（営業担当）	・年を越せば、春の需要期を迎え新型車も出ることで良くなることを期待しているが、今年を上回る程では無いと思われる。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・年末は一番よく売れる月なので、やや良くなると予想する。
		観光型旅館（経営者）	・多少、円安株高の傾向になっており、この傾向が続けば良くなると期待している。
		通信会社（営業担当）	・他社との競争の先行きが不透明ではあるものの、新商品ラインナップによる販売拡大に期待できる。
		設計事務所（所長）	・震災復興の需要で、建設関係の職員が不足しており、人件費が上昇していくため、やや良くなると予想する。
	変わらない	商店街（代表者）	・今後は冬物商戦、年末年始のバーゲン、初売り等々がある。総選挙もあり少し不安定な要素があるものの、政局は安定のほうに向かい、消費マインドが少し上がるのではないかと思う。
		スーパー（店長）	・景気が好転する要素が見当たらない。
		スーパー（企画担当）	・年末商材は、おせちやクリスマスケーキなどの内食の動きが良くなっているが、数の子など不足気味の商材も出ている。
		コンビニ（店長）	・全くわからない。
		コンビニ（商品担当）	・消費者の可処分所得の改善が見られないため、1人当たりの買上点数等の更なる減少が予想され、景気の高揚はなかなか期待できない。
衣料品専門店（経営者）		・政治・経済の先行き不透明感が続き、変わらないと予想する。	
乗用車販売店（従業員）	・エコカー補助金終了の反動が今後1～2年間は続くと思われるので、自動車業界にとって来年は非常に厳しい年となる事が予想される。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		乗用車販売店（従業員）	・年末商戦を前に新型車もなく、話題に乏しいのが現状である。既存ユーザーの買換え以外に需要がなく、良くなっていない。	
		乗用車販売店（役員）	・10月以降はエコカー補助金が無くなり、新車登録は前年より悪くなっているが、予想したよりは落ち込みが少ない。自動車業界も12月に入りモデルチェンジ等々の投入があるので、期待をしている。	
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・政治が混迷し、変わらないと予想する。	
		タクシー運転手	・例年、11月半ばになると忘年会が始まるが、今年はあまり遭遇しない。建設関係が良くならないと、人も物も動かないという現状があり、変わらないと判断する。	
		通信会社（営業担当）	・新商品の市場投入により販売数の伸びが期待できるものの、前年等と比較して数値が大きく動く要素には乏しく、季節変動による伸びに留まると想定される。	
		通信会社（企画）	・現状はやや下向きと思われるが、年末から来春にかけては季節要因で多少好転するため、現状維持になるのではないかと。	
		観光名所（職員）	・来客数が増える要素が特にないため、変わらないと予想する。	
		ゴルフ場（従業員）	・予約状況が、昨年同様悪いため、変わらないと予想する。	
		競艇場（職員）	・12月の賞金王レース、1月の正月レースと年末年始にかけて、売上増を見込んでいるが、あまり期待が持てない。	
		美容室（経営者）	・総選挙の結果にもよるが、景気回復の兆しが第三次産業まで行き渡るまでのタイムラグがあるので、まだまだしばらくは厳しい状況が続くと思う。	
		設計事務所（職員）	・第4四半期末の納期に向けて、安定的に販売量が維持できることから、変わらないと判断する。	
		住宅販売会社（従業員）	・消費税増税前の駆け込み需要につながるような商談は増えていないので、変わらないと予想する。	
		やや悪くなる	商店街（代表者）	・政局が安定しなければ、政策の実行が遅れ、やや悪くなると予想する。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・年末年始には人出を期待しているが、年末の曜日配列から繁華街の人出が分散して少なくなると予想する。クリスマスなどの予約は今のところ少なめである。	
	百貨店（総務担当）	・総選挙期間中は歳暮ギフトの動きがやや悪くなる。		
	百貨店（営業担当）	・12月には総選挙が行われ、政治が安定しないため、やや悪くなると予想する。		
	スーパー（店長）	・総選挙の結果によるが、おそらく消費税増税は間違いないと思うので、今後影響が出てくると予想される。		
	スーパー（統括担当）	・客単価の下落が続いており、やや悪くなると予想する。		
	スーパー（財務担当）	・二年後に迫る消費税増税の影響を次期政権がどこまで経済・金融政策ではねのけるかにかかっている。まずは12月の消費動向に期待している。		
	コンビニ（総務）	・3か月前よりも10月の方が客数の前年比が悪化している。売上の底打ち感はなく、この傾向はまだ継続すると思われる。		
	衣料品専門店（経営者）	・消費税増税が控えており、電気料金等の公共料金も値上がりが見込まれ、やや悪くなると予想する。		
衣料品専門店（総務担当）	・11月は好調だが、9、10月が低調であった反動であると考えており、決して景気が上向いているとはいえない。今後は前年の水準に戻ると考えている。			
乗用車販売店（従業員）	・エコカー補助金終了に伴い、少しずつ販売量が減少している。			
都市型ホテル（経営者）	・予約状況が悪い。加えて、今回の総選挙の影響がかなりあると思われ、やや悪くなると予想する。日本経済の立て直しに向かって行くかどうか不透明であり、ますます混迷するのではないかと考える。			
旅行代理店（支店長）	・円安傾向と長引く尖閣問題の影響で海外旅行の需要が落ち込み、また総選挙を控え、全体的に旅行を手控える恐れがある。			
美容室（経営者）	・具体的な対策を考えないと悪くなると予想している。			
悪くなる	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・忘年会シーズンだが総選挙も控えており、先の見えない状況では財布のひもは固くなる一方だろう。		
住関連専門店（経営者）	・中国問題で輸出が低調に推移していることや景気が悪化するというマスコミ報道、加えて、原子力発電所の問題も続いており、悪くなると予想する。			

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・冬はお遍路の仕事がほとんどなくなるので現状よりも相当に落ち込むことは目に見えている。総選挙で政権が交代したとしても、極端に景気が上向くような気はしない。
企業 動向 関連  (四国)	良くなる	一般機械器具製造業 (経理担当)	・円安傾向が続けば海外での売上が期待できるため、良くなるかと判断する。
	やや良くなる	食料品製造業(商品統括)	・中国・韓国との関係は冷え込んだままだが、他国へのリスクヘッジが明確になりつつあり、安心感が出てくると思うので、やや良くなるかと予想する。
		広告代理店(経営者)	・西日本に関して言えば、多少明るい兆しが見えている。
	変わらない	繊維工業(経営者)	・市場全体にデフレ感が漂い、消費が悪いようである。大手企業、地域産業にも明るさが見えず、消費者の購入意欲がみられない。
		木材木製品製造業(経営者)	・雪国で雪が相当降れば、景気は更に落ち込むと予想される。4月以降は若干、復興需要も出てきて景気は上向くと思われる。ただ円安がどの程度響いてくるかが問題となる。
		電気機械器具製造業(経営者)	・売上は太陽光関連で確保できているが、大手の機械を納入・設計する仕事は大変景気が悪いいため、変わらないと予想する。
		電気機械器具製造業(経理担当)	・国内外ともに受注量、価格変動が見受けられる。今年度の販売については大きな変化はないと予想しているが、為替が円安方向に動いているので、若干の収益改善に期待感はある。
		建設業(経営者)	・総選挙後の新政権に期待するも、2、3か月では効果が上がらない。
		建設業(総務担当)	・見積件数は増加しているが、適正利潤がとれる落札はほとんどない。
		輸送業(支店長)	・25年3月までは公共投資による取扱量が決定しているため、変わらないと予想する。
		通信業(部長)	・先行きの不安感が払しょくされない限り状況は変わらない。
		広告代理店(経営者)	・長期にわたる消費低迷により得意先の広告費削減が続いており、更に広告受注のため同業他社との価格競争も厳しくなっている。またエコカー補助金が終了し、自動車関連の広告費も削減されているため、今後もあまり変わらない予想である。
		やや悪くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業(経営者)
	輸送業(経営者)		・総選挙の結果によると思うが、財政基盤の健全化ではない消費税の増税では良くなるはずがない。
輸送業(営業)	・一般消費の低迷による取扱物量低下に加え、数か月にわたる同業他社の運賃値引き攻勢が企業の運営に更なる拍車をかけている状況であり、輸送業にとっては依然として厳しい状況が続くと見ている。		
金融業(融資担当)	・良くなる材料が見当たらず、消費マインドの冷え込みが懸念されるため、やや悪くなるかと予想する。		
公認会計士	・中小企業金融円滑化法が来年3月末で終了することに伴い、企業の倒産、あるいは連鎖倒産等を非常に心配している経営者が多い。設備投資には非常に消極的であることから景気はやや悪い方向に進んでいるのではないかと危惧している。		
悪くなる	鉄鋼業(総務部長)	・ドル円相場が90円台に戻らなければ、景気回復は期待できない。	
雇用 関連  (四国)	良くなる	—	—
	やや良くなる	—	—
	変わらない	人材派遣会社(営業担当)	・為替相場などの影響により企業の製造コストの変動が激しい中、現状と変わらないと予想する。
		人材派遣会社(営業)	・年末年始の商戦に向けて企業は季節雇用の人材確保を強化していくが、世間の景気、冬季賞与状況によって消費意欲が向上するか不透明。また、この総選挙の影響による増税施策の行方もしばらく警戒しながら、大きな景気回復は見込めない状況であると考え。
職業安定所(職員)		・月間有効求人倍率は、前月より、0.06ポイント上昇しているが、パート、臨時など短期的な求人の増加が顕著なためであり、変わらないと予想する。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		学校〔大学〕（就職担当）	・求人数は減少してきており、今後の採用の見通しがたたない。全国平均と比べて四国の内定率は低く、昨年より悪化している学科もある。
	やや悪くなる	求人情報誌（営業）	・周辺企業の雇用状況では、現在の雇用状況悪化のトレンドを回復する材料が見当たらない。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・例年、年末時期は求人数が減少するため、本年も同様に減少すると予想される。
		職業安定所（職員）	・12月以降も数社で50人を超える人員整理の情報がある。
		職業安定所（職員）	・長引く円高や日中関係の悪化などにより、国内景気は後退している。
		民間職業紹介機関（所長）	・毎日企業を訪問しているが、企業側に高揚感というのが最近希薄になっているように思われ、やや悪くなると予想する。
	悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・復興特別所得税が1月から、また、電気料金の値上げも予想され、生活防衛に走る環境が整ってきている。総選挙が終わり新政府においても安定した政局運営を望むべくもなく、消費が上向くとは思えない。

## 10. 九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計動向 関連 (九州)	良くなる	住宅販売会社（代表）	・2、3か月先の景気は良くなる。消費税増税が大きな要因となっている。	
	やや良くなる	商店街（代表者）	・これから歳末にかけて年末商戦が盛んになるため、購買動向もやや上向きの傾向となる。	
		一般小売店〔精肉〕（店員）	・今年の冬は寒くなるとのことで、店頭販売、通信販売共に好調を維持する。	
		百貨店（販売促進担当）	・本年も元旦より営業し、クリアランスも同時開催のため、多くの来店が見込まれる。	
		スーパー（売場担当）	・年末商材が好調に売れており、昨年より商品の在庫も確保できている。	
		コンビニ（店長）	・年末年始でお金が動く時期のピークは過ぎるが、今よりは良くなっている。	
		コンビニ（エリア担当・店長）	・年末年始の予約から、少しは景気が回復しているようだ。1、2か月先は前年より販売数、客単価共に伸びる。	
		衣料品専門店（経営者）	・先月、今月がどん底なので、それよりは良くなる。	
		家電量販店（従業員）	・ボーナス時期と年末年始に買換えが増える。	
		乗用車販売店（総務担当）	・毎年1月から2月にかけて新車、中古車販売の繁忙期となる。新年を迎え、気分も新たになることから車両販売の復調が期待される。	
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・例年、年末に入りお歳暮等の進物ギフト関係が出るが、今年は若干その動きが早い。既存の客には前もって注文をいただき、売上はある程度確保している。	
		通信会社（販売部）	・12月までに新商品が出そうため、景気はやや良くなる。	
		通信会社（総務局）	・販売施策の効果に期待ができ、今後景気は良くなる。	
		美容室（経営者）	・年末年始は非常に商売が動く時期であり、人の購買意欲が増す時であるので、景気は少し上向きになる。ただ、今の状態が続くと、その購買意欲もやや良くなる程度であり、総選挙という懸念材料は残る。	
		設計事務所（代表）	・消費税増税前の駆け込み需要がある。	
		変わらない	商店街（代表者）	・商店街全体の閉店率が、今年1年をみて変わらない。この2、3か月先も変わらない。これらの閉店している店が稼働してくれば、少しは良くなる。
			商店街（代表者）	・景気が良くなるかと思えば突然悪くなったり、安定していない。今から先はもっと寒い季節になり、需要が増える時期であるが、景気はあまり変わらない。
			商店街（代表者）	・総決算時期であるが、あまり期待はできず、仕入れをかなり控えている。また12月でかなりお金を使い、その後、客の財布のひもは固くなる。
			商店街（代表者）	・年末までは、現状通り売上が上がるが、1月に入ると間違いなく減少する。客からの声を聞いても、郊外のスーパー等にわざわざ買物に行っているという声を聞く。やはり、現在の消費者は質より金額を重要視している。
			商店街（代表者）	・総選挙後、的確な経済対策を打たないといけない。打ったとしても景気はすぐには上向かない。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔鮮魚〕 (店員)	・正月明けはいつも売れないが、年末にどれだけ売れるのか大変不安である。今の状況は大変悪い。少しは好転してくれると良い。
		一般小売店〔生花〕 (経営者)	・夏から秋、晩秋の11月でこの状態であり、新しい販売、販路をみつけないことには、良くならない。3月になれば少しは良くなるかもしれないが、その分、仕入れも高くなるので、不安である。
		一般小売店〔茶〕(販売・事務)	・景気がすぐに好転するわけではなく、現状維持をしていくことがやっつとである。事務所用の販売も会社自体の経費削減で、かなりの影響を受けているため、期待できない。
		百貨店(売場主任)	・久しぶりに総選挙があり、ウォームビズもあまり盛り上がりせず、消費を浮揚させるものが見当たらない。ただ気温は順調に下がっており、防寒衣料、雑貨の動きは堅調なので現状維持はできる。
		百貨店(総務担当)	・総選挙が12月に行われるため、先行きが見通せないで判断しにくい。
		百貨店(営業担当)	・総選挙の公示を控えて、30~40万人の商圈では、特にお歳暮ギフトの苦戦が予想される。また今月の客の動きをみると、来客数の減少が顕著で、この状況が今後も続く。
		百貨店(営業担当)	・月末、お歳暮商戦がスタートし、店外受注のゆうパックが受注を開始し、システム変更をしたにもかかわらず、受注件数、配達件数は好調に推移している。また、通販ギフトも順調な出足をみせている。店頭ギフトセンターは天候や降灰の影響もあり、客の引きが早い。お歳暮ギフトやクリスマス、年始商材と好条件が続くが、詳細な検討と慎重な購買姿勢は依然続く。
		百貨店(営業担当)	・総選挙後、現状よりも少しは良くなるのではないかという期待から、現状維持もしくは少し改善する。グローバルな視点からみると為替の問題もあり、楽観視はできない。
		百貨店(売場担当)	・昨年当店では12月は前年比11.6%増、1月が前年比8.6%増、2月が6.4%増となり、競合店の閉鎖でかなり伸びた。そういったものを鑑みて、今年は数字的には厳しくなる。天候要因がかなり影響し、衣料品関係は気温が下がるとかなり動くため、そこが鍵となる。他店、市況については、先行きが悪いということは、あまり聞かない。
		百貨店(企画)	・夏のクリアランス商戦同様にスタート期日にバラツキが予測され、イベント感が希薄になり、購買動機が低下することが予測される。
		百貨店(営業統括)	・12月はイベントや催事を増やす計画だが、総選挙によるギフト売上の減少が予想される。
		百貨店(営業政策担当)	・消費者の最大の関心事である12月総選挙の結果によるところが大きい。新興勢力の台頭に対する期待感もうかがえるものの、政党の乱立や勢力図の不透明感に対する不安もあり、現時点では景気にどのように作用するか分らない。
		百貨店(業務担当)	・年末商戦を控えている大事な時期に、総選挙となった。選挙関連で贈答品、ギフトは厳しくなることが予想される。
		百貨店(店舗事業計画部)	・大手製造業の業績悪化に加え、政治動向や経済政策の動向が不安定なため、消費には慎重になる傾向が続く。
		スーパー(店長)	・競合店の出店により、この1年間ずっと厳しい状況が続いている。年末も、競合店の動き次第ではあるが、厳しいと予想される。総選挙があるので、選挙需要を見込んでいるが、全体的には厳しい状況で推移する。
		スーパー(店長)	・現状のままではおそらく悪くなるが、政権が変わって景気対策をもし打つことができれば、変化も期待できる。
		スーパー(総務担当)	・競合他社は色々な手法で商品価格の引下げに取り組んでおり、低価格による客の獲得に努めている。今後も消費者の価格に対する意識は敏感になり、薄利な価格競争が続く。
		スーパー(経理担当)	・前年の年末は東日本大震災の影響で家食、家族の絆という意識が働き、売上が良かったため、不安材料は残る。
		スーパー(業務担当)	・客の個人消費に対する姿勢は以前よりも余裕が感じられるが、年末年始の勝負商品の動向を見極めないと結論が出しにくい状況である。季節商材のバーゲンも低調なスタートになっているので、現状では具体的な好調与件が見当たらない。
		コンビニ(経営者)	・我々の業界は良くなる材料が全く見当たらず、このままの悪い状況が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（店長）	・商店街の工事期間に離れた客足を呼び戻すにはしばらく時間がかかる。しかも12月商戦期に行われる総選挙の影響も受け、年末商戦が盛り上がらない。
		衣料品専門店（店員）	・客の来店頻度がどんどん下がっている。今後も厳しい状況が続く。
		衣料品専門店（取締役）	・政局が非常に不安定で、消費税や社会保障問題等何をとっても良い材料がない。こういう状況で3か月後、景気が良くなるということはまずない。非常に危機的状況だが、気候に助けられながら、冬物を1点でも売っていきたいという心情である。
		衣料品専門店（チーフ）	・11月の後半から12月の中旬にかけて、セール前の買い控えにより、売上は厳しい状況である。バーゲンが始まると軒並み売上は回復する。
		家電量販店（企画・IR担当）	・年末に向け、調理家電を中心とした白物家電やスマートフォン、タブレット型パソコンの売上が伸びると予想されるが、年明けは落ち着いてくる。
		乗用車販売店（従業員）	・客にとってメリットとなる新車が出る予定がない。
		住関連専門店（経営者）	・衆議院の解散、総選挙がよいよスタートし、どの政党も景気対策を打ち出すが、今の冷え込んだ景気を回復させるのは簡単ではない。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・燃料油の小売価格の変動は不透明な部分があり、現在、下げの基調である。2～3か月後の燃料油の小売価格は予想がつかない。給油所に来店する客の様子をうかがうと、賞与支給予定金額が芳しくないとの声を聞く。消費マインドが少し冷えており、厳しい状況が続く。
		その他専門店〔書籍〕（代表）	・総選挙の結果次第だが、その変化は不透明である。
		その他専門店〔書籍〕（地区支配人）	・消費者の購買傾向が増加に転じておらず、前年並みを維持できれば良いという程度である。増収に向けた大きな転機があれば別であるが、そのような気配がない。
		その他小売の動向を把握できる者〔土産卸売〕（従業員）	・他の販売店の方に話を聞いても当社同様、今年は非常に客の動きが悪い。
		観光型ホテル（スタッフ）	・総選挙があるため、飲食に関する集まりが少なくなる。
		観光型ホテル（専務）	・今後、景気が良くなる要因が何も見当たらない。
		旅行代理店（従業員）	・年末年始は長期の休みが取りやすい日並びでもあり、海外リゾートを中心に予約は好調である。反面国内旅行は、昨年に比べて、やや低調である。
		タクシー運転手	・忘年会のシーズンで、予約が少しずつ入っている。また、泊まりの忘年会予約も少しずつ入っている。若干動きが出てきており、来月は良くなる。
		通信会社（管理担当）	・債権回収がうまくいっておらず、厳しい状況が続く。
		通信会社（企画担当）	・販売促進施策をより手厚くしたことによる効果が見込めるが、その効果以上の販売量の増加は期待できない。
		通信会社（営業担当）	・中国の尖閣問題や総選挙が始まる前の各党の経済政策等をみても、景気がなかなか一気に回復する見込みはない。
		通信会社（業務担当）	・12月は新商品の発売もあり、スマートフォンの話題性が高まり、販売も伸びを期待したい。しかし、他社製品との競争で販売数は今月同様、例年を下回ると予想される。
		理容室（経営者）	・来月は正月前であり、唯一、1年のなかで期待できる月である。ただ年明け1、2月は年間でも11月に次ぐ暇な時期になってしまうので、現状のままでは景気は悪くなる。
		美容室（店長）	・客は自分の生活で一杯で余裕がない様子である。先行きも不透明である。
		設計事務所（所長）	・受注案件数がほとんど変わらないので、将来的にも変わらない。
		住宅販売会社（従業員）	・次期政権の経済対策がまだ分からないため、先行きは不透明である。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・無駄遣いをしないという傾向が客の会話から感じられる。消費意欲をどう掻き立てるか、客に対しての対策を商店街も早急に取り組む必要がある。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・世の中の景気や中国に対する輸出、政治の不安定等、購買心に繋がるプラス材料が少なく、かなり厳しい状況が続く。
		スーパー（経営者）	・国全体の不安定さと大型企業のリストラ、また消費税増税、海外との摩擦等、不安定要素が多い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・年末年始を迎えるが、ギフトの市場自体が非常に縮小していることに加え、景気はまだまだ本調子ではない。また例年、年明けには非常に節約、儉約意識が高まるが、来年はそれが更に強まることが予測される。昨年は閏年だったということもあり、数字的にも年明けは厳しいものがある。
		スーパー（店長）	・今の状態から近い将来を予測すると楽観できない状況にある。
		コンビニ（エリア担当）	・電気料金の値上げが決まり、一般消費者の可処分所得が下がり、需要は下がる。また、店の電気料金等の公共料金が大きくアップすることで、固定経費が上がり、厳しい経営をせざるを得ない。今後も厳しい状況がずっと続く。
		衣料品専門店（総務担当）	・やや持ち直したとはいえ、現在の円高、株安のなかで、景気に対する悲観論が出ており、中間層の購買意欲が極端に低下している。今後もしばらくは厳しい状況が続く。
		家電量販店（店員）	・家電の中に売上増をけん引する商品がなく、テレビの需要回復には時間がかかる。客の買い控えもあり、景気はやや悪くなる。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・総選挙時期及び結果に、景気は左右される。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・政治が不透明であり、電気料金値上げ等家計がひっ迫する案件が近い将来ある。厳しい状況が続く。
		高級レストラン（支配人）	・例年の繁忙期とは少し消費者の動向が違う。今後、景気は悪くなる。
		高級レストラン（専務）	・消費税増税等経済的、政治的にもいろいろな問題が出てくるため、来年の景気はすごく悪くなるのではと不安である。
		居酒屋（経営者）	・周りの同業種の店舗や取引先の話聞いてみても、先行きの不安が大きい。
		観光ホテル（総務）	・売上予測が好ましくなく、厳しい状況が続く。
		都市型ホテル（販売担当）	・先行きが見通せず、景気は低迷している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・予約状況は前年比13%減で推移しており、昨年あった大型案件もなく、予約の動きも鈍い。
		都市型ホテル（副支配人）	・インバウンドが非常に減っており、経済の不安定や総選挙の影響があり、見通しがつかない。
		タクシー運転手	・歓楽街に動きがない。皆の財布のひもが固くなっているのので、今後もあまり期待できない。ボーナスも前年と比べてかなり減っている。
		タクシー運転手	・総選挙のため、昼も夜も動きが悪くなり、忘年会も減る。その後に期待したいが、寒いので用事がない限り外出しない傾向は続き、先行きはあまり期待できない。
		タクシー運転手	・新年は人の動きは良くなく、全体的に景気は今より少し落ちる。
		ゴルフ場（従業員）	・例年年明けの予約は、伸びが良い時期であるが、今年は年明け後の予約が非常に厳しく、現時点で前年割れするのではないかとこのぐらい酷い状態である。また景況感、先行きが不透明な部分もあり、ゴルフ等に関して厳しい状況を迎えている。消費者のゴルフ控えが顕著となっており、厳しい状況が続く。
		ゴルフ場（支配人）	・気象庁の3か月予報では12～2月の気温は平年より低い見込みと予報している。12月半ばまでの忘年コンペシーズンが過ぎると冬のゴルフシーズンとなり、客足は落ちるが、寒ければ更に客足が遠のく。
		競輪場（職員）	・電力料金の値上げが景気低迷に影響する。
		競馬場（職員）	・来客数が伸び悩んでおり、今後も厳しい状況が続く。
		美容室（経営者）	・国内も国外に向けても良いニュースはなく、皆その報道を信じ、守りの購買姿勢となっている。今後も厳しい状況が続く。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・季節的要因で、これから冬季にかけて入院等による客数減が顕著になるため、売上減少となる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる	スーパー（店長）	・競合店の出店とそれに対する価格競争がますます厳しくなる。また消費税の問題もあり、消費者の購買意欲が上がる要素がみえない。
		スーパー（店長）	・12月は選挙があるが、ちょうど繁忙時期と重なる。総選挙がある日は購買が少ないので、売上は落ちる。
		スーパー（総務担当）	・大型施設の新規参入により、一段と競争が激化しているため、来客数の維持が困難な状況となっている。顧客獲得には低単価路線が避けられず、収益確保は事実上困難である。また、年末に総選挙が控えており、購買の動きは一段と先細りになっていくことが懸念される。
		コンビニ（販売促進担当）	・12月はクリスマスケーキ、生餅と売上を稼ぐ時期になるが、現状今月末の状況をみても前年実績に届くかどうか非常に不透明である。
		衣料品専門店（店長）	・最近、大型店が近隣にでき、にぎわいをみせているようにみえるが、景気そのものや売上の増加は望めず、パイの取り合いである。今後も厳しい状況が続く。
		家電量販店（店員）	・家電業界は非常に冷え込んでいる。明るい材料が見当たらず、過当競争もある。生き残るのが非常に厳しい状況である。
		家電量販店（総務担当）	・消費者の購買意欲が上がる商品がなく、景気は悪くなる。
		高級レストラン（経営者）	・来月総選挙もあり、選挙で選ばれた与党の動きによって、当店のような割烹料亭はすごく影響され、客の入りも変動する。12月は1年のうちで一番の繁盛期になるが、やはり選挙前の土曜は予約が少ない。新しい与党に関してもこの先期待してよいのか、かなり不安であり、景気は悪くなる。
		旅行代理店（企画）	・円高基調により、海外旅行への意欲は一定程度維持されるが、外需比率が高い九州の企業は業績回復が難しくなり、昇給や賞与の抑制が想定される。結果として個人旅行意欲が減退し、景気の悪化に繋がる。
住宅販売会社（従業員）	・政治の低迷、迷走によって、厳しい状況が続いている。また、電気料金の値上げによる産業界への影響が懸念され、景気は厳しい状況となる。		
企業 動向 関連  (九州)	良くなる やや良くなる	—	—
		農林水産業（経営者）	・年明け1、2月は例年通りの厳しさが予想されるが、12月は年末特需でかなり期待できる。年末は厳しいなりに在庫を軽減できたので、あとは寒い冬で鍋物の期待や忘年会等の居酒屋等の外食に期待したい。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・自治体、民間共に年度末予算消化に向け動きが活発になると想定される。
		金属製品製造業（企画担当）	・例年、年度後半にかけて受注が増加するが、3か月受注予測によると、今年度は例年以上に受注が増加傾向である。
		通信業（経理担当）	・年末の需要で若干の景気は上昇する。しかし、それは総選挙の結果次第である。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・12月は総選挙があるので、商売自体は厳しい局面である。選挙が終わった後については、多少安定して好調に向かい、景気は少し良くなる。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・納入先、特に観光分野は相変わらず厳しく、またこの分野での景気が現状より良くなる兆候は見出せない。その反面、先行きに対する不安材料はあるものの、現時点の売上の推移から、急速に景気が減速するという気配はない。
		食料品製造業（経営者）	・11月に比べると原料事情が悪くなっていくため、生産量が若干低下する見込みである。しかし、引き続き安定した受注が見込める。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・早く政治が安定しないと、景気はなかなか上向きにならない。このままいくと地場産業、特に製造業は厳しい状態になるのではと危惧している。
		鉄鋼業（経営者）	・マンションの新規建築物件が好調で、11月に入りゼネコンからの鉄筋の買い付け量が増加している。新規の中小店舗建設も多い。消費税増税前の駆け込み需要を狙った着工物件かもしれないが、足元での製品販売数量は増加しそうである。
		精密機械器具製造業（従業員）	・今月は突発的な要求元からの受注で増産となっているが、まだ先がみえない状態である。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・3か月先の生産台数の見通し計画が現状と変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業（従業員）	・メーカーの話では、予想以上に景気は悪く、物を作っても売れないため、生産自体を少しセーブしているとも聞いている。これから年末にかけて、それなりに物は動くものの、その反動は1、2月にくる。
		通信業（職員）	・受注量が数か月間落ち込んだままであり、急激に増える見込みはない。
		金融業（営業担当）	・金融円滑化法の終了を目前にし、資金繰りが厳しい中小企業の倒産増加が予想される。総選挙もあるが、現状の低迷した状況には変わらない。
		金融業（調査担当）	・消費税増税関連の資金需要や太陽光発電関連の資金需要、また、介護関連の資金需要は引き続きおう盛である。
		不動産業（従業員）	・商業施設での売上が横ばいで、今後も継続する。
		広告代理店（従業員）	・新聞折込枚数は前年比7%減と数か月マイナスが続いている。ただ、これ以上悪くならないので、底での踊り場状態である。通信販売や娯楽、流通産業いずれも折込チラシの主要業種で受注量が増える話がない。悪い状況が変わらず続く。
		広告代理店（従業員）	・特定の業種のみが悪いのではなく、全体的にみて広告市場は冷え込んでおり、上昇の気配はない。相変わらず低迷状態であり、今後もこの状況が続く。
		経営コンサルタント	・DMを出して販売促進をしたが、全然反応がなく、景気は今後もあまり変わらない。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・自社の問い合わせ件数や取引先から聞く業況見通しから判断して、景気が変わる兆候は見当たらない。
		やや悪くなる	
繊維工業（営業担当）	・在庫がなくなる様子ではない。今は、1～2週間先の受注が大変で、取引先が正月休みに入るとますます状況が悪くなる。		
一般機械器具製造業（経営者）	・輸出を主体にしているユーザーからの受注量が減っているため、日本からの輸出量が大幅落ちている。今後も景気はこの状態がしばらく続く。		
一般機械器具製造業（経営者）	・今後の引き合いにおいて、主要取引先より値引き要求がある。二次電池のエンドユーザーからの値引き要求によるもので、対中国メーカーのコスト競争に打ち勝つための製品値下げで設備も値下げ対象となった。		
電気機械器具製造業（経営者）	・市場環境からみても良くなる兆しがみえにくい。グローバル社会のなか、我々中小、零細企業はなかなか突破口を見いだすことができない。最近企業の閉鎖情報をよく聞くが、その気持ちがよく分かる。		
建設業（従業員）	・見積案件は堅調に推移しているが、公共工事では耐震補強工事が落ち着いてきている。民間工事では、採算度外視での受注が多く見受けられる。また、施工面では下請業者の業者不足問題が発生している。個人消費の伸び悩みや景気の先行き不透明感等による設備投資への低迷により、今後、景気はやや悪くなる。		
建設業（社員）	・今の段階で元請、下請工事をいかに受注できるかによりそうだ。繰越工事の確保ができれば、3か月後も心配ないが、今年度は県が予定通りに発注できていないのではないかと思われ、非常に少ない。市は総選挙の関連なのか発注が多かったようだ。今後の繰越工事発注に期待したい。		
輸送業（総務）	・本来ならば12月は繁忙期であるはずだが、総選挙があるので、経済活動にマイナスの動きがあり、荷物はあまり動かない。		
輸送業（総務担当）	・電気料金の値上げ等により、節電モードは相変わらずである。電力会社あるいは下請業者の賃金問題ほか、あまり良い話がないので今後、景気は悪くなる。		
金融業（従業員）	・テレビ等の家電や自動車の販売が落ち込んでいる。また、年末商戦を控え、早くも大幅値引きの商品が出回り始める等、景気悪化の兆しが表面化してきている。		
悪くなる		経営コンサルタント（社員）	・客足が戻らず、景気は今後もっと悪化する。
		その他サービス業〔設計事務所〕（代表取締役）	・年度末に向けて残り4か月となっていることから、新たな公共事業の発注は少なくなる。このため、受注額は前年比15%減で推移する見込みである。景気対策を打たれないと市町村の予算がなく、建設コンサルタントへの発注は見込めない状況にある。
雇用	良くなる	—	—

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
関連 (九州)	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・消費税増税前の購買促進が活発になる。	
		人材派遣会社（社員）	・年度末へ向けての注文が出てくる時期である。注文のある企業からもこのままの状況だと、年度末に向けて人材が必要になるかもしれないという声が多い。	
		求人情報誌製作会社（編集者）	・例年、2、3月は求人への動きが活発になるが、最近の求人件数の動きをみると期待ができない。前年並みで推移できればいいほうである。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・有効求人倍率が低下しており、厳しい状況は変わらない。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・政権交代により景気が回復し、雇用の増加につながることを期待したいが、各党の政策からは今の閉そく感を打破するだけのものはみえてこない。	
		職業安定所（所長）	・全体では変わらないと判断するが、受注が追いつかない反面、宿泊業では厳しい状況である。	
		民間職業紹介機関（職員）	・年末商戦に向けての需要は予想より低下傾向にある。また、企業のリスク管理体制の一環として都市圏だけの集中的業務を地方へ分散化させており、求人件数が伸びている。	
	変わらない	学校〔大学〕（就職支援業務）	・求人件数は増加しているものの、厳選採用という厳しい就職環境はしばらく継続する。また、採用予定数に満たなくても選考活動を終了している企業が見受けられる。	
		やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・将来の景気回復の見通しが悪い。
			人材派遣会社（営業）	・求人数、求職数とも回復する兆しがみえない。
	職業安定所（職員）		・日中関係悪化による輸出制限等を起因として、自動車関連の製造業では人員整理までには至っていないものの、残業規制や稼働時間の削減による雇用調整を実施している。今後も厳しい状況が続く。	
	職業安定所（職員）		・10月末で希望退職に応じた離職者が11月に大量に求職登録した結果、求職者の増加が見込まれる。	
	民間職業紹介機関（社員）		・電子部品メーカー等で休業が予定されており、人材需要がおう盛な分野が見当たらない。	
	学校〔専門学校〕（就職担当）		・製造業の求人がここ数年減少傾向である。次年度も企業からは前向きな採用計画は聞かれない。サービス、観光系が欠員求人であるものの、離職による補充の色合いが強く、前向きな求人とは言い難い。次年度は、企業からのヒアリングでこのようなマイナス傾向が強まる印象を受ける。	
	悪くなる	人材派遣会社（社員）	・企業のグローバル化は加速し、ますます国内の雇用は空洞化している。それに対する未就労者の危機感が全くない。	
新聞社〔求人広告〕（担当者）		・今後も東アジアとの関係悪化により、観光客数は減少し、九州の産業の柱である観光への打撃が大きい。また、北部九州の自動車産業を始めとした輸出も影響を受けている。雇用面でも今後さらに厳しい状況が続く。		
民間職業紹介機関（支店長）		・都市圏の人材需要が前年比マイナスである。これは年末年始から年度末の繁忙期需要も全く期待できないことを意味する。		

## 11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (沖縄)	良くなる	ゴルフ場（経営者）	・イベントによる集客効果が3月までには出てくると予測する。
	やや良くなる	百貨店（営業企画）	・翌年1月に、今まで移転していた役所が3年ぶりに新庁舎に戻って業務を再開するため、弊社周辺の人々の動きが変わってくると期待している。
		その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）	・12月は、前年に比べて観光客の予約状況はあまり良くないが、来年1月以降は前年よりは若干良くなってきている。旅行代理店からも、年明け以降沖縄方面の予約状況は、伸びているとの話があり期待される。
		住宅販売会社（総務・企画分野）	・消費増税を気にしている客の商談や接客が多く、しばらくは、建築意欲の高い客が増えるの見込み。また、金利も低い状態にあり、住宅取得検討には良い時期だと期待する。
変わらない	スーパー（企画担当）	・現在までの数か月の来客数が、横ばいで推移していることと、今後の近隣への競合店の開店予定が無いことから、売上に大きな変化は無く、前年並みで推移する見込みである。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		スーパー（販売企画担当）	・5月に競合店のオープンとディスカウントストアへの業態変更があり来客数の減少が続いていたなかで、さらに新規競合店のオープンがあり、しばらくは来客数の減少が想定される。	
		コンビニ（経営者）	・前年の東日本大震災の影響で異常な売れ方をしたたばこが平常値に戻ったため、客数減が2、3か月続くとみる。	
		コンビニ（エリア担当）	・今後も来客数の減少は今のトレンドで進む。年末商戦も前年並みとみる。気になるのは郊外にも複合あるいは大型店の出店が目立つことで、ますますパイの奪い合いが強まり、コンビニの来客数も奪われていく可能性が高い。	
		コンビニ（エリア担当）	・県経済は安定しており、大きな上ブレ、下ブレは無いと判断する。	
		衣料品専門店（経営者）	・前月、前々月と比べて来客数は増えてきている。販売量も少しは上がっているが、以前と比べてまだまだ少ないのが現実である。12月の商戦で、これからどうなるのか様子をみたい。	
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・この先の予約状況も現段階では、今月と同様に推移すると予測している。年末年始は当初、円高による海外旅行との競合で稼働が伸びるか心配だったが、例年どおりの需要があり安定している。	
		通信会社（店長）	・現在新商品の発売ラッシュで販売も好調だが2、3か月後には落ち着いてくると予想できる。しかし、今月同様大きな落ち込みは無く春商戦に入っていくとみる。	
		住宅販売会社（代表取締役）	・政治、経済状況が混沌としており、将来の見通しが立たない。	
		やや悪くなる	その他専門店〔楽器〕（経営者）	・売上減少の中、価格競争もあり、在庫が増えて更なる安売り合戦の警戒が必要である。
			その他専門店〔書籍〕（店長）	・年末を迎え期待したいところだが、今後の売上は、今月の推移をみるとそこそこ上がっても、前年比を上回ることは無いと推測する。
観光名所（職員）	・個人客が海外旅行へシフトする。			
悪くなる	商店街（代表者）	・中心商店街に観光客は来客数としては多少戻ってきているが、財布のひもが固くて、単価的に相当落ち込んでいる。さらに地元客消費向けの店舗も、ちらほら空き店舗が出つつある状態である。まだまだ売上の厳しい状況が続く。		
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・客のお金の使い方が変わってきている。日ごろは我慢に我慢を重ねて、自分の食べたい物、欲しい物を月に1回派手に使うパターンが増えている。また、飲食好きな客の要求水準も非常に高くなって、インターネットの口コミサイトを利用して、より美味しくレベルの高い店に移る傾向にある。		
企業動向関連	良くなる	—	—	
	やや良くなる	建設業（経営者） 通信業（営業担当）	・引き合い及び申込件数が増加している。 ・全体的に少額の利益が残る案件の確保が可能な状況であるとみる。	
（沖縄）	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・公共工事向けはやや増加し、民間は横ばいの見通しである。	
		輸送業（代表者）	・宮古地区では、伊良部架橋関連工事は来年以降のアスファルトの骨材を残すのみであるが、今年は、農水関連や周辺工事が出ているため大きな変動は無い。	
		広告代理店（営業担当）	・交付金に依存する傾向が強いため、実質的な景気見通しが立ちにくい。民間企業の販促費投資は相変わらず厳しい状況にある。	
		会計事務所（所長）	・政治の混迷状態が当分続くとみられ、経済政策に期待薄である。	
		やや悪くなる	輸送業（本社事業本部）	・新規出店も落ち着き通常の運用に変わるため、現在と比較すると取扱量は減少する。新たな取扱数量の増加予定は無い。
雇用関連	良くなる	—	—	
	やや良くなる	—	—	
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・既存ユーザーからの依頼は多いが、契約終了もある。また派遣法改正の影響で、今までの単発派遣ができない職種が出てきた分、数字に影響が出ているので、今後の推移が気かりである。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（総務担当）	・派遣終了者は、前年より増加してきており、またスタート人数は前年より少なくなっている。受注案件の全体の合計件数も前年比マイナスである。企業の景気に対する不安要素が感じられる。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・例年と変わらず、年末年始は求人数が減る。
	やや悪くなる	—	—
	悪くなる	学校〔専門学校〕（就職担当）	・政権交代による政治の不安定さが国民生活にすぐに反映され、影響を及ぼす予感がする。